

本資料は 年 月 日付で登録区分、

変更する。

01.10.-4

[技術情報室]

放射線作業用防護具の開発動向等 に関する調査・研究

(動力炉・核燃料開発事業団 委託研究成果報告書)

1996年7月

社団法人 日本保安用品協会

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

この資料は、動燃事業団社内における検討を目的とする社内資料です。については、複製、
転載、引用等を行わないよう、また第三者への開示または内容漏洩がないよう管理して下
さい。また今回の開示目的以外のことには使用しないよう注意して下さい。

本資料についての問い合わせは下記に願います。

〒319-11 茨城県那珂郡東海村大字村松4-33
動力炉・核燃料開発事業団
東海事業所
技術開発推進部・技術管理室

PNC IJ 1654-96-001

社内資料



放射線作業用防護具の開発動向等 に関する調査・研究

(動力炉・核燃料開発事業団 委託研究成果報告書)

1996年7月

社団法人 日本保安用品協会

1996年7月

放射線作業用防護具の開発動向等に関する調査・研究

* * *
横地 明, 加藤 朗, 他

動力炉・核燃料開発事業団、再処理施設における放射線作業のうち、特殊な放射線作業として位置付けられている非定常作業については、その多くが主にセル内等での高汚染環境下で実施されている。これらの作業で使用される放射線作業用防護具については、放射性物質に対する高い防護性能が要求される一方、作業者への身体負荷の低減が求められている。

放射線作業用防護具は空気中放射性物質の吸入防護のための呼吸用保護具と身体を放射性汚染から防護するための防護衣等の身体防護具に大別されている。今日、原子力分野で使用されている防護具類は一般的に J I S 等で規定されているものが広く使用されている。その具体的な使用は各事業者における環境条件、使用条件に基づき運用されており、その防護性能と着用における身体負荷低減の最適化が着目されている。

本調査・研究では、今日、原子力分野で使用されている呼吸用保護具および身体防護具についてその使用実態ならびに最適化に向けた開発動向について調査・検討を行った。

本報告書は（社）日本保安用品協会が動力炉・核燃料開発事業団の委託により実施した研究成果である。

契約番号：070 D 0143

事業団担当部課室および担当者：東海事業所 安全管理部 放射線管理第二課長 二之宮 和重

*：「放射線作業用防護具開発動向等」調査研究委員会（委員構成は委員構成表を参照）

謝　　辞

本調査研究は、動力炉・核燃料事業団から（社）日本保安用品協会が受託し、調査研究委員会（委員長：横地明）を編成し実施した。

実施にあたって、使用実態ならびに開発ニーズに関するアンケート調査にご協力いただいた原子力発電所をはじめとする事業者の方々、そして開発動向のアンケート調査にご協力いただいたメーカーをはじめとする関係企業の方々には、大変お世話になりました。

ここに改めて深く感謝致します。

放射線作業用防護具開発動向調査委員会

委員構成表

平成8年7月現在

委員長	横 地 明	東海大学工学部 教授
*加 藤 朗		東洋公衆衛生学院 講師
酒 井 利 明		東京電力株式会社
宮 崎 振一郎		関西電力株式会社
村 田 幹 生		日本原子力研究所 東海研究所
○山 田 都 夫		エムエスエイジャパン株式会社
○和 波 昭 男		株式会社 重松製作所
○秋 山 俊 雄		興研株式会社
○内 田 敬		蝶理株式会社
○池 田 一 郎		旭デュポンフラッシュスパンダクツ株式会社
○中 川 幸 夫		旭化成工業株式会社
○鈴 木 裕 生		株式会社 千代田屋
○新 関 満		柴田科学器械工業株式会社
○竹 内 宣 博		株式会社 千代田テクノル
事務局 三 上 圭 二		社団法人 日本保安用品協会

備考 ○印はワーキンググループメンバー、*印は同主査を示す。

放射線作業用防護具の開発動向等に関する調査・研究

報告書・目次

第1章 調査・研究の概要	1
1. まえがき	1
2. 調査・研究の概要	2
2. 1 調査・研究の目的	2
2. 2 調査・研究の実施場所	2
2. 3 調査・研究の実施項目	2
2. 4 実施期間	2
2. 5 実施工程	2
2. 6 実施体制	2
3. 調査・研究経過ならびに成果の概要	3
3. 1 放射線作業用防護具の使用実態調査	3
3. 2 放射線作業用防護具の開発ニーズおよび開発動向調査	3
3. 3 文献調査	3
第2章 放射線作業用防護具の使用実態調査	7
1. 目的と概要	7
2. 調査の方法および調査内容	7
2. 1 調査対象施設	7
2. 2 調査内容	9
3. アンケート調査および訪問調査	11
3. 1 使用状況	11
3. 2 導入	13
3. 3 運用	16
3. 4 保管管理	22
4. 使用実態調査まとめ	31

第3章 放射線作業用防護具の開発ニーズおよび開発動向調査	32
1. 目的と概要	32
2. 調査の方法および調査内容	32
2. 1 放射線作業用防護具の開発ニーズの調査	32
2. 2 防護具の開発動向調査	33
3. アンケート調査および訪問調査	35
3. 1 開発ニーズおよび改良の要望	35
3. 2 供給者における開発・改良動向	46
4. 開発動向調査まとめ	61
第4章 放射線作業用防護具に関する文献調査	63
1. 目的と概要	63
2. 文献調査	63
2. 1 規格等に関する調査	63
2. 2 関連文献の調査	68
3. 文献調査まとめ	72
第5章 まとめ	73
1. 放射線作業用防護具の動向	73
2. 放射線作業用防護具の最適化	77
附属書	
1. アンケート調査票 I	
2. アンケート調査票 II	
3. アンケート集計表 I	
4. アンケート集計表 II	
5. アンケート集計表 III	

第1章 調査・研究の概要

1. まえがき

原子力施設においては、これまで放射性物質の物理的閉じ込め、隔離について細心の注意が払われてきたが、隔離密封されている設備・装置等の保守、点検、修理のために開放する場合がある。このようなとき、放射性空気汚染の恐れのある作業環境において作業を行うこととなり、局所換気等、作業環境の整備、改善をする一方、個人曝露を防ぐための各種防護具の使用が有効な防護手段となっている。これらの防護具は環境条件と使用条件に応じ、常に安全かつ快適な防護具が要求されている。

本調査では、原子力分野における使用者サイドでの防護具の使用実態、開発ニーズの動向、供給者サイドにおける開発動向、指向ならびに関連文献等の調査を行うことにより、再処理施設に適合した防護具の今後の開発に資することにした。

2. 調査・研究の概要

2. 1 調査・研究の目的

本調査研究は、原子力分野における使用者サイドでの防護具の使用実態、開発ニーズの動向、指向の調査ならびに関連文献の調査を行うことにより、再処理施設に適合した防護具の開発に資することを目的とした。

2. 2 調査・研究の実施場所

日本保安用品協会、動燃事業団再処理施設および別添－1「調査概要」に示す調査対象とする。

2. 3 調査・研究の実施項目

- (1) 原子力分野における防護具の使用実態
- (2) 原子力分野における防護具に関する開発ニーズ
- (3) 防護具メーカー等の開発動向
- (4) 防護具に関する文献・資料の収集、まとめ

*別添－1の「調査概要」を参照

2. 4 実施期間

自：平成 7年 8月10日

至：平成 8年 7月30日

2. 5 実施工程

本調査・研究の実施工程は別添－2の「実施工程表」に示すとおりである。

2. 6 実施体制

本調査・研究は別添－3に示す実施体制の下で実施した。

3. 調査・研究経過ならびに成果の概要

本調査研究は平成7年8月10日から平成8年7月30日までの約1年間にわたって実施されたものである。以下に本調査・研究経過ならびに成果の概要について、調査・研究の項目毎に述べる。

3. 1 放射線作業用防護具の使用実態調査

国内の原子力発電所および主要な原子力施設の計25ヶ所の使用者に対して、放射線作業用防護具の使用実態に対するアンケート調査を実施した。このうち、アンケート調査の補完を目的に訪問調査を実施した。訪問先として、BWR, PWRタイプの新・旧各2ヶ所およびATRタイプ1ヶ所、原子力発電所5ヶ所ならびに再処理施設を選定し、調査を行った。

これらの調査結果は、アンケート回収後、集計・分析を行い、使用実態についてとりまとめた。アンケート調査票、集計表を附属書に示す。

3. 2 放射線作業用防護具の開発ニーズおよび開発動向調査

3. 1項と同様に放射線作業用防護具の開発ニーズに係る開発動向調査に関するアンケート調査および訪問調査を実施した。防護具メーカー等に対する開発動向調査については、使用者サイドの開発ニーズを踏まえたうえで実施した。これらの調査結果は、アンケート回収後、集計・分析を行い、現状における開発ニーズおよび開発動向・指向についてとりまとめた。アンケート調査票、集計表を附属書に示す。

3. 3 文献調査

国内外の原子力産業界における防護具の使用実態や開発動向、規格等を文献・資料により調査した。

日本工業規格（JIS）をはじめとする国内外の規格を調査すると共に、INIS ATOM INDEX（1970～1995）を検索し、関連文献を調査した。

調査概要

1. ユーザー使用実態及び開発ニーズ

調査方法	調査対象	
アンケート調査	原子力発電所 動力炉・核燃料開発事業団 日本原子力研究所 日本原燃(株)濃縮埋設事業所	17ヶ所 5ヶ所 2ヶ所 1ヶ所
現地訪問調査	BWRタイプ原子力発電所 PWRタイプ原子力発電所 ATRタイプ原子力発電所 動力炉・核燃料開発事業団 再処理施設	2ヶ所 2ヶ所 1ヶ所 1ヶ所

2. メーカ開発動向

調査方法	調査対象	
アンケート調査	呼吸保護具メーカ各社 身体防護具メーカ各社 素材メーカ各社	3社 16社 10社

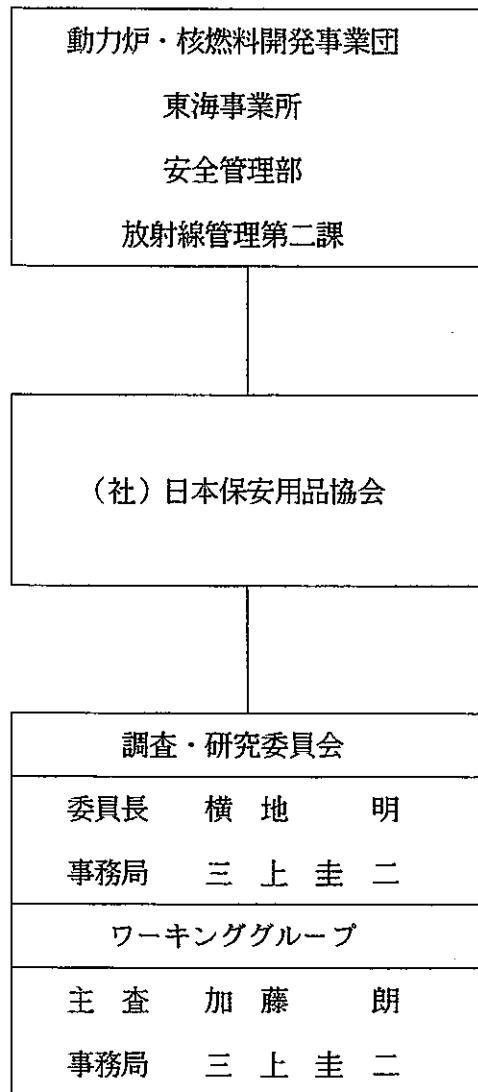
3. 文献・資料の収集

調査方法	調査対象
規格	労働省規格 J I S 日本呼吸用保護具工業会
文献	I S R P INIS ATOM INDEX

実施工工程表

項 目	平成 7 年					平成 8 年						
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
1. 使用実態に関する調査	準備	検討	期間									
(1) アンケート調査												
(2) 訪問調査												
2. 開発ニーズ、開発動向 に関する調査												
(1) ユーザに対するアン ケート調査												
(2) 訪問調査												
(3) 供給者に対するアン ケート調査												
3. 文献調査												
(1) 文献調査の収集												
(2) 文献の選定												
4. 報告書作成												

実 施 体 布 局



第2章 放射線作業用防護具の使用実態調査

1. 目的と概要

原子力産業界が求める呼吸用保護具および身体防護具に対する要求を明確化するために行った使用実態の調査について報告する。

調査項目としては、これら放射線作業防護具の導入から廃棄までの管理方法等も含めた使用実態全般について行った。内容としては、使用状況、導入、運用、回収、保管管理、教育等のより具体的な調査項目を準備した。それらをアンケート調査および訪問調査としてそれぞれの事業所に対し調査を行った。

アンケート調査は25事業所、訪問調査は5事業所に対して行った。

2. 調査の方法および調査内容

調査はアンケート調査を基本とし、合せて特定の事業所に対し、訪問調査を行った。

2. 1 調査対象施設

(1) 調査対象事業所（施設）

① アンケート調査

対象事業所	調査数
電力会社（原子力発電所）	12
日本原子力発電（株）	4
動力炉・核燃料開発事業団	6
日本原子力研究所	2
日本原燃（株）	1
合計	25施設

② 訪問調査（聞き取り調査）

対象事業所	調査数
電力会社（原子力発電所）	4
動力炉・核燃料開発事業団	2
合計	6施設

(2) 調査対象品

調査対象とする呼吸用保護具および身体防護具は、次のとおりである。

区分	品名
呼吸用保護具	半面マスク、全面マスク、電動ファン式呼吸保護具、エアラインスース、エアラインマスク
身体防護具	カバーオール、紙服（タイベック等）、アノラック、ゴム手袋、靴（短靴、長靴）

2. 2 調査内容

(1) 使用状況

事 項	要 点
管理区域区分と立入者の標準装備	区域区分汚染レベル分布
	区域区分と防護具の組合せ

(2) 導入

事 項	要 点
(1) 呼吸用保護具（選定基準, 受入検査, 購入年識別, 材質指定, フィルタ等）	実態把握および特徴的傾向分布
(2) 身体防護具（選定基準, 受入検査, 購入年識別, 材質指定, 形状等）	実態把握および特徴的傾向分布

(3) 運用（呼吸用保護具）

事 項	要 点
①（着用基準, 防護係数）	マスク種別とレベル分布
②（所有数量）	マスク種別と所有数量
③（使用時間）	特徴的傾向
④（フィットネス, 眼鏡使用, 通話・通信）	実態把握および特徴的傾向分布
⑤（廃棄基準, 廃棄方法, 交換基準, 除染基準, 除染設備の有無）	実態把握および特徴的傾向分布
⑥（除染方法, 除染剤）	マスクと除染設備, 除染剤との関連

(4) 保管管理

事 項	要 点
(1) 呼吸用保護具(洗浄設備, サイクル, 消毒, 体制, 点検頻度, 保管方法, 貸与回収)	実態把握および特徴的傾向分布
(点検項目)	マスク種別と点検項目との関連
(廃棄割合)	マスク種別と廃棄割合との関連
(2) 身体防護具(洗浄設備, サイクル, 消毒, 体制, 点検頻度, 保管方法, 貸与回収)	実態把握および特徴的傾向分布
(廃棄割合)	身体防護具種別と廃棄割合との関連

3. アンケート調査および訪問調査

3. 1 使用状況

(1) 各施設の区域区分

調査を行った各施設においては大きく区域区分形態が6種類に分類される。原子力発電所では、全ての事業所において共通した区域区分にて運用されている。これに対し、研究所は2種類、燃料施設は3種類の区域区分で運用されている。これは、取り扱われる放射性物質および業務内容の違いによりもたらされている。また、一部には恒久的な区域区分に放射線環境レベルの変化に応じた規制区分を重ね合せたケースの管理も図られている。

汚染 レベル	原 子 力 発電所等	研 究 所 (1)	研 究 所 (2)	燃 料 施 設 (1)	燃 料 施 設 (再処理施設) (2)	燃 料 施 設 (3)
1	A	第2種管理区域	通常立入区域	管理区域	G区域	第2種管理区域
2	B	第1種管理区域 (1)				第1種管理区域
3	C	第1種管理区域 (2)	立入制限区域	規制区域	A区域	
4	D	第1種管理区域 (3)			立入制限 区域	R区域
5		第1種管理区域 (4)				

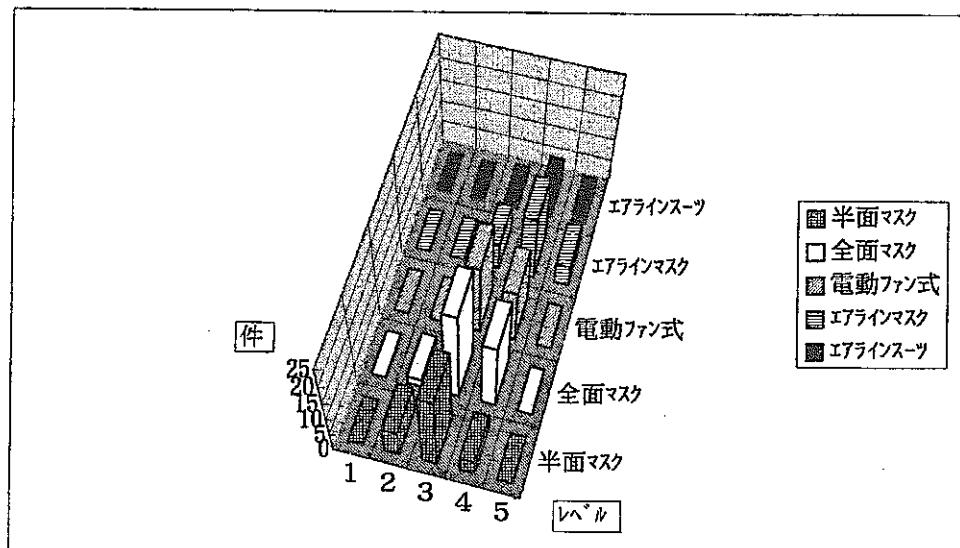
汚染レベルの基準は、全般的に下記の基準にて設定されている。但し、一部の事業所においては着用時間を考慮する等管理運用の考え方で若干異なる基準値を設定している事業所もある。

汚染 レベル	空気中の放射性物質の濃度 (DAC)の倍数	表 面 汚 染 密 度 (Bq/cm ²)
1	-	-
2	<1	$\alpha : 0.4$, $\beta(\gamma) : 4$
3	1~10	$\alpha : 0.4 \sim 4$, $\beta(\gamma) : 4 \sim 40$
4	10~100	$\alpha : 0.4 \sim 40$, $\beta(\gamma) : 40 \sim 400$
5	>100	$\alpha > 40$, $\beta(\gamma) > 400$

(2) 区域区分と標準装備

① 呼吸用保護具

半面、全面、電動ファン式の各マスクは、汚染レベル2～4で使用されている。また、エアラインマスクは汚染レベル3～4とエアラインスーツは汚染レベル4～5となってい。この中でも汚染レベル4まで対応できる電動ファン式が、「息苦しさ」、「圧迫感」等をより改善できるものとして近年導入が進められており、注目できる。



② 身体防護具

基本的に作業に従事する者は、身体部位には下着として長袖シャツとズボン下を着用し、その上にカバーオールを着用する。さらに汚染の高い作業環境では紙服（不織布製カバーオール）を、被水等の恐れのある作業環境では防水素材のアノラックを着用している。場合によってはこれらの重着により、汚染コントロールを行っている。その他頭部は、布製の帽子をかぶり、手には綿手袋の上にラテックス製のゴム手袋を必要枚数着用し、足部には布製靴下（軍足）を着用し、安全靴（短靴、長靴）をはいている。

汚染 レベル	身 体 部					手 部					足 部				
	カバー オール	紙服	アノラック	下着	靴	ゴム手			作業手袋	他	靴下	短靴	長靴	他	
						1枚	2枚	3枚							
1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
2	33	7	1	20	11	29	17	10	3	0	6	0	34	33	8
3	25	19	13	14	6	25	25	7	10	0	4	2	24	17	17
4	20	16	18	15	4	19	21	2	10	4	4	3	20	11	18
5	2	1	1	1	0	2	2	0	0	1	0	0	2	1	2

* 数値は回答数を表す。

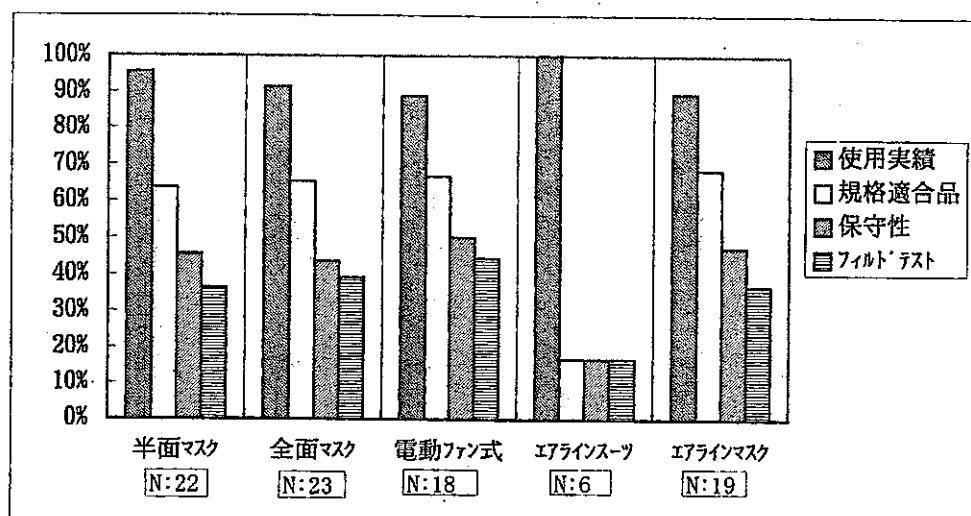
3. 2 導入

(1) 選定基準

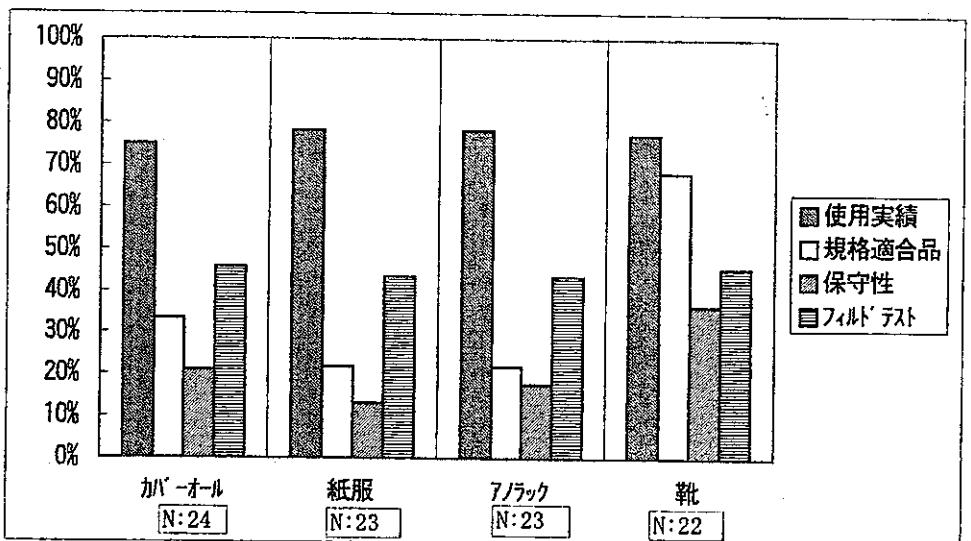
呼吸用保護具については、各事業所独自の仕様の物を開発することは少なく、ほぼ100%が先行事業所の使用実績を元に選定を行っている。しかし、新製品を採用する場合は、規格等に照らし合わせた検討と、フィールドテストによる最終検討により採用の決定を行っている。

同様に身体防護具においても使用実績を選定基準とする事業所が多いが、呼吸用保護具と異なり、身体防護具は使用数量が多いこと、比較的単価が低いこと等から各事業所が独自の仕様とすることが多い。このため、採用にあたってはフィールドテストを実施する事業所が多い。あわせて、新商品の採用の機会も多いと思われる。

呼吸用保護具



身体防護具



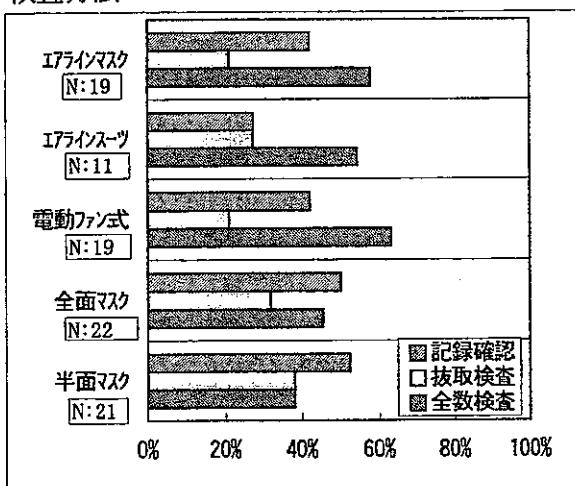
(2) 受入検査

① 呼吸用保護具

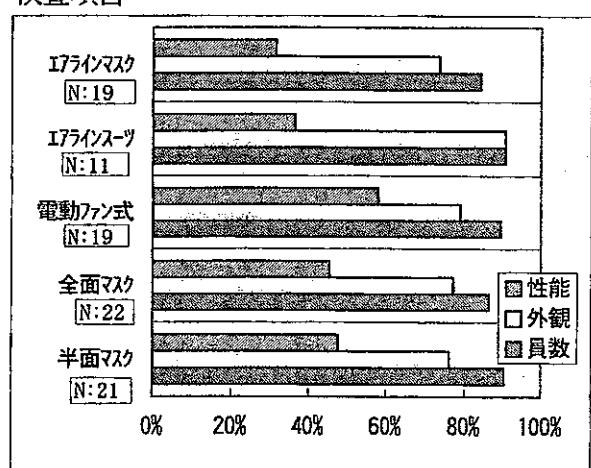
100%近い施設において受入検査が実施されている。検査内容としては、記録確認がベースとなっている。検査項目は員数、外観といった一般的な検査の他に性能確認も行われている。性能確認を実施している割合は、半面、全面、電動ファンが受入検査を実施していると回答した事業所の40~50%あった。また、特に電気部品が組込まれている電動ファン式呼吸保護具については、ほぼ半数の施設で性能確認が全数検査として行われている。また、購入年を識別し管理している保護具としては、全面マスク、電動ファン式呼吸保護具、エアラインマスク等、使用量の多いものが挙げられる。

一方、呼吸用保護具に対しても廃棄処理の問題がクローズアップされており、すでに廃棄性（焼却）について考慮している施設がある。

検査方法



検査項目



品名	購入年の識別	材質指定						使用フィルタの種類			
		有	有	耐久性	廃棄性 (焼却)	指定材質			ダスト用	ガス用	他
						天然ゴム	シリコンゴム	合成ゴム			
半面マスク		7	10	3	8	2	1	3	22	16	1
全面マスク		10	11	4	9	4	1	2	23	18	1
電動ファン式		9	11	5	8	2	1	0	19	8	0
エアラインスーツ		3	2	0	1	0	0	0	0	0	0
エアラインマスク		11	8	3	6	1	1	2	1	0	0

* 数値は回答数を表す。

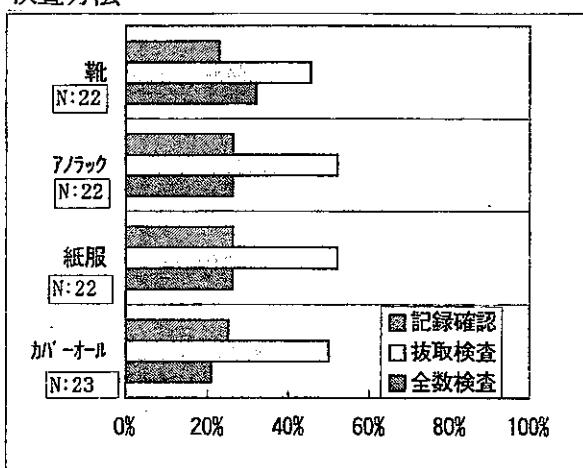
② 身体防護具

身体防護具は一回の購入量が比較的多いことなどから、検査内容は員数と抜き取りによる外観検査がベースとなっている。

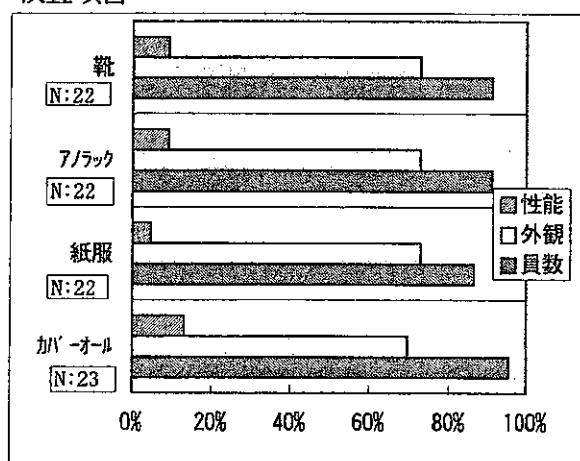
身体防護具は消耗品的な性格の物品であること。また、その機能が放射性汚染に対する物理的防護にあることから破損・劣化の確認を、使用の都度着用者が行なうことが勧められている。そのため、購入年の識別は購入口ットによる管理が行われている程度である。

一方、材質については廃棄性（焼却）を考慮し、材質の指定を行っている施設が60%以上あった。これは原子力施設における廃棄物の減容を目的とした焼却炉の導入に伴う要求があるためである。廃棄物の処理は、原子力施設にとって最重要テーマであり、今後ますます可燃化が進むと考えられる。

検査方法



検査項目



品名	購入年の識別	材質指定		
		有	有	耐久性
カバーオール	4	18	4	17
紙服	2	18	17	19
アノラック	2	17	15	19
靴	2	16	12	13

* 数値は回答数を表す。

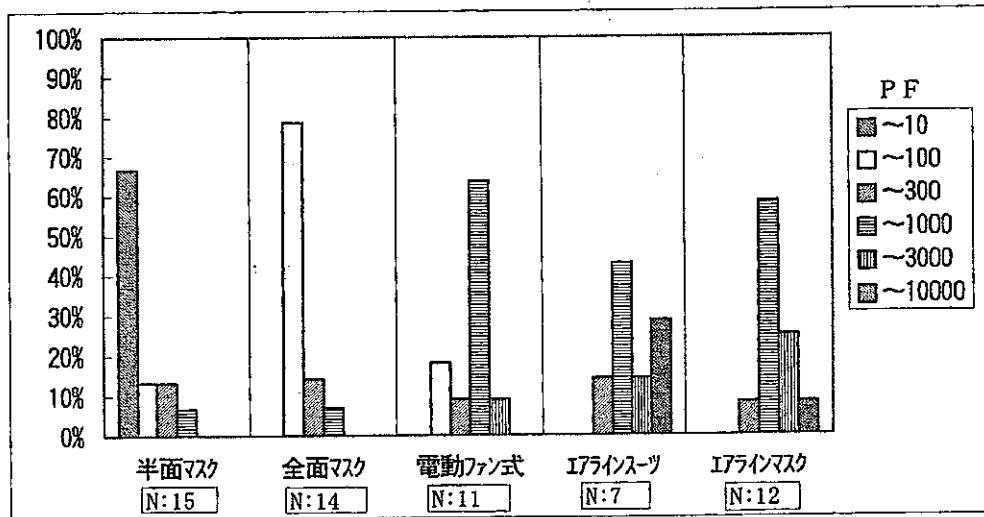
3. 3 運用

(1) 着用基準, 防護係数

エアラインスーツ, エアラインマスク以外については、防護係数は「10」以上で使用されはじめるが、半面マスクは、「10」, 全面マスクは「100」, 電動ファン式呼吸保護具では「1000」としている施設が多いことが確認できた。一部の発電所においてはフードタイプの電動ファン式呼吸保護具を使用しており、着用感のさらなる改善を進めている点が注目される。

防護係数は、呼吸用保護具を実際に着用した時の防護効果の指標となるものであるが、種々の因子に影響されるため、一概には決まらないことから各種呼吸用保護具においてバラツキが生じているものと考えられる。また、管理運用上、安全サイドの考え方から設定されていることが多い。さらに、 P_u 等のように体内残留時間が特に長く、濃度限度が低い核種については着用基準の1ランク上位の呼吸用保護具を着用させること等、より安全サイドに考えている。

防護係数



(2) 使用時間

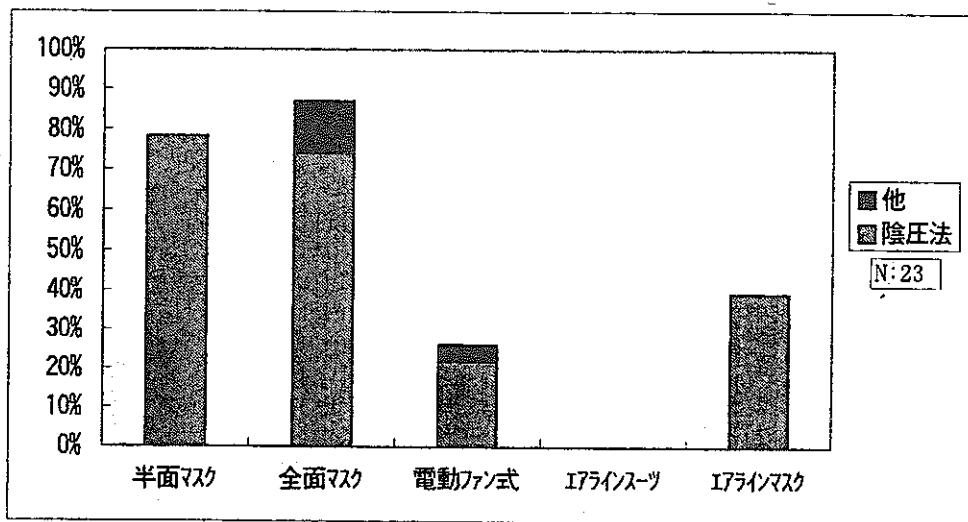
発電所をはじめとする約80%の事業所においては、半面マスク、全面マスク、エアライスツ、エアラインマスクの使用時間の制限はしていない。約20%の事業所においては、これらのマスクの使用時間を2時間以内としている。これは、計画線量の制限とあわせて、マスクの呼吸負荷および装着による圧迫感等からの制限があるものと考えられる。再処理施設では着用基準と身体負荷等を考慮し、1時間の時間制限を行っている。一方、電動ファン式はバッテリー容量（最大3時間）により制限されているが、3時間以上となっているのはバッテリー交換による連続使用によるものと考えられる。また、エアラインスーツ等については管理線量値等の影響および身体負荷を考慮するため、2時間以内になっていると考えられる。

品名	有	~1 hr	~2 hr	~3 hr	>3 hr
半面マスク	5		1		
全面マスク	7	1	2		1
電動ファン式	15	2	4	6	2
エアラインスーツ	4	1	2		
エアラインマスク	4	1	1		

(3) フィットネス、眼鏡使用、通話・通信

① 装着時のフィットネス試験

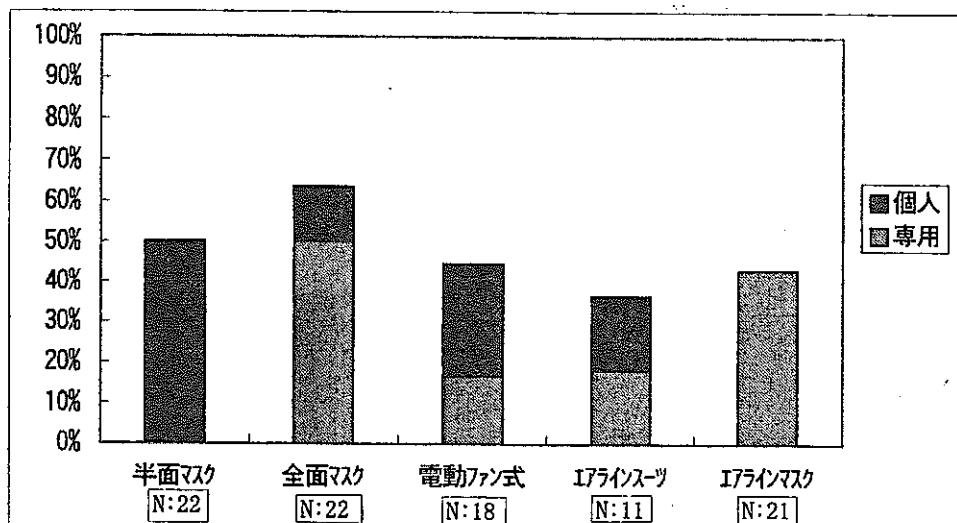
エアラインスーツを除き、基本的に面体タイプのマスクは想定した防護係数を確保するため、装着時のフィットネス試験は重要とされている。概ね陰圧法により行われているが、マスクマンテスト装置による試験も一部の事業所において行われている。



② 眼鏡の使用条件

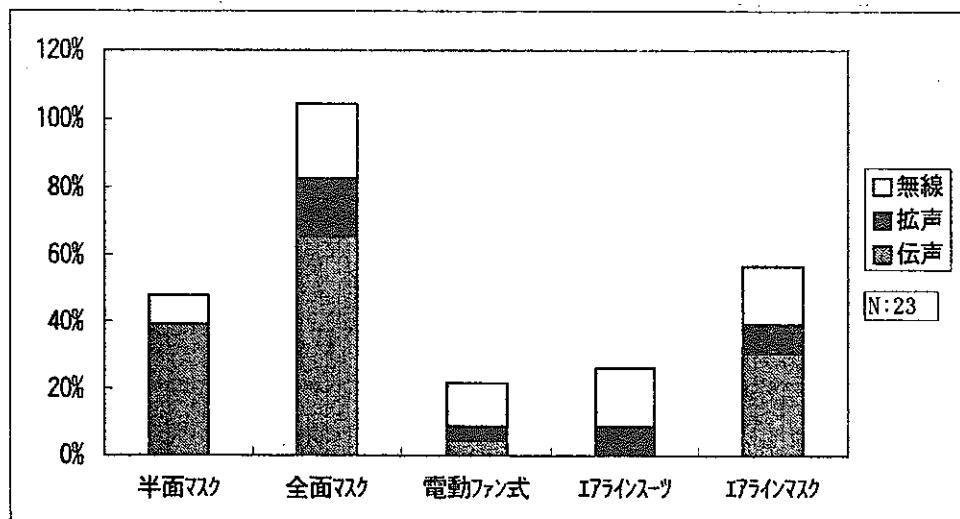
全面マスクは、接顔部のリークによる性能低下が生じない眼鏡を利用し、フィット性を確保する必要がある。このため、マスク専用眼鏡とする施設が多いものと推定される。

一方、個人眼鏡の使用を認めている事業所はマスク本体も個人貸与とし、マスクと眼鏡との関係を一定として防護性能を確保していると考えられる。また、全面マスクタイプを使用する電動ファン式呼吸保護具およびエアラインマスク等は陽圧が確保できるタイプについても眼鏡使用においても専用眼鏡の条件となっている。



③ 通信・通話方法

半面マスクおよび全面マスクでは、伝声板による通話が一般的であるため、今回の調査において多くの事業所にて採用されている。また、作業現場の騒音状態に応じ、拡声器および無線通信がどのタイプの呼吸用保護具においても使用されていることが確認された。今後も、騒音環境が存在するのであればマスクに適した性能の通話装置の導入等が進み、無線通信利用が主流となるものと想定される。

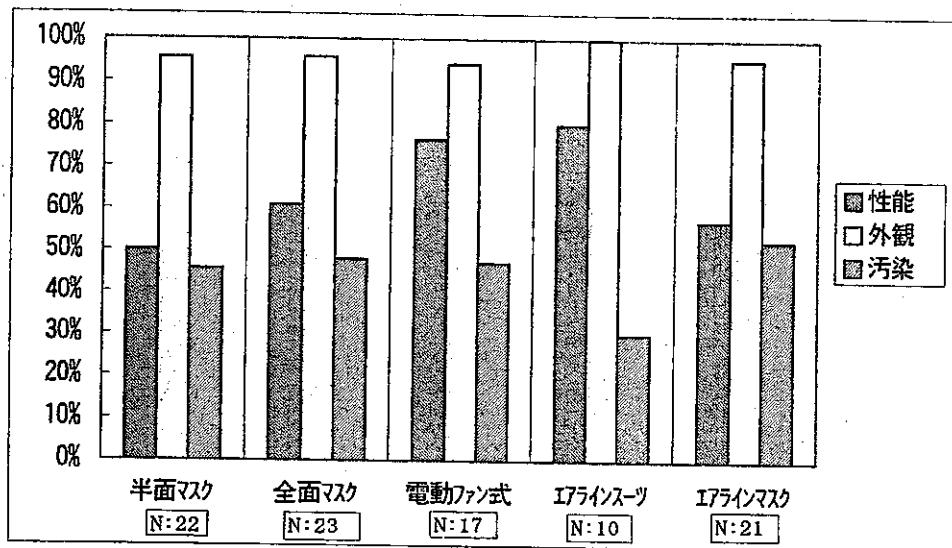


(4) 廃棄基準, 廃棄方法, 交換基準, 除染基準, 除染法

① 廃棄基準

ほとんどの事業所が外観検査による廃棄をしている。併せて、汚染検査による廃棄も多く行われており、実質的に廃棄の条件はこの2つと想定される。

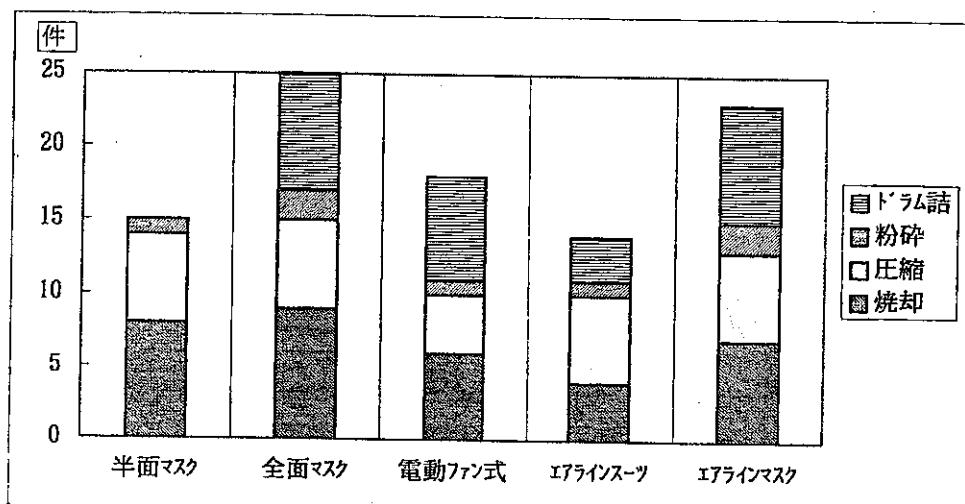
一方、性能については、約50%の事業所においてルーチン的にマスク性能試験装置による性能確認が行われており、不適合のものは修理または廃棄されている。



② 廃棄方法

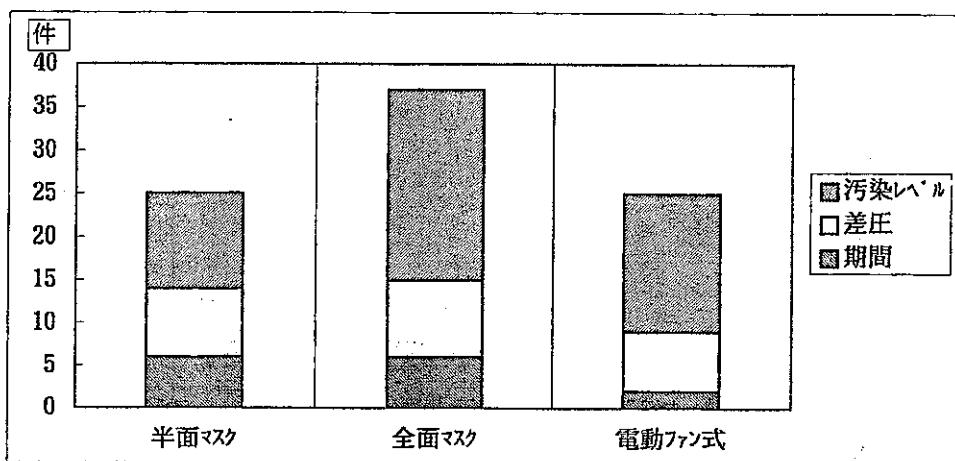
この項目では廃棄方法について確認しているが、そのまま廃棄する方法、圧縮粉碎して廃棄する方法、焼却処理する方法が採用されている。

今後の傾向として、発生廃棄物の減量がより一層強力に進められていることから、廃棄処理の指向としては、減容比が大きい焼却処理に進むものと考えられ、呼吸用保護具素材も焼却性が求められる。



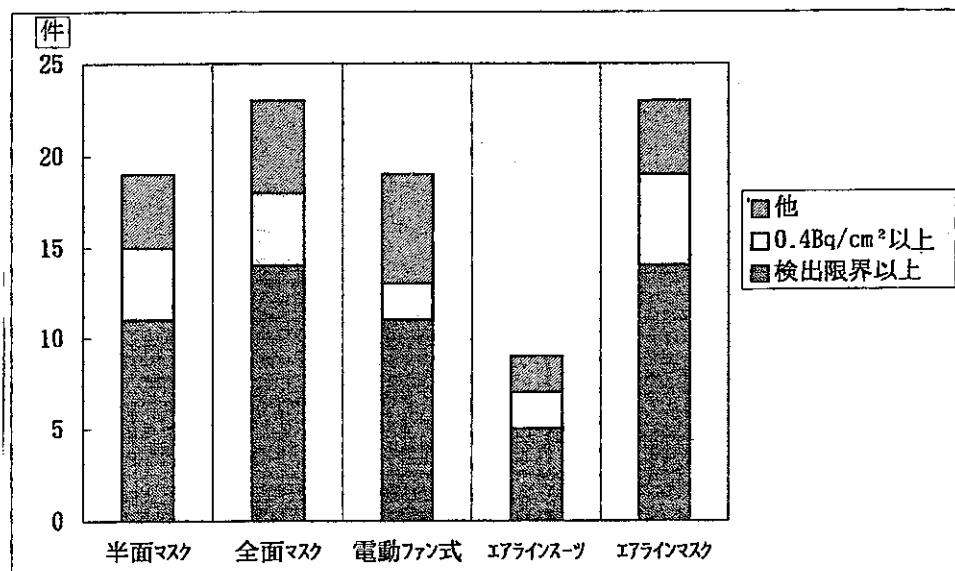
③ フィルタの交換基準

汚染レベルによる交換を全ての施設で採用している。差圧については捕集効率とともに定期的あるいは配備前にマスク性能試験装置による検査が行われている。全般的にフィルタの交換は汚染レベルをベースに差圧あるいは期間を考慮し行われている。フィルタは消耗品と考えられ、また、目詰りすることはまれであることから、管理上、例えば貸与方式の場合等に期間を設定していると考えられる。その他一部の事業所では使い捨ての運用を行っているところもある。また、マスク類の整備時にフィルタの汚れ、変形の目視検査を行っているところもある。



④ 除染基準

ほとんどの施設において基準値を設定して除染あるいは洗浄を行っている。汚染レベルの基準は、検出限界以上、 $0.4\text{Bq}/\text{cm}^2$ 以上となっているが、実質的な変わりはなく清浄なマスクを配備していることが伺える。また、ほとんどの事業所においてワンスルーワン式で配備、回収を行っており、回収の都度除染あるいは洗浄が行われていると考えられる。



⑤ 除染方法

専用装置を導入し、除染している施設と専用シンクにて除染している施設が確認できたが、専用の設備をもって対応している事業所は極めて少ない。専用設備を保有していない施設においては、手作業での除染作業が行われている。このため、相当な労力が使われていることが予想され、過去からも自動化が求められてきていたが、マスクの複雑な形状等から自動化が難しいものとなっていた。今後自動洗浄を指向する場合、自動化に適した呼吸用保護具の開発が望まれる。

品名	除染方法		
	設備有	設備名	
		シンク	専用装置
半面マスク	3	2	3
全面マスク	5	3	2
電動ファン式	3	3	2
エアラインスーツ	1	1	0
エアラインマスク	3	3	1

⑥ 除染剤

除染剤としては、アルコール系、中性洗剤系が使用されているが、エタノールの使用が相対的に多くなっている。一つの要因として手作業による除染・洗浄を行っている事業所が多いと考えられる。除染剤としては現在多数の洗浄剤が市販されているが、これらの中でもエタノールが有効であるとの理由は、マスク類を作業者共用とする事業所が多いため、除染性と併せて衛生的観点から多く採用されているものと考えられる。また、呼吸用保護具の材質に適合した有効な除染剤の調査も必要と思われる。

品名	ウェットワイパー	中性洗剤	エタノール	エクリン	アイソトープクリーナ	トスナリーブ
半面マスク	1	1	6	2	1	1
全面マスク	1	2	7	1	1	1
電動ファン式	1	1	4	1	1	1
エアラインスーツ	0	2	2	1	1	0
エアラインマスク	1	2	8	0	1	1

3. 4 保管管理

現在使用している呼吸用保護具のほとんどが繰り返し使用を基本としている。先の項目で取り上げたように、廃棄基準をはずれない限り使用されている。また、ほとんどの事業所においてはワンスルーにて配備、回収を行っており、呼吸用保護具は共用されている。そのため衛生面の確保も必要となる。

(1) 呼吸用保護具

① 洗浄設備

呼吸用保護具共用の基本となる清潔性確保のため、洗浄設備を持っている事業所は約半数にとどまっている。このうち、専用設備としているのはさらに半数となっている。これは先の項目にも挙げたとおり、呼吸用保護具の自動洗浄の困難な点にあると思われる。多量に処理できる装置が望ましいが、50～100個／日程度の処理にも柔軟に対応できることも自動化のポイントである。また、洗浄方式はドライではなく水洗い、清拭となっており、現状人手による処理が主流であることがこのことから分かる。

品名	洗浄対象	洗浄設備				
		設備		洗浄方式		
		専用	汎用	水洗	ドライ	清拭
半面マスク	21	5	5	12	0	13
全面マスク	23	5	6	14	0	14
電動ファン式	16	2	2	5	0	12
エアラインスーツ	9	1	2	1	0	8
エアラインマスク	18	3	5	10	0	14

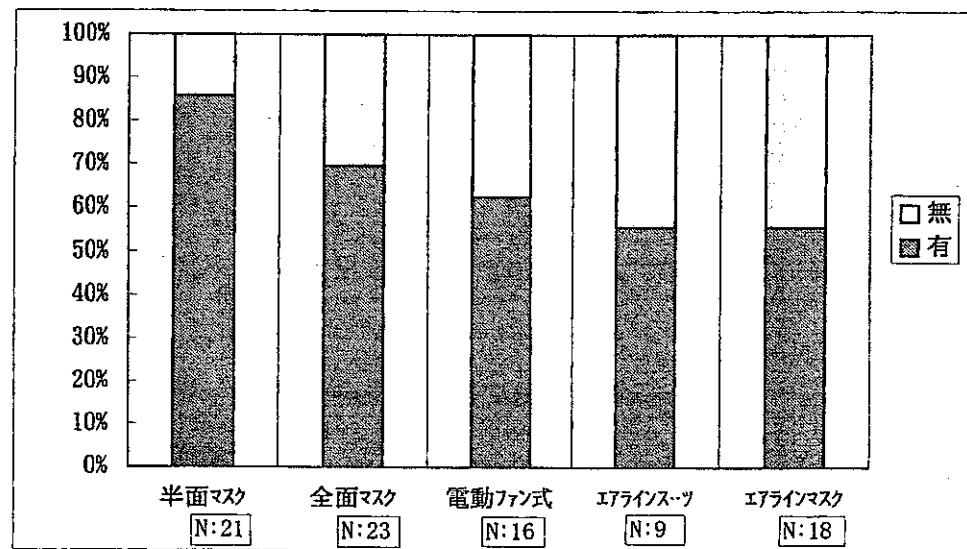
② 洗浄サイクル

洗浄サイクルはほとんどの事業所が使用毎としている。このことからも各事業所において共用が基本であることが分かる。一方、少数ではあるが個人に作業期間中個別貸与する方式が見受けられるが、この場合も使用毎の洗浄が基本となっている。

品名	洗浄対象	洗浄サイクル	
		使用毎	他
半面マスク	21	21	1
全面マスク	23	23	0
電動ファン式	16	16	0
エアラインスーツ	9	9	0
エアラインマスク	18	18	0

③ 洗浄後の消毒の有無

共用するために基本となるのは清潔性であるが、そのため、約8割の事業所において洗浄後の消毒が行われている。運用としては、除染、洗浄を消毒と同時にエタノールを使用して行っている事業所が多い。



④ 洗浄実施体制

どの呼吸用保護具においても8割近くの事業所が委託体制をとっている。また、委託している要員としては～5人とする事業所が多い。洗浄方法としては人手による洗浄作業が基本となっている。

品名	洗浄対象	洗浄実施体制				
		外注委託		要員数		
		有	無	5人以下	6～10人	11人以上
半面マスク	21	15	6	10	3	1
全面マスク	23	16	7	10	3	1
電動ファン式	16	12	4	6	2	1
エアラインスーツ	9	5	4	1	2	1
エアラインマスク	18	12	6	8	2	1

⑤ 点検頻度

ほとんどの事業所において呼吸用保護具は共用使用が基本となっているため、使用的都度点検が行われている。また、ほとんどの事業所において定期的な点検を行っている。定期点検のインターバルは6ヶ月または1年とするのがほとんどであった。

品名	点検頻度					
	回収・配備の都度	定期点検	インターバル			
			1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
半面マスク	17	13	1	0	10	5
全面マスク	18	16	1	0	11	6
電動ファン式	13	10	0	0	7	5
エアラインスーツ	6	5	1	0	3	1
エアラインマスク	14	18	1	1	13	5

⑥ 保管方法

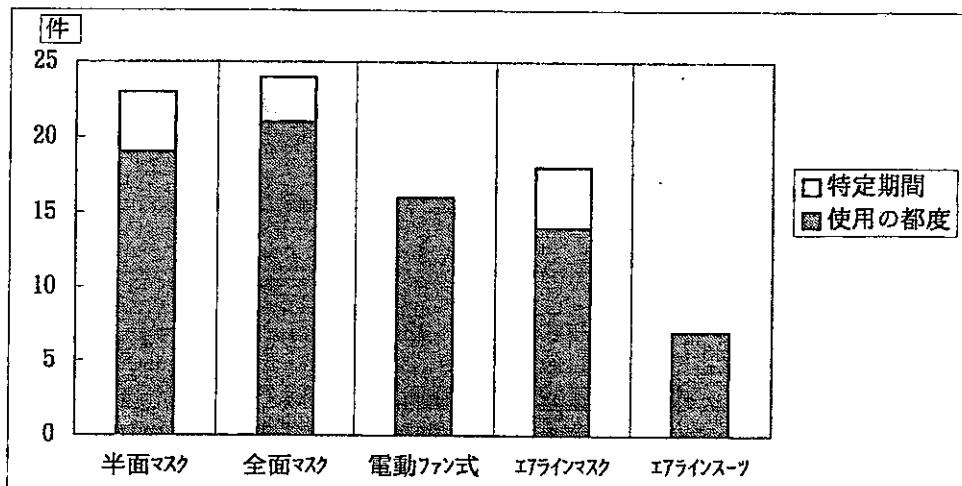
呼吸用保護具の主素材の多くはゴムであり、保管環境の善し悪しはゴムの劣化を招いてしまい性能維持の上で重要となる。半数前後の事業所が保管環境を考慮している。また、考慮無とした事業所においても、保管場所にはそれなりに注意がはらわれていると思われる。また、保管場所については、事業所の規模、事情および使用量により分散保管または集中保管となっている。

保管状態は、半数以上の事業所が清潔性の維持のための包装を行っている。

品 名	保 管 方 法			
	保管環境	保 管		保管状態
		考 虑 有 無	分 散	集 中
半面マスク	11	6	16	16
全面マスク	11	4	18	18
電動ファン式	8	2	14	13
エアラインスース	6	1	8	4
エアラインマスク	8	4	15	12

⑦ 貸与回収方法

共用方式をとっているため、ほとんどが使用の都度回収している。特定期間としているのは、個人貸与方式を行っている事業所である。比較的少人数にて運用する事業所には合理的な方法である。



⑧ 廃棄割合

半面マスク、全面マスク、電動ファン式の呼吸保護具の保有総数に対する年間の廃棄割合は、回答のあったほとんどの事業所において20%以下であった。半面マスク、全面マスクの最大廃棄割合は各々15%，30%であった。電動ファン式の最大200%（1件）はフード部の廃棄割合と考えられる。

一方、エアラインマスクの廃棄割合は10%以下となっており、エアラインスーツの最大60%（1件）は利用頻度の高い事業所と考えられる。

品名	回答数	～5%	～10%	～20%	～50%	>50%	MAX
半面マスク	12	5	5	2			15%
全面マスク	15	5	6	3	1		30%
電動ファン式	6	1	1	3		1	200%
エアラインスーツ	3		2			1	60%
エアラインマスク	4	2	2				10%

(2) 身体防護具

① 洗浄設備

身体防護具としてはカバーオール等の織物が基本的に繰り返し使用され、これに対応した設備が準備されている。洗浄方式も数年前までは機械化とともにドライ方式が多く採用されているが、現在では水洗いが主となっている。また、紙服、アノラック、ゴム手袋については一般的には使い捨てで使用されているが、一部の事業所では洗浄し再利用している。

一方、カバーオールと同じく共用で使用される靴も当然洗浄対象としているが、洗浄方式が清拭としている事業所が8ヶ所あることなどから洗浄設備にまだ改善の余地が考えられる。

品名	洗浄対象	洗浄設備				
		設備		洗浄方式		
		専用	汎用	水洗	ドライ	清拭
カバーオール	21	19	2	17	13	0
紙服	5	4	1	5	0	0
アノラック	1	0	0	0	0	1
ゴム手袋	1	1	0	1	0	0
靴	18	9	3	7	3	8

② 洗浄サイクル

洗浄サイクルにしてもほとんどの事業所において使用毎となっている個人貸与の方式を採用している事業所においては定期的な洗浄が行われていると考えられる。靴については「他」としている内容は定期的な洗浄を行っていると考えられる。

品名	洗浄対象	洗浄サイクル	
		使用毎	他
カバーオール	21	19	4
紙服	5	5	0
アノラック	1	1	0
ゴム手袋	1	1	0
靴	18	6	10

③ 洗浄後の消毒の有無

全般的には身体防護具のうち、洗浄による繰返し利用を対象としているのはカバーオールである。カバーオールは通常使用の都度回収し、洗浄されており、洗浄後の消毒は加えていないのが現状である。

靴については、通常管理区域入口に配備され、共用となっているため、定期的な洗浄とともに消毒が行われている事業所が多い。

品 名	洗浄対象	洗浄後の消毒	
		有	
カバーオール	21	1	
紙 服	5	0	
アノラック	1	1	
ゴム 手 袋	1	0	
靴	18	7	

④ 洗浄実施体制

ほとんどの事業所において洗浄の実務は委託（外注）にて実施されている。施設の規模に応じた委託要員数となっており、最大は37人体制となっている。また、事業所によっては、全体委託（ランドリーを含む）の中でその都度要員数の調整が図られている。

品 名	洗浄対象	洗 济 実 施 体 制				
		外 注 委 託		要 員 数		
		有	無	5人以下	6~10人	11人以上
カバーオール	21	18	1	7	4	4
紙 服	5	5	1	2	2	1
アノラック	1	1	0	0	1	0
ゴム 手 袋	1	1	0	2	0	0
靴	18	16	1	8	2	2

⑤ 点検頻度

カバーオールは共用が基本となるため配備、回収、洗浄の都度、点検が行われている。

靴については約7割の事業所が配備回収の都度、点検を行っているが、5事業所においては1ヶ月毎の定期点検として行っている

品名	点検頻度								点検なし	
	回収・配備の 都度	定期点検	インターバル							
			1週間	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年			
カバーオール	18	0	0	0	0	0	0	0	1	
紙服	5	0	0	0	0	0	0	0	2	
アノラック	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
ゴム手袋	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
靴	13	5	0	6	0	0	0	0	3	

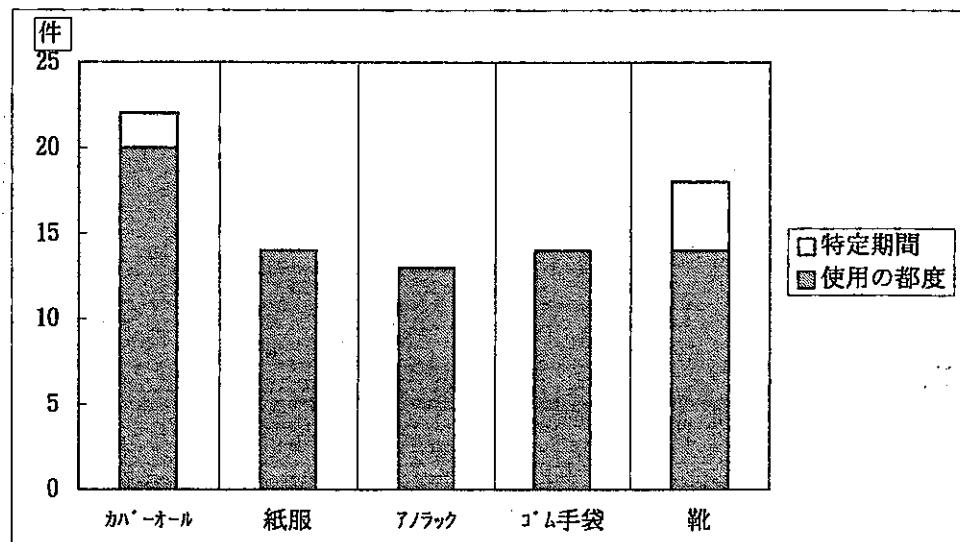
⑥ 保管方法

ゴム手袋およびアノラック等、ゴムおよびPEフィルムを素材とする防護具については、温度、湿度、光線等に影響されることから、保管環境について考慮されていると考えられるが、考慮している事例は少ない。これらの防護具は消耗品であるため、長期的な保管を要していないと思われる。また、カバーオール、靴等は環境にあまり影響を受けないため、考慮する事業所が少ないと考えられる。一方、保管については呼吸用保護具同様に使用場所の分散状況および運用方法によって変化する。カバーオール、靴等は管理区域入口に設置するため管理区域の数だけ分散してしまう。また、保管状態としては個別に包装する事業所は少なく、梱包単位(50~100個)で包装している。また、専用のコンテナー等を利用し、運用保管されている事業所もある。

品名	保管方法			
	保管環境	保管		保管状態
		考慮有無	分散	
カバーオール	2	5	16	5
紙服	4	3	13	9
アノラック	3	2	12	9
ゴム手袋	4	4	11	5
靴	3	5	15	8

⑦ 貸与・回収

貸与、回収は、ほとんどの事業所が使用の都度実施している。一部特定期間にて実施している事業所も見受けられるが、運用方法の違いによるものと考えられる。



⑧ 廃棄割合

カバーオール、靴は繰返し利用がなされていることからほとんどの事業所において50%以下の廃棄割合になっている。カバーオールの最大100%（1件）は使い捨て方式のためと考えられる。

紙服、アノラック、ゴム手袋はほとんどの事業所において使い捨て方式を採用しているため、廃棄割合はほぼ100%となっている。

品名	回答数	~5%	~20%	~50%	~80%	~100%	MAX
カバーオール	19	5	7	6		1	100%
紙服	10		1	1	—	8	100%
アノラック	10			1	—	9	100%
ゴム手袋	10					10	100%
靴	13	5	5	3			50%

4. 使用実態調査まとめ

本章においては、原子力産業界が求める放射線作業用防護具について、その使用実態を確認することができた。

各施設における使用量、導入およびこれらの運用、保管管理等の基本は共通するものである。しかし、事業内容から取り扱われる放射性物質の違いにより各施設においては特徴のある運用がなされている。

一般的に防護具類を実際に使用する場合、作業現場の条件に適合したものを選択することになる。第一に防護性能が決められ、次に作業性や着用感の良いもの、身体負荷の軽減できるもの、また、安全性や通話性等も極めて重要な要素である。これらの要件は、防護具の選定時において十分検討すべきことである。選択の基準のようなものは、各事業所毎に決められており、作業環境における空気汚染、表面汚染のレベルに基づき、防護具は選択されている。

呼吸用保護具については、半面マスク、全面マスクおよび電動ファン式呼吸保護具が重複した条件で使用されていることが確認できた。

第3章 放射線作業用防護具の開発ニーズおよび開発状況調査

1. 目的と概要

原子力施設においては、主に施設の保守・点検および保修・改造工事等の目的で、作業者が高汚染エリアや高線量当量エリアで作業する必要が生じる。

このような作業における放射線管理（放射線防護）では、まず第一に作業環境の安全確保のため、可能な放射性物質の排除を行い、次に放射性物質を局所的に閉じ込めるためのシールド・養生・グリーンハウスの設営・局排の設置等を行うとともに、補助しゃへいによる線量率低減対策を施す。そして最終的には、作業環境の放射能（線）レベルに応じて、作業用防護具の装備による体内放射性物質の取り込み防止および立入時間の管理やAPDによる作業線量管理等によって、個人線量当量が計画された範囲内に収まるよう徹底した管理がなされている。

近年、日本の原子力産業界では、長年の運転実績の積み重ねにより、作業環境や管理技術が向上したことや世相を反映して、環境と人に優しい対応を求められていることから、作業負荷の大きいマスクやスーツ装備作業等における作業負荷の軽減対策が求められており、それぞれの事業者により、工夫された検討がなされている。

そこで、原子力産業界における呼吸用保護具および身体防護具のユーザ（原子力研究施設、原子力発電所、原子燃料サイクル施設）に対して、使用実態を踏まえた開発指向のニーズ調査を行い、ユーザが求める既存の防護具における開発項目の明確化を図るとともに、防護具メーカーにおける防護具の開発動向およびその指向性の調査を行うことにより、再処理施設に適合した防護具の開発に資することを目的とする。

2. 調査の方法および調査内容

2. 1 放射線作業用防護具の開発ニーズの調査

呼吸用保護具および身体防護具の主要ユーザーである原子力事業者に対して、防護具の問題点として考えられる項目について、アンケート形式で調査を行うとともに、代表的な原子力施設の訪問調査（聞き取り調査）を行った。

(1) 調査対象事業所（施設）

調査対象事業所は、第2章2項2.1に準じる。

(2) 調査内容

① 対象とする呼吸用保護具および身体防護具

調査対象とする呼吸用保護具および身体防護具は、第2章2項2.1に準じる。

② 調査項目

現状の問題点

記号	調査項目	記号	調査項目
A	息苦しい	J	現場装着試験
B	暑い	K	連続使用時間
C	圧迫感	L	風量
D	重い	M	耐汚染性
E	防護性能（P.F.）	N	除染性
F	装脱着の容易性	O	対話性
G	視野の大きさ	P	廃棄物低減化（減容・焼却）
H	眼鏡の使用	Q	コスト
I	フィルタ（形状・サイズ）		

なお、開発・改良の要望を自由記載して頂いた。

2.2 放射線作業用防護具の開発動向調査

開発動向調査は、「放射線作業用防護具の開発ニーズ調査結果」を基に、使用者サイドからの開発ニーズを抽出し、この開発ニーズに対する供給者（製造会社や販売会社等）の開発動向および方向性について、アンケート調査を行った。

(1) 調査対象企業

区分	業種				合計
	素材メーカー	製造メーカー	販売店	その他	
呼吸用保護具	-	4 社	3 社	-	7 社
身体防護具	3 社	13 社	5 社	3 社	20 社 (一部重複がある)

(2) 調査内容

① 対象とする呼吸用保護具および身体防護具

調査対象とする呼吸用保護具および身体防護具は、第2章2項2.1に準じる。

② 調査項目

調査項目は、開発ニーズ調査結果から主要な開発ニーズ項目を摘出した。

例えば、呼吸用保護具（半面マスク）は、

- ・息苦しさ
- ・圧迫感
- ・防護性能
- ・フィルタ（形状・サイズ）
- ・除染性
- ・対話性
- ・廃棄性

の7項目である。

そして、これら調査項目に対して、次の7種類の評価を行った。

A：現状がほぼ限界

B：現在案はない

C：具体的な案がある

D：対策品の製品化を進めている

E：既に対策品の販売を進めている

F：その他

3. アンケート調査および訪問調査

3. 1 開発ニーズおよび改良の要望

アンケート調査結果と訪問調査内容を踏まえ、次の呼吸用保護具、身体防護具についての現状の問題点および開発・改良の要望点について、整理する。

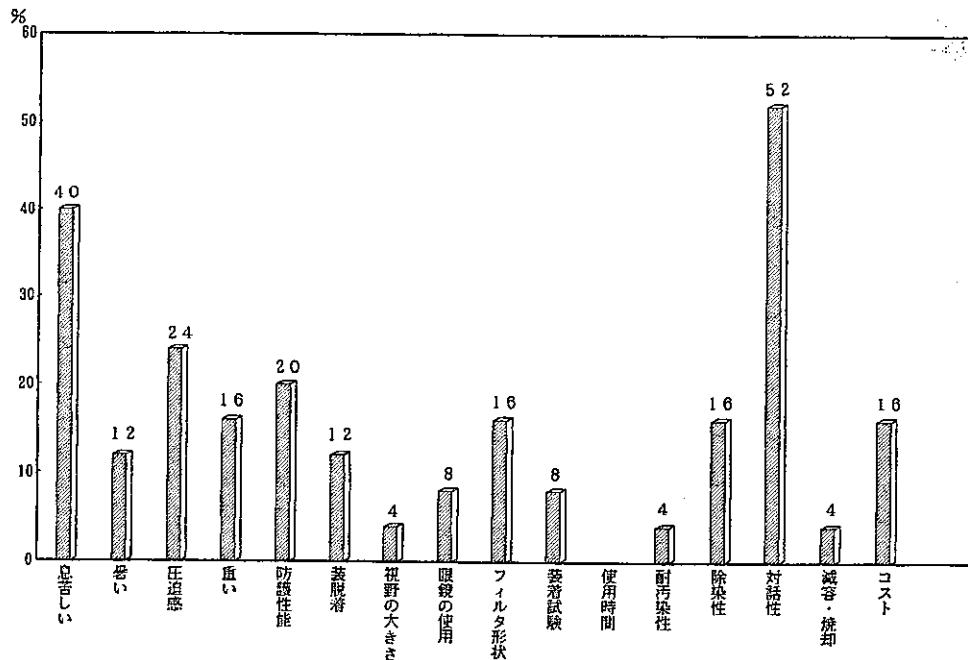
呼吸用保護具	身体防護具
① 半面マスク	① カバーオール
② 全面マスク	② 紙服・タイベック等
③ 電動ファン式呼吸用保護具	③ アノラック
④ エアラインマスク	④ ゴム手袋
⑤ エアラインスーツ	⑤ 靴（短靴・長靴）

(1) 呼吸用保護具

① 半面マスク

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	・対話性の向上（無線通話システムの導入等） ・気密性の向上（鼻部分の改善、面体の柔軟性向上）		
面体	・焼却可能な材質の選定	・汗で滑らない、溜らない	・ヘッドバンドのズレ防止
フィルタ	・皮膚への影響の少ない材質の選定 ・マスク形状の多様化	・吸気抵抗の低減 ・フィルタ表面への自然放射性物質の付着防止 ・防水化	・内部活性炭の漏洩防止 ・小型化 ・低コスト化

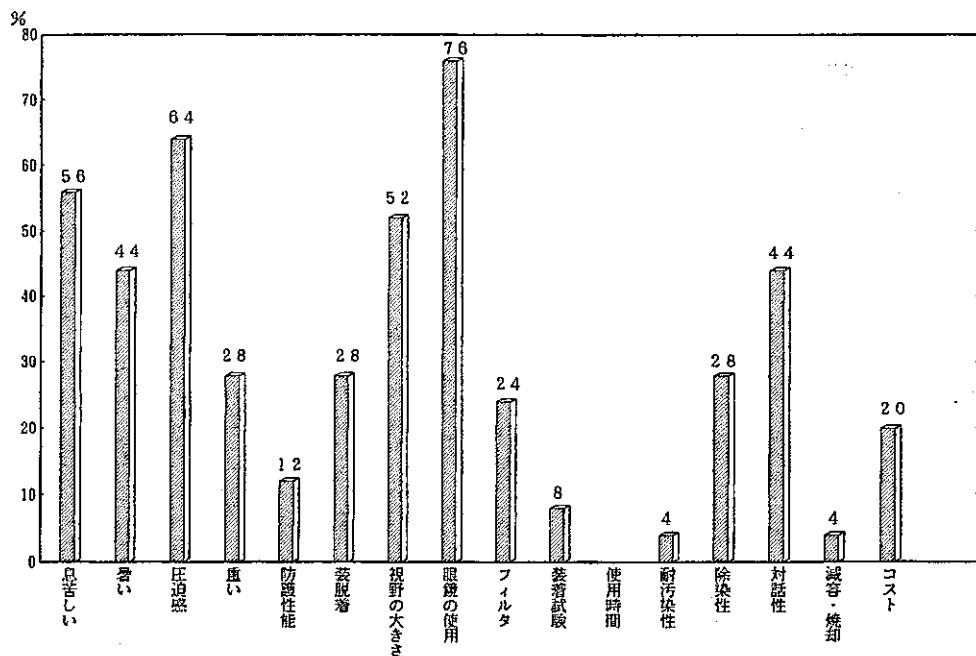
c. 開発指向

半面マスクは、淨氣式呼吸保護具（肺力によって作業環境の空気を面体に取り付けたフィルタでろ過・吸着するもの）であるため、防護性能（放射性物質を取り除く能力）を高めるほど呼吸が困難になる。このため、防護性能を維持しながら、作業性（特に息苦しさ）を改善することが重要である。また、半面マスクの着用により、作業中の会話が難しくなるため、作業中に対話可能なマスクの開発・改良が強く望まれる。

② 全面マスク

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	・対話性の向上 ・防護衣との親和性の向上	・装脱着のワンタッチ方式化 ・自動除染装置の開発	・除染の容易な構造
面体	・個人眼鏡が使用可能 ・焼却可能な材質の選定 ・皮膚への影響の少ない材質の選定	・マスク内の曇り防止 ・マスクの軽量化	・視野の拡大
フィルタ	・小型化 ・規格統一による互換性の向上	・吸気抵抗の低減 ・防水性	・低コスト化

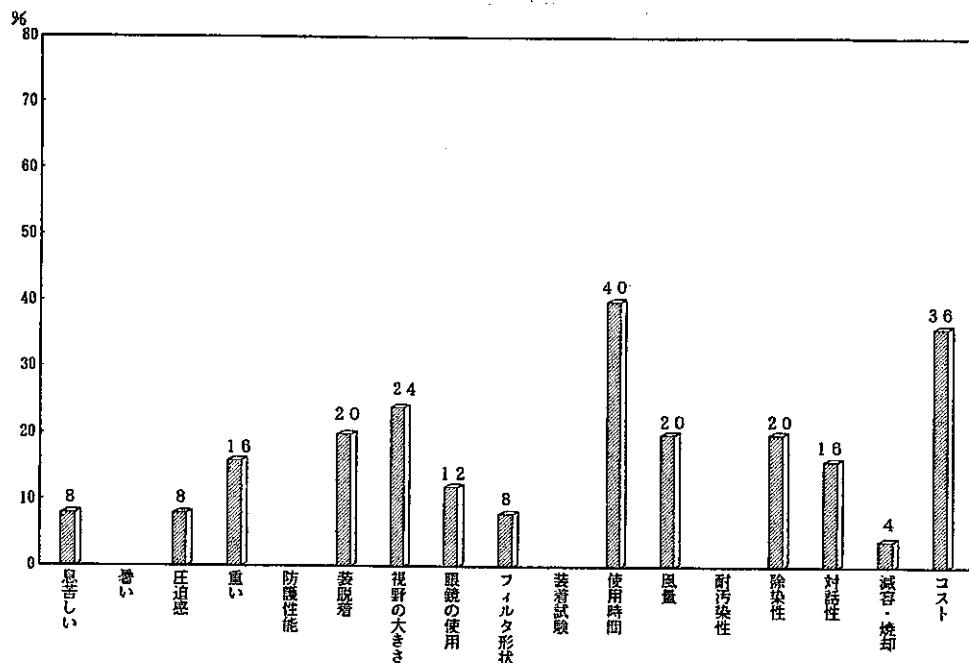
c. 開発指向

全面マスクの開発指向は半面マスクと同様であるが、マスクが顔全体を覆うために息苦しさ・暑さ・汗・視野が狭い等の要因から、より身体負荷が大きい。このため、作業性の向上が強く要求されており、特に息苦しさの改善と視野の確保並びに眼鏡使用が重要である。

③ 電動ファン式呼吸用保護具

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	・対話性の向上 ・風量調整が可能 ・自動除染装置の開発
ファンユニット	・ファンユニットの軽量・小型化 ・バッテリーの長寿命化 ・バッテリー充電時間の短縮
面体	・個人眼鏡が使用可能 ・視野の拡大 ・ズレ防止対策 ・除染性の向上（縫い目） ・焼却可能な材質の選定
その他	・目が乾く（コンタクトレンズ使用時）

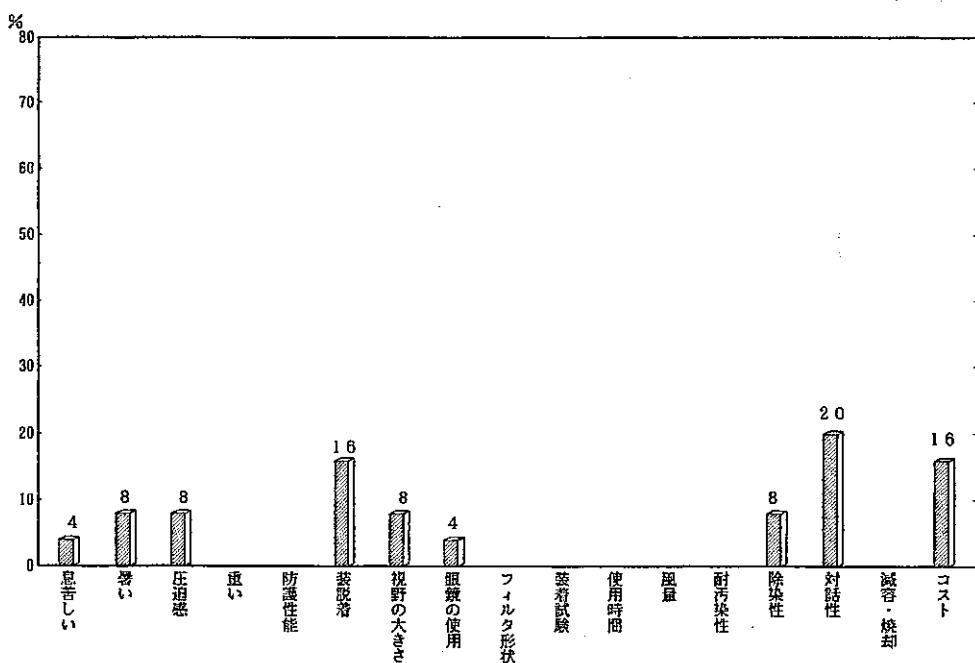
c. 開発指向

電動ファン式呼吸用保護具は、電動式の呼気ろ過装置を備えているので、呼吸が容易で、身体負荷が軽減されている。しかし、電動式であるがために、バッテリーの改善（長寿命化と充電時間の短縮）の要求が強く、また、コスト低減に努める必要がある。

④ エアライнстゥツ

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	・対話性の向上（例えば、小型無線化） ・エア供給停止時の人命確保方式		
フード・ スツ等	・全周透明フードの開発 ・フードの小型化 ・スツ内部の曇り防止	・耐久性の向上（複数回利用） ・焼却可能な材質の選定 ・除染性の向上（縫い目）	・装備の容易化 ・サイズの多様化
その他	・作業性の向上 ・脱着時の汚染コントロール性の配慮		

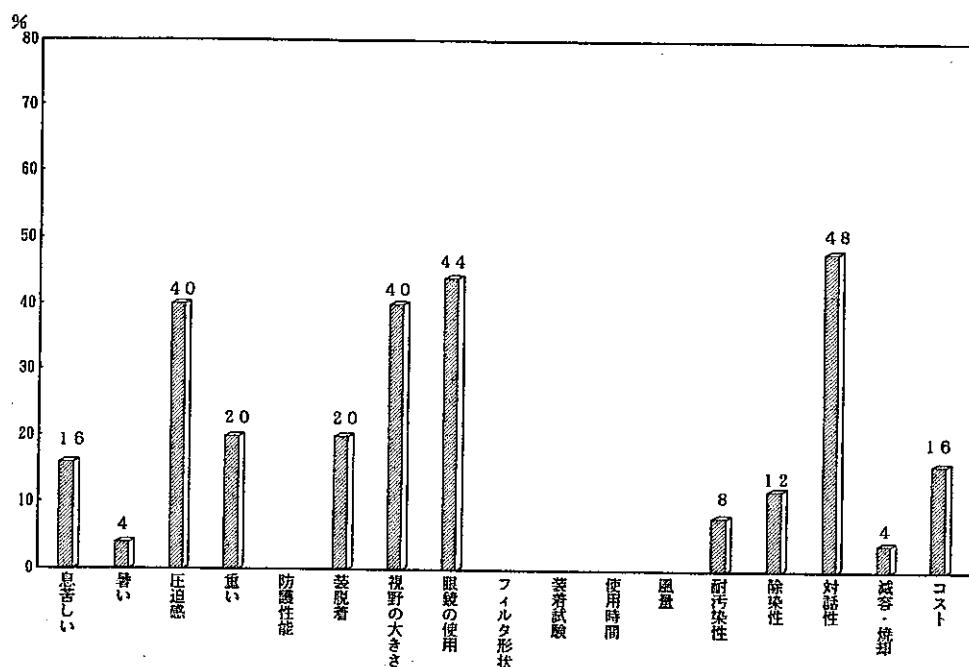
c. 開発指向

エアライнстゥツは、相対的に有効な結果が得られた。しかし、これは放射線作業における呼吸用保護具使用に占めるエアライнстゥツの使用割合が低いことが影響している可能性がある。

⑤ エアラインマスク

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	<ul style="list-style-type: none"> エア供給による身体の冷却 湿度調整の可能 	<ul style="list-style-type: none"> エアホースと通話システムの合体
マスク・ホース等	<ul style="list-style-type: none"> 眼鏡の使用可能化 エア吹出し音の軽減 腰フィルタから顔部にフィルタを取り付け エアホースのねじれ・絡み防止 	<ul style="list-style-type: none"> マスク・ホースの軽量化 マスクのエア入れ口の改良（位置） 作業範囲エリアの限定回避
その他	<ul style="list-style-type: none"> 作業性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ドライエアに対する対応

c. 開発指向

エアラインマスクは、空気供給式呼吸保護具（空気汚染のない区域から浄化した空気を送り込む）ため、息苦しさや暑さといった身体負荷は軽減されている。しかし、マスクにエアホース等が接続されているため、圧迫感や作業性の改善が要求されている。今後、エアラインホースの材質・構造・取り付け位置の改善が望まれる。

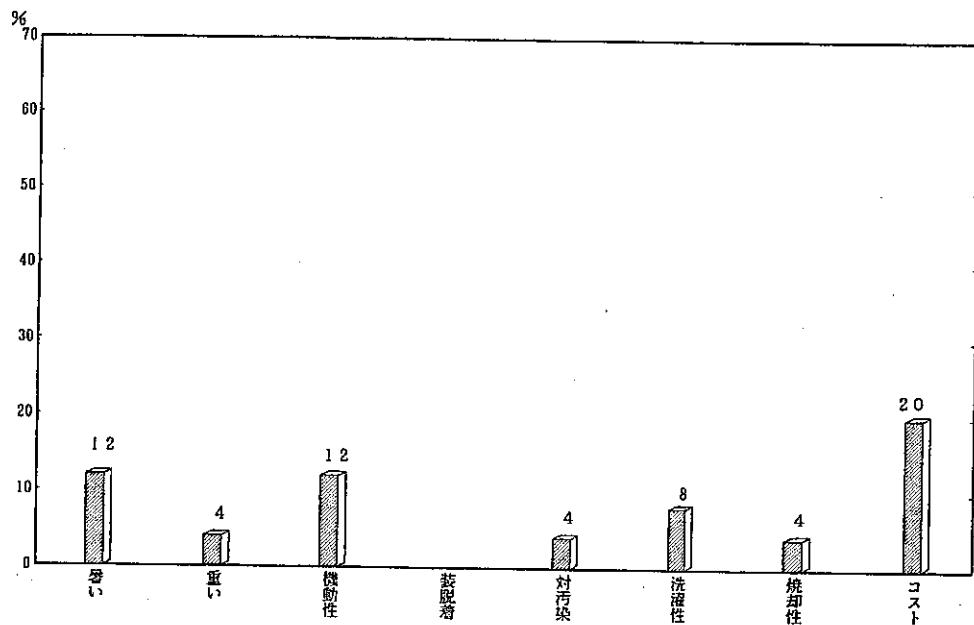
また、全面マスク等と同様に視野の確保・眼鏡利用・対話性の向上の要求も強い。

(2) 身体防護具

① カバーオール

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

素 材	・伸縮性のある素材（破れ難い） ・カバーオールの耐汚染性の向上（浸透・通過防止） ・ファスナーの可燃性化
形・ サ イ ズ	・測定器等の取り付け（ポケットの検討） ・形状やサイズの多様化 ・肩付近がきつい（着脱時）
そ の 他	・洗濯排水の低減

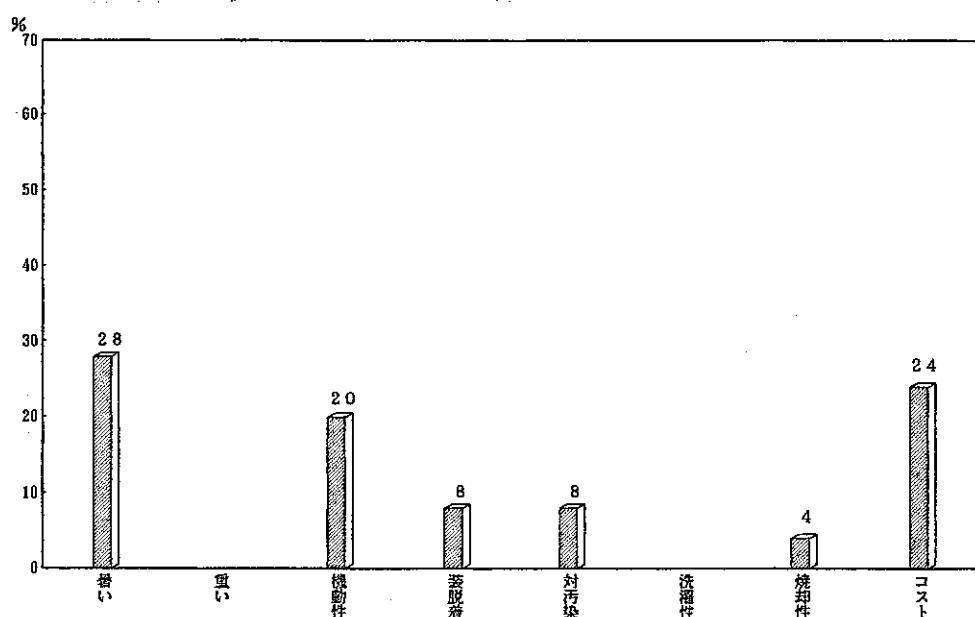
c. 開発指向

カバーオールに対する現状の問題や開発・改良要望は少なく、相対的に良好な結果が得られた。これは、呼吸用保護具等に比べ、一般消費材に類似しているため、繊維メーカーの新技術・新素材の開発意欲が旺盛であり、かつ製品への導入が容易であるためと考えられる。

② 紙服・タイベック等

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

素 材	・通気性と防水性（防護性能）の両立 ・耐久性の向上（生地およびファスナー） ・熱に強い素材の選出 ・ファスナーのつまみ部の大型化	・汚染し難い素材の開発 ・伸縮性の向上 ・吸汗性の向上 ・粗除染の容易性の向上
その 他	・アノラックとの機能供用による簡素化	

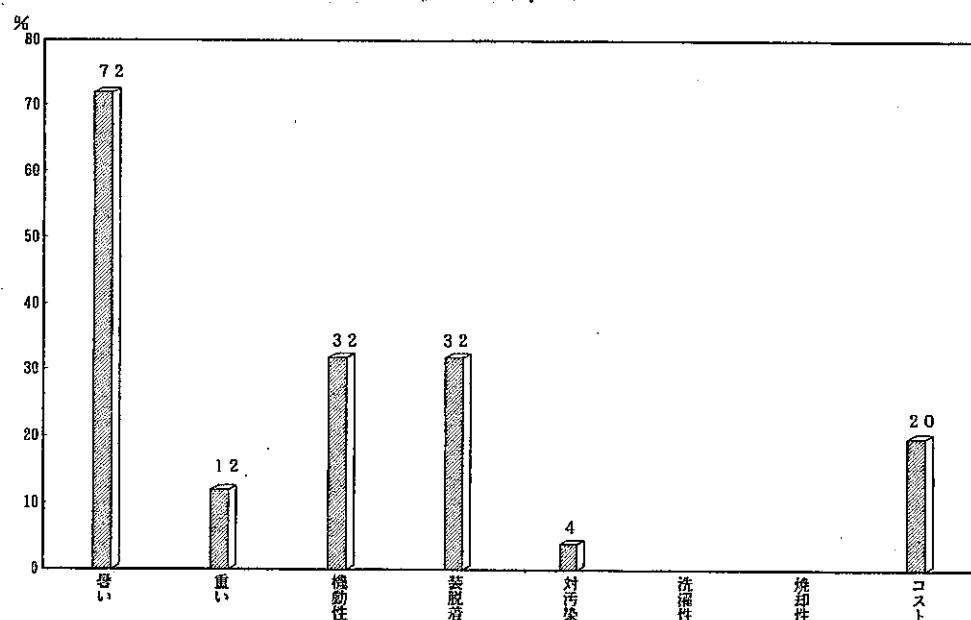
c. 開発指向

紙服・タイベック等は、基本的にはディスボーザブルであるため、カバーオールと比較すると通気性や強度・伸縮性が劣る。このため、暑さ対策や機動性の要求（強度・伸縮等）が見受けられるとともに、ディスボタイプであるためにコスト低減の要求も存在する。

③ アノラック

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

素 材	・通気性の向上 ・伸張性の向上
構 造	・排気口（弁）の追加（暑さ・蒸れ対策） ・脱着の容易性向上

c. 開発指向

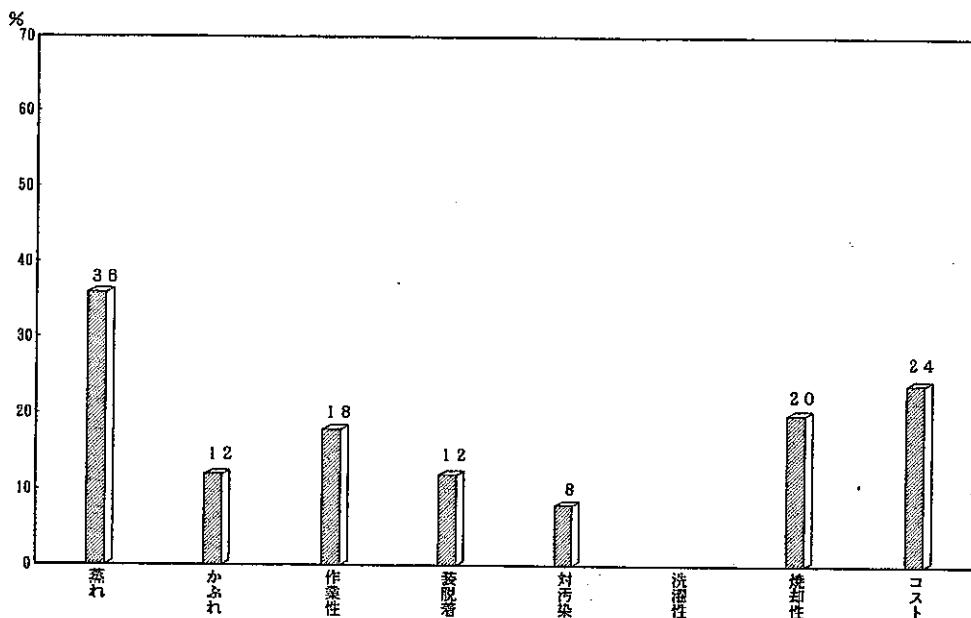
アノラックは、水を取り扱う作業における放射性物質の透湿防止の目的で着用しており、最大の機能は防水性にある。このため、暑さに対する改善要求は非常に強く、本来の機能である防水性を確保しつつ、かつ通気性を向上させた素材（生地）の開発や構造の改良が強く望まれている。

但し、開発に当たっては、アノラックの多くがディスポタイプで運用されているため、コスト面の配慮も必要である。

④ ゴム手袋

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	・耐久性の向上（破れ難さ） ・精密作業に対応可能（薄さ、指先のフィット性） ・皮膚への影響が少ない製品の開発
素材	・汚染し難い素材
その他	・色付 ・サイズの多様化 ・テープ等の粘着材が付き易い（表面仕上げの改良）

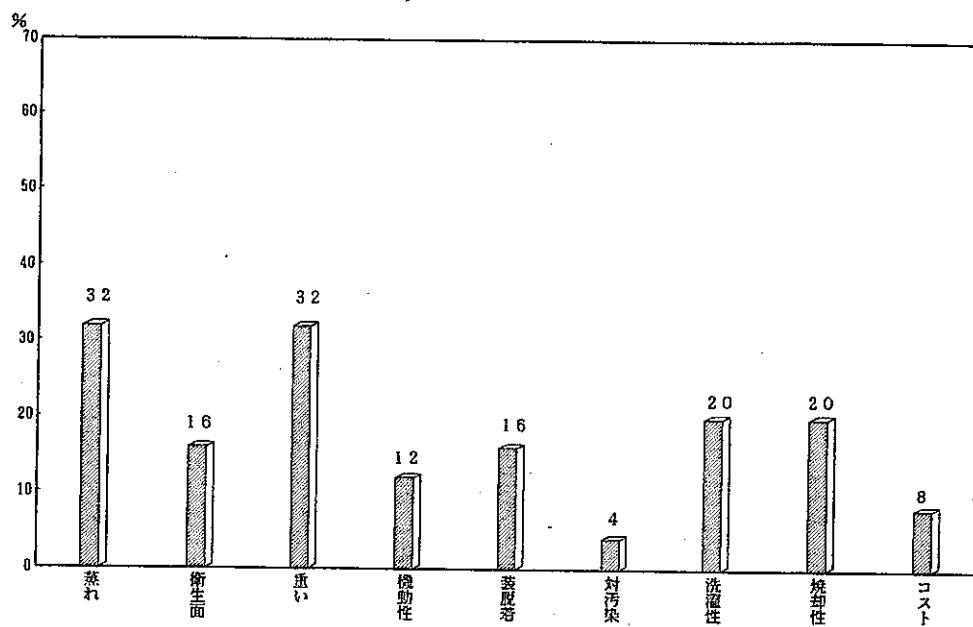
c. 開発指向

ゴム手袋は、アノラックと同様である。しかし、この他にゴム手袋の特徴として、用途に応じた機能（耐薬品タイプ、精密作業用）を備えた専用手袋の開発要求が見受けられる。また、作業者の多くがゴム手袋を装着するため、皮膚への影響が少ない素材の開発も必要であると考えられる。さらに廃棄物処理の観点から焼却性への改善も必要である。

⑤ 靴（短靴・長靴）

調査結果により、現状の問題および開発・改良に対する要望を示す。

a. 現状の問題



b. 開発・改良の要望

機能	・軽量化 ・通気性の向上 ・型崩れ防止（例えば、形状記憶素材）	・蒸れ防止対策（例えば、吸湿シートの追加） ・自動除染装置の開発 ・洗濯と乾燥性の向上
素材	・履き心地の改善（素材の選定） ・マジックテープの採用	・滑らない中敷の採用
その他	・金物がない構造	・靴底を厚く ・靴底を柔らかく（疲れ防止）

c. 開発指向

靴（短靴・長靴）に対する要求は、作業性の良い、疲れない素材・構造とすることである。但し、放射線防護上の要求として浸透防止・除染の容易性があり、また、労働安全からの要求として落下物対策があるため、これら要求を満たしつつ、作業性等の改善を図る必要がある。

3. 2 供給者における開発・改良動向

放射線作業用防護具の開発動向調査結果について整理し、供給者の開発・改良動向および方向性について検討を行う。

(1) 呼吸用保護具

呼吸用保護具の製造企業・販売企業は、各社ともほぼ全種類（半面マスク、全面マスク、エアラインマスク等）の製品を製造または販売できる体制となっている。

① 半面マスク

a. 開発・改良動向

(回答企業：6社)

問 題 点	開 発 ニーズ (%)	開発・改良動向 (%)					
		限 界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
息 苦 し い	40	33	16	0	16	16	16
圧 迫 感	24	33	0	0	0	66	0
防 護 性 能	20	33	33	0	0	33	0
フィルタ(形状・サイズ)	16	16	33	0	16	33	0
除 染 の 自 動 化	16	16	83	0	0	0	0
対 話 性	52	16	33	0	16	33	0
廃 棄 性	4	33	33	0	0	33	0

b. 具体的な対応策等

問 題 点	対 応 策
息 苦 し い	<ul style="list-style-type: none"> ・吸気抵抗を半減した製品を販売中。 ・捕集性能の適正化を見極め、吸気抵抗の低いろ過材を使用する。
圧 迫 感	<ul style="list-style-type: none"> ・面体素材をシリコンゴム化した製品を販売中。 ・接顔部を柔らかめのゴムで成形したマスク販売中。 ・サイズの多様化
防 護 性 能	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易型の装着テストキット等を販売中。
フィルタ(形状・サイズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタの小型化、防水化した製品を販売中。
除 染 の 自 動 化	なし
対 話 性	<ul style="list-style-type: none"> ・伝声板付マスクの製品化 ・大型伝声板のマスクを販売中。 ・頭骨マイクでの無線通話システムを販売中。
廃 棄 性	<ul style="list-style-type: none"> ・既に、PP(ポリプロピレン)、PE(ポリエチレン)等の焼却可能な材質を使用している。

c. 開発・改良の方向性

供給者（製造会社、販売会社）に対する開発動向調査結果は、「限界・案なし」または「製品化中・販売中」といった両極端な回答であった。すなわち、現状製品で充分な効果が得られている、もしくは、これ以上の開発・改良は不可能と考えているものと判断できる。

従って、今後の開発・改良の方向性としては、既存製品の部分的な改良または性能向上の範囲に留まるものと思われ、例えば、

- ① 面体構造およびフィルターの捕集方式の検討
- ② 無線システムの高機能化等

を考えられる。

② 全面マスク

a. 開発・改良動向

(回答企業: 6社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
息苦しい	56	0	34	16	0	50	0
暑い	44	34	16	0	0	50	0
圧迫感	64	16	0	16	0	67	0
重い	28	33	33	0	0	33	0
装脱着性	28	0	83	16	0	0	0
視野の広さ	52	50	0	0	0	50	0
眼鏡の使用	76	16	16	16	16	34	0
除染の自動化	28	0	100	0	0	0	0
対話性	44	0	50	0	0	50	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
息苦しい	・小型ファンを直接装着可能なマスクを販売中。 ・フィルタ抵抗の低減化を検討中。
暑い	・小型ファンを直接装着可能なマスクを販売中。
圧迫感	・面体素材をシリコンゴム化した製品を販売中。
重い	・ポリエチレン樹脂を利用できれば、軽量化可能。
装脱着性	・アノラックとの一体化を検討中
視野の広さ	・広視野型の製品を販売中。
眼鏡の使用	・製品化の検討中。　・メガネ用シールピースを販売中。
除染の自動化	なし
対話性	・無線システム　・拡声装置　・伝声板の大型化

c. 開発・改良の方向性

全面マスクは、半面マスクと同様に既存品（販売中を含む）で対応済または限界と考えている傾向がある。今後の開発・改良の方向性としては、全面マスク本体の改良ではなく、全面マスクの息苦しさ・暑さ・圧迫感といった弊害を解消するために開発された「電動ファン式呼吸保護具」の開発に重点がおかれるものと考えられる。例えば、全面マスクのフィルター部にプロアーを付けた「ダイレクトプロアータイプ」等がこれに該当する。なお、視野の確保には、広視野型マスクが、また、眼鏡使用には専用眼鏡使用のマスクが既に販売されている。

③ 電動ファン式呼吸保護具

a. 開発・改良動向

(回答企業：5社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
装脱着性	20	20	40	40	0	0	0
視野の広さ	24	20	40	0	40	0	0
連続使用時間	40	40	20	40	0	0	0
風量	20	20	60	0	0	20	0
除染性	20	20	80	0	0	0	0
廃棄性	4	20	60	0	0	20	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
装脱着性	・リチウム電池を使用することにより軽量化は可能。(但し高価) ・高性能プロアの開発
視野の広さ	・アイピースの大型化
連続使用時間	・リチウム電池を使用すれば対応可能。(但し高価)
風量	・一般産業向けには、風量調整機能付を販売中。
除染性	なし
廃棄性	なし

c. 開発・改良の方向性

電動ファン式呼吸保護具は、全面マスクの問題点を解消するために開発されたものであるため、開発ニーズの要求も少なかった。しかし、供給者サイドは電動ファン式呼吸保護具が比較的新しい製品であるため、リチウム電池使用による連続使用時間の延長対策等の開発意欲が感じられた。今後の開発・改良の方向性としては、

- ① 使用時間の延長（リチウム電池等の使用）
- ② マスク構造の改造
- ③ 小型軽量化

を考えられる。

④ エアラインスーツ

a. 開発・改良動向

(回答企業: 4社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
暑い	8	0	50	0	0	50	0
圧迫感	8	0	25	25	0	50	0
装脱着性	16	0	75	0	0	25	0
視野の大きさ	8	25	0	25	0	50	0
対話性	20	0	50	0	0	50	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
暑い	・送気管にサイレンサー付の製品を販売中。 ・供給空気を冷却する製品を販売中。
圧迫感	・フード部が全周透明な製品を販売中。 ・サイズの多様化で対応。 ・アイビース部にエアーを流す構造とする。
装脱着性 (エアー停止措置)	・エアー停止時のバックアップシステムの付いた製品を販売中。
視野の大きさ	・フード部が全周透明な製品を販売中。
対話性	・頭骨マイク付の製品を販売中。

c. 開発・改良の方向性

エアラインスーツは、使用者サイドの開発ニーズの要求が低く、「全周透明フードの開発」や「サイズの多様化」といった項目も既に製品化されている。従って、今後の開発・改良の方向性としては、装備の容易性・作業性向上の目的で、

- ① 装脱着性の改良
- ② 無線システムの高度化

等が考えられる。

⑤ エアラインマスク

a. 開発・改良動向

(回答企業: 6社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
息苦しい	16	16	83	0	0	0	0
暑い	4	16	16	0	0	67	0
圧迫感	40	50	16	0	0	50	0
重い	20	50	33	16	0	0	0
装脱着性	20	0	100	0	0	0	0
視野の広さ	40	33	16	0	16	33	0
眼鏡の使用	44	16	16	0	33	33	0
対話性	48	0	50	0	0	50	0
廃棄性	4	33	50	0	0	16	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
息苦しい	なし
暑い	・冷却コンバータを販売中。
圧迫感(吹出し音)	・気送管にサイレンサー付製品を販売中。
重い	なし
装脱着性	なし
視野の広さ	・広視野型マスクを販売中。　・面体の改良を検討中。
眼鏡の使用	・専用眼鏡を販売中。　・面体の改良を検討中。
対話性	・頭骨マイク付の製品を販売中。　・無線システムを販売中。 ・エアホースと通話システムを合体された製品を販売中。
廃棄性	なし

c. 開発・改良の方向性

エアラインマスクの開発ニーズとしては「息苦しい・暑い」等といった身体負荷の軽減よりは、むしろ「視野の広さ・眼鏡使用・対話性」等の作業性向上が求められており、今後の開発・改良の方向性としては、

- ① 作業性向上のためのマスク構造の改良（例えば、フードタイプや広視野タイプ）
- ② 無線システムの高機能化

が一層進められるものと考えられる。

(2) 身体防護具

身体防護具は、カバーオール、ゴム手袋、靴等と種類が異なるため、製造メーカーは、それぞれ独自の製造品目毎に分かれている。これに対し、販売メーカーは全品目を取扱える体制となっている。なお、素材メーカーは被服類のみであった。

① カバーオール

a. 開発・改良動向

(回答企業：11社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
暑い	12	18	0	55	18	45	0
機動性	15	18	0	36	9	27	9
素材	—	18	9	18	18	55	0
廃棄性	4	64	9	0	9	18	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
暑い	<ul style="list-style-type: none"> ・吸汗性および速乾素材の使用。（デュアルプラス等） ・メッシュ地の使用。 ・シャミラン素材(東レ)やE/Cバーバリー素材(シキボウ)の採用。
機動性	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ素材の使用。 ・人間工学的な設計に基づいたデザインの採用。
素材	<ul style="list-style-type: none"> ・静電気対策用の製品は販売中。 ・シャミラン素材(東レ)やE/Cバーバリー素材(シキボウ)の採用。 ・セルロース長繊維の使用。 ·高強力ポリエステルの使用。 ・繊維の中に抗菌防臭剤を織り込む。
廃棄性	なし

c. 開発・改良の方向性

カバーオールに対する供給側の開発・改良意欲は高く、これは新技術・新素材に裏付けされたものである。今後の開発・改良の方向性としては、

- ① 一層の機能の向上（機動性、耐久性）
- ② デザイン
- ③ コスト低減

等が求められていくものと考えられる。

② 紙服・タイベック等

a. 開発・改良動向

(回答企業：7社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
暑い	28	14	0	14	29	71	0
機動性	20	57	14	0	0	14	14
素材	—	14	14	29	43	57	0
廃棄性	4	71	0	14	14	29	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
暑い	・PP不織布と透湿・耐水性フィルムの複合した製品を販売中。 ・新素材の採用(ハイド拉斯パン, プロボア素材, SMS (PP三層構造)素材等) ・脇下にタイベック製の空気孔を付ける。
機動性	・規格寸法の再検討を行う。
素材	・プロボア素材 ・SMS素材 ・PP不織布と透湿・耐水性フィルムの複合 ・ハイド拉斯パン
廃棄性	なし

c. 開発・改良の方向性

紙服・タイベック等は、カバーオールと同様に供給側の開発・改良意欲が高いため、今後の開発・改良の方向性としては、

- ① 暑さ対策（通気性素材の採用）
- ② 機能の向上（機動性, 耐久性）
- ③ コスト低減

が求められていくものと考えられる。

③ アノラック

a. 開発・改良動向

(回答企業：5社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
暑い	72	20	0	40	20	60	0
機動性	32	20	0	40	20	60	0
装脱着性	32	20	20	0	20	40	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
暑い	・透湿・耐水性素材の使用(プロボア素材等)した製品を販売中。
機動性	・柔軟性の高い樹脂素材の使用(プロボア素材等)した製品を販売中。
装脱着性	なし

c. 開発・改良の方向性

アノラックの最大の開発・改良ニーズは、暑さ対策とコストである。従って、今後の開発・改良の方向性は透湿性でかつ耐水性という相反する性質を備えた、いかに低成本の製品を供給できるかという一点に絞られると思われる。

④ ゴム手袋

a. 開発・改良動向

(回答企業: 7社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
蒸れ	36	29	14	14	29	14	14
作業性	18	43	14	14	29	0	14
焼却性	20	43	14	0	43	0	14

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
蒸れ (皮膚の安全性)	・吸汗性の良い下ばき手袋の使用。 ・アレルギー対策用として合成ゴム手袋を販売中。 ・アレルギー対策用として放射線加硫手袋を製品化中。
作業性	・サイズおよび厚みの多様化を図っている。
焼却性	・硫黄(S)ガスの発生を抑えた放射線加硫手袋を製品化中。

c. 開発・改良の方向性

ゴム手袋の開発ニーズとしては、蒸れ防止・作業性向上・焼却性向上が挙げられるが、蒸れ防止については抜本的な対応策は見受けられなかった。恐らく技術的な難しさがあるものと思われる。しかし、アレルギー対策用の手袋や手の負担を軽減する手袋の開発・製品化努力は見られた。

今後の開発・改良の方向性としては、使用側の要求とマッチした

- ① 手(人)に優しい手袋の開発
- ② 廃棄物(気体を含めて)の低減化対策

が進められるものと考えられる。

なお、用途に応じた機能(耐薬品性・精密作業用)を備えた手袋は既に販売されている。

⑤ 靴（短靴・長靴）

a. 開発・改良動向

(回答企業：5社)

問題点	開発ニーズ(%)	開発・改良動向(%)					
		限界	案なし	具体案有	製品化中	販売中	その他
蒸れ	32	20	40	0	20	0	20
機動性	12	20	0	0	40	40	0
洗濯性	20	20	0	40	40	40	0
焼却性	20	40	20	0	0	20	0

b. 具体的な対応策等

問題点	対応策
蒸れ	なし
機動性	・素材・形状により履き心地を改善した製品を販売中。 ・軽量化を目的に特殊合成皮革を採用した製品を販売中。
洗濯性	なし
焼却性	・プラスチック先芯の使用による、焼却性の向上させた製品を販売中。

c. 開発・改良の方向性

靴（短靴・長靴）は、機動性も含めた履き心地の良さの要求（軽い、柔らかい、通気性の良い）と放射線安全を含めた労働安全からの要求（浸透防止、除染性、強固）という相反する要求がある。このため、供給側としては労働安全からの要求を満しつつ、素材、形状の見直しを行い、製品の開発・改良に努めていると見受けられる。

4. 開発動向調査まとめ

呼吸用保護具および身体防護具について、使用者側の開発ニーズと供給側の開発・改良動向の調査を行った結果、次の事象が明らかになった。

(1) 開発ニーズと開発・改良動向の相異点について

使用者側の開発ニーズは、作業者の身体負荷の軽減の観点から、ウエイトの大きい呼吸用保護具に対する改善要求が強いのに対し、開発・改良動向は、身体防護具に対する開発意見が多くかった。これは、使用者側の放射線防護上からの呼吸用保護具に対する信頼性要求が強いのに対し、供給側の呼吸用保護具に対する製造技術（素材を含む）が遅れていることを意味している。逆に身体防護具については、素材メーカーからの新素材・新技術の供給が行われていることにより、多機能・多種類の製品が開発・改良され、結果として使用者側の開発ニーズが低くなっていると考えられる。

(2) 製品開発における留意事項

今回の調査結果から、製品開発に求められている要求内容は機能水準が高く、かつ機能的に相反する技術を多く含んでいることが判った。例えば、次の内容である。

- 捕集性能を確保し、息苦しくないこと。
- 通気性があり、疎水性があること。
- 強固（丈夫）であり、機動性があること。

なお、これらの開発ニーズに対応した呼吸用保護具および身体防護具の製品開発にあたっては、放射線防護上の実運用および機能・仕様要求を踏まえて、身体負荷の軽減化対策品を開発する必要がある。

(3) 将来の開発・改良の方向性

呼吸用保護具および身体防護具の使用者側の開発ニーズは、機能水準が高く、現状技術では、抜本的な対応策が見出せない。そこで、将来の開発・改良の方向性としては、次の事象が考えられる。

① 供給者側においては、段階的に既存製品に機能追加を行い、製品の高グレード化が行われ、結果として用途に応じた製品の多種多様化が図られると思われる。

また、

② 使用者側においては、放射線防護上の要求と身体負荷軽減上の要求との最適化が行われ、実作業に則した適切な呼吸用保護具の選択がなされるものと思われる。

第4章 放射線作業用防護具に関する文献調査

1. 目的と概要

国内外の原子力産業界における防護具の使用実態や開発動向、規格等を文献・資料により調査した。

日本工業規格（JIS）をはじめとする国内外の規格を調査すると共に、INIS ATOM INDEX（1970～1995）を検索し、関連文献を調査した。

2. 文献調査

2. 1 規格等に関する調査

本調査は、保護具全般に関する規格等の現状調査を行い、第2、3章で調査・研究した放射線作業用防護具（呼吸用保護具、身体防護具）とこれらの規格との関連について述べる。

法的に放射線作業における保護具の使用は、電離放射線障害防止規則（労働省令 第41号）の第38条、第39条に定められている。

第38条は呼吸用保護具の使用が、第39条は保護衣類、手袋、履物の使用が各自定められており、「事業者は当該作業に従事する労働者に保護具を使用させなければならない。」とされている。関連の国内規格としては、労働省規格およびJISが各種防護具に対し次のように制定されており、概ね供給者、使用者はこれらの規格に準拠した製品の生産ならびに使用をしている。

（1）国内規格

① 呼吸用保護具

労働省規格
防じんマスクの規格：労働省告示第84号
防毒マスクの規格：労働省告示第83号

呼吸用保護具のJ I S		
J I S N o	名 称 (タ イ ト ル)	対 象 保 護 具
JIS T 8153	送気マスク	エアラインマスク
JIS T 8157	電動ファン付き呼吸用保護具	電動ファン式
JIS T 8160	微粒子状物質用防じんマスク	全面マスク 半面マスク
JIS Z 4809	放射性汚染防護用保護衣類	エアインスーツ

呼吸用保護具の関連 J I S	
J I S N o	名 称 (タ イ ト ル)
JIS T 8150	呼吸用保護具の選択 使用及び保守管理方法
JIS T 8159	呼吸用保護具面体の漏れ率試験方法

② 身体防護具

身体防護具のJ I S		
J I S N o	名 称 (タ イ ト ル)	対 象 保 護 具
JIS Z 4809	放射性汚染防護用保護衣類	アノラック 紙服
JIS Z 4810	放射性汚染防護用ゴム手袋	ゴム手袋
JIS Z 4811	放射性汚染防護用作業靴	靴

③ その他の関連 J I S

個人用保護具及び救急用具に関する J I S	
J I S N O	名 称 (タイトル)
JIS M 7601	圧縮酸素形循環式呼吸器
JIS M 7611	一酸化炭素用自己救命器 (COマスク)
JIS M 7651	閉鎖循環式酸素自己救命器
JIS T 8010	絶縁用保護具・防具類の耐電圧試験方法
JIS T 8101	革製安全靴
JIS T 8102	総ゴム製安全くつ
JIS T 8103	静電気帯電防止用安全・作業靴
JIS T 8104	足甲安全靴
JIS T 8105	発泡ウレタン表底安全靴
JIS T 8112	電気用ゴム手袋
JIS T 8113	溶接用かわ製保護手袋
JIS T 8114	防振手袋
JIS T 8115	労働衛生保護服
JIS T 8116	労働衛生保護手袋
JIS T 8117	労働衛生保護長ぐつ
JIS T 8118	静電気帯電防止作業服
JIS T 8131	産業用安全帽
JIS T 8141	しゃ光保護具
JIS T 8142	溶接用保護面
JIS T 8143	レーザ保護フィルタ及びレーザ保護めがね
JIS T 8147	保護めがね
JIS T 8151	防じんマスク
JIS T 8152	防毒マスク
JIS T 8155	空気呼吸器
JIS T 8156	酸素発生形循環式呼吸器
JIS T 8161	防音保護具

(2) 諸外国の関連規格

- ANSI/NFPA 1991(1990) Vapor-Protective Suits for Hazardous Chemical Emergencies
ANSI/NFPA 1991(1994) Standard on Vapor-protective Suits for Hazardous Chemical Emergencies
ANSI/NFPA 1992(1994) Standard on Liquid Splash-Protective Suits for Hazardous Chemical Emergencies
ANSI/NFPA 1993(1994) Standard on Support Function Protective Clothing for Hazardous Chemical Operations
ANSI Z88-2(1992) Practices for Respiratory Protection
- ASTM F903-90 (1990) Standard Test Method for Resistance of Protective Clothing Materials to Penetration By Liquids
ASTM F1342-91(1991) Standard Test Method for Protective Clothing Material Resistance to Puncture
ASTM F739-91 (1991) Standard Test Method for Resistance of Protective Clothing Materials to Permeation by Liquids or Gases Under Conditions of Continuous Contact
- ISO 2960 (1974) Textiles-Determination of busting strength and bursing distesion -Diaphragm method
ISO 9073-4 (1981) Textiles-Test methods for nonwovens-Part 4:Determination of tear resistance
ISO 5082 (1982) Textiles-Woven fabrics-Deteminaion of breaking strength-Grab method
ISO 8194 (1987) Radiation protection-Clothing for protecion against rasioactive contamination-Design, selestion, testing and use
ISO 6529 (1990) Proective clothing-Protection against liquid chemicals-Determination of resistance of air-impermeable materials to permeation by liquids
ISO 6530 (1990) Protective Clothing-protection against liquid chemicals-Determination of resistance of materials to Penetration by liquids
ISO 7854 (1995) Rubber-or plastics-coated fabrics-Determination of resistance to damage by flexing
- BS 4555 (1970) HIGHT EFFICENCY DUST RESPIRATORS
BS 6016 (1980) Filtering facepiece dust respirators
BS EN 368 (1993) Protective clothing-Protection against liquid chemicals-Test method :Resistance of materials to penetration by liquids
BS EN 369 (1993) Protective clothing-Protection against liquid chemicals-test method :Resistance of materials to permeation by liquids
BS EN 374-3 (1994) Protective gloves against chemicals and micro-organisms
BS EN 464 (1994) Protective clothing for use against liquid and gaseous chemicals, including aerosols and solid particles-test method:Determinatin of Leak-tightnss of gas-tight suits(Internal Pressure Test)
BS EN 530 (1995) Abrasion resistance of protective clothing material-Test methods

DIN 3179-82 T1 Einteilung von Atemgetraten;Übersicht
DIN 3188-84 Druchluft fur Atemgerate;Sicherheitstechnische Anforderungen und
Prufung
DIN 14093-88 Atemschutz-Ubungsanlagen, Planungsgrundlagen
DIN 58646-90 T1 Atemgerate;Bauteile fur Atemschutzgerate, Anforderungen, Prufung,
Kennzeichnung von Vollmasken
DIN 4840-89 Arbeitsschutzhelme;Sicherheitstechnische Anforderungen, Prufung
DIN 4841-90 T1 Schutzhandschuhe;Sicherheitstechnische Grundanforderungen;Prufung
DIN 61501-86 Zweiteilige Arbeitsanzuge fur Herren

prEN 863 (1995) Protective clothing-Mechanical properties-Test method:Puncture
Resistance
prEN 943-1 (1995) Protective clothing for use against liquid and gaseous chemicals,
including liquid aerosols and solid particles-performance
requirement for ventilated and non-ventilated "gas-tight"(Type 1) and
"non-gas-tight"(Type 2) protective clothing

ASTM Manual Series MNL23 (1995)
Manual on Asbestos Control, and the Visual Inspection Process.
Andrew F. Oberta

NIOSH Technical Guide(1987)
NIOSH GUIDE TO INDUSTRIAL RESPIRATORY PROTECTION
Nancy J. Bollinger, Robert H. Schutz

HSE Health and Safety Services booklet(1990)
Respiratory protective equipment/A practical guide for users

2. 2 関連文献の調査

INISにより関連文献の検索を行った。

INISには (1995-1991) . . . 28件

(1990-1986) 44件

(1985-1976) 103件 の関連文献が収録されていた。

(1995-1991)の28件は以下のようなものであった。

- 1) Respiratory protection, loose-leaf folder. Equipment and techniques, handling provisions, training, accident, prevention. Gabler, W. (ed.) 370 p. /1995(Germany)
消防、化学操作、放射性物質、熱防護、等の危険作業に必要不可欠な保護具の最近の情報を集約したもの
- 2) Information booklet on personal protective equipment: eye and face protection.
AERB-PRE-5-1992. 18p. / 1992(India)
目と顔面の汚染防護を目的とした機器と使用上のガイドラインが紹介されている
- 3) Information booklet on personal protective equipment: respiratory protective equipment.
AERB-PRE-3-1992. 32p. / 1992(India)
空気汚染防護のための衣服、呼吸保護具の選択のガイドラインを紹介
- 4) Penetration of asbestos fibers in respirator filters. :Inhalation Toxicology Research Institute annual report, October 1, 1993-September 30, Cheng, Yung-Sung; Pearson, S. D. et al. ITRI-144. 211p., p15-17. / Nov. 1994(USA)
アスベストエアロゾルに対する呼吸保護具マスクの性能を評価している
- 5) Effects of respirator use on worker performance. : Proceedings of the Third International Workshop on the implementation of ALARA at nuclear power plants.
Cardarelli, R. (Yankee Atomic Electric Co., et al. NUREG/CP-0143. 810p. p545-558. / Mar. 1995(USA)
Yankee原子力発電会社の10年にわたる呼吸保護具の使用経験が述べられている
- 6) Final report from VFL Technologies for the pilot-scale thermal treatment of Lower East Fork Poplar Creek Floodplain soils. LEFPC appendices. Volume 6. Appendix VI-X
Y/EN-5289/V6. 102p. / Sep. 1994(USA)
呼吸保護具のフィットテストが紹介されている
- 7) Evaluation of protection factors provided by full-face masks using man-test method at workplace.
Izumi, Y., Kinouchi, N., Ikezawa, Y.,
Hoken buturi. v. 29(4), p417-422. / Dec. 1994(Japan)
2229件に及ぶ全面マスクの測定試験結果をまとめ、PF値の分布から問題点を抽出している

- 8) Nuclear track membranes in devices for air cleaning personnel viability support and biotechnological protection. Particle track membranes and their applications. Proceedings of the 2. Meeting 2-6 December 1991, Szczyrk, Poland. INIS-mf-14419. 90p. p55-64. / 1992(Poland)
空気清浄技術の紹介の中で保護具が紹介されている
- 9) Program plan for the resolution of tank vapor issues, Osborne, J. W., Huckaby, J. L., WHC-EP-0562-Rev. 1. 88p/ May 1994(USA)
タンク内作業の臭気を含む潜在的な健康リスクの防護対策について
- 10) Study of interfacial phenomena of organo-chlorinated steam adsorption on a microporous adsorbent. Case of tri chloro-1,1,1 ethane on activated charcoal, Escallon, S., FRCEA-TH-401. 212p/ Jun. 1991(France)
1. 1. 1 トリクロロエタンに対するカートリッジの性能とテストシステムについて
- 11) Aqueous alkali developable UV-curable solder mask. : Symposium on radiation chemistry: abstracts. /*5. China-Japan bilateral symposium on radiation chemistry. Shi wenfang; Liu Hewen 102p. p41/ 1991(China)
(Short communication)
- 12) Development of washing apparatus for respirators. Yonemoto, T., Shiba, K., Makino, F. et al. Karyoku Genshiryoku Hatsuden. V. 44(9) p. 1000-1006. / Sep. 1993(Japan)
四国電力における半面マスクの洗浄装置の開発についての報告
- 13) Individual respiratory organ protection taking into account the radioactive aerosols dispersivity in the Chernobyl APS zone in 1986-1991. Budyka, A. K., et al. Gigiena i Sanitariya. (no. 4) p. 39-72. / May 1992(Russian Fed.)
チェルノブイリ事故時の発生エアロゾルの組成・粒径を作業域・環境において測定
- 14) Radiation protection in decontamination work of hot cells in reactor fuel examination facility. : Proceedings of the international conference on radiation effects and protection. Sato, N., Hayasaka, T., et al. INIS-JP-008. 558p. p. 440-445. / 1992(Japan)
燃料実験施設(RFEF)のホットセルの床や装置の除染時の被ばく低減について述べている
- 15) Respiratory protection in the mining industry.
Turner, N. L., Hodous, T. K., Occupational Medicine. State of the Art Reviews. v. 8(1) p. 143-154. / Jan. 1993(USA)
採鉱作業で使用される呼吸保護具の選定、フィットネス、安全性、規格等について述べられている
- 16) Field selection of chemical protective clothing and respiratory protection.
: HMC-South '91 conference and exhibition. /*HMC-South '91: hazardous waste, hazardous materials/ hazardous materials control (HWHM/HMC) conference. Pinette, S., Dodgen, C., Morley, M., Anon. 396p. p. 75-76. / 1991(USA)
化学的な災害に対する防護衣服や呼吸保護具の適切かつ効果的な選定について記述

- 17) Comparison of the efficiency of respirator filters and filtering facepieces against radon daughter aerosols and Laboratory generated aerosols. / *1992 European aerosol conference., Wake, D., Brown, R. C., et al., Journal of Aerosol Science. v. 23(suppl.1) p. s757-s760. / 1992(UK)
鉱山におけるラドン吸入防護を目的とした呼吸保護具の試験を、(BS4400) NaCl エアロゾルと鉱山でラドン娘ガスにて試験
- 18) A comparison to determine the effectiveness of an ultrasonic nebulizer and an aerosol system by means of isotope inhalation. / *Faculty of Medicine. University of the Orange Free State. Academic anniversary., Van den Berg, R. Y., Fourie, E., et al. South African Medical Journal. v. 82(6) p. 459. / Dec. 1992(South Africa)
(Short Communication)
- 19) Dose expansion from using respirators. Greenwood, R. A., O'Dou, T. J., Radiation Protection Management. v. 9(49 p. 22-29. / Jul. 1992(USA)
内部被ばく防護を目的とした空気管理、防護具の使用を管理と経済性の両面から総合的に評価
- 20) Development of technology on radiation monitoring or working environment, (1). : Improvement of radiation control technique for tritium.
Nakashima, Y., Donen Giho. (no. 81) p. 54-58. / Mar. 1992(Japan)
(動燃技報) 「ふげん」「常陽」におけるトリチウム防護の観点から開発した防護服の使用について
- 21) Development of technology on radiation monitoring of working environment, (7). : Mask-man test.
Tsubaki, H., Kobayashi, H., et al., Donen Giho. (no. 81) p. 89-93. / Mar. 1992(Japan)
作業者の吸入防護のための呼吸保護マスクの効果的なフィットネスマスクマンテストについて
- 22) Overview on development of radiation protection technology, 2. : Development of technology on radiation monitoring of working environment.
Donen Giho. (no. 81) p. 15-21 / mar. 1992(Japan)
(動燃技報) 作業環境のコンタミネーションモニタリングと防護対策情報トコントロール技術経験
- 23) Working in the heart of JET. : Joint European Torus - maintenance in toxic, radioactive vacuum vessel., Scott, S., Professional Engineering. v. 5(1) p. 13-15 / Jan. 1992(UK)
核融合用真空ベッセルの取付や修繕作業の管理
- 24) Introduction of radioprotection supplementary measures during the realization of studies with radioaerosol propose of a device against environmental contamination. : Proceedings of the 23. Brazilian Congress on Radiology from Sao Paulo, 1. Congress from South-East Region of Technician on Radiology. /*23.
Braga, F. J. H., Bouladour, H., et al., INIS-BR-2922. 450p. p. 304 / 1991(Brazil)
エアロゾルモニタリング、呼吸保護具

- 25) Reduction of radioactive contamination from technegas lung ventilation studies. /*The annual scientific meeting of the Australian and New Zealand Society of Nuclear Medicine.
Cormack, J., Shearer, J., et al., Australian and New Zealand Journal of Medicine. v. 21 (4) p. 627. / Aug. 1991(Australia)
(Short Communication)
呼吸保護具、ベンチレーション、衣服
- 26) Work strain in decontamination of hot cells, 2. : Sweet rates in different types of protective clothings., Kinouchi, N., Ikezawa, Y., Hoken Butsuri. v. 26(2) p. 123-126/ Jun. 1991(Japan)
ホットセル作業時の防護服の熱ストレス、発汗、全面マスク等の使用によるストレスを議論
- 27) Report on the Best Available Technology (BAT) for the treatment of the INEL Central Laundry and Respirator Facility (CFA-617)., Miyasaki, D. H., Heiser, D. L.
EGG-FM-9454. 25p. / Jan. 1991(USA)
保護具洗濯廃水の減量化の検討
- 28) Experiments on the evaluation of protection provided by full-face masks as worn.
: Decision of sampling position at masks and correction of the measured aerosol concentration.
Kinouchi, N., Ikezawa, Y., Hoken Butsuri. v. 26(1) p. 31-38. / Mar. 1991 (Japan)
NaCl を用いたマスクマンテストの評価、

3. 文献調査まとめ

本調査では、現在供給者、使用者が製造・使用にあたって準拠している国内規格ならびに最近（1991～1995）の文献について取りまとめた。

海外においては防護具の先進国として、米国、ヨーロッパ諸国（特にイギリス、フランス、ドイツ）があげられ、各種の指針、規格が整備されている。

原子力施設用マスクの規格として、J I SではJ I S T 8160「微粒子状物質用防じんマスク」があるが、海外においては原子力用と限定した規格は見当たらない。また、海外ではマスクにはろ紙型フィルタのみが使われ、静電フィルタは使われていないようである。

日本では、捕集効率を高めるばかりでなく吸気抵抗の低減化に研究開発の重点がおかれている。また、顔面とのフィット性や半面マスクにおける会話性等を重視している。わが国で必要性が高いとされる伝声器（振動膜）付きの半面マスクは海外では殆ど見当たらない。

高度技術開発に従って発生する作業者の労働安全上の課題に対し、先端技術を駆使した各種の防護具の開発が原子力分野以外でも行われている。防護衣の防水透湿性、耐薬品性、通気性、強度・耐久性、運動性等、衣服環境の快適性の追求等、他分野の開発状況を大いに参考にすべきである。

第5章 まとめ

本調査・研究では、今日原子力分野で使用されている放射線作業用防護具についてその使用実態ならびに最適化に向けた開発動向を調査した。

1. 放射線作業用防護具の動向

一般的に原子力施設で使用されている防護具は大別すると、①空気汚染の吸入防護に用いられる「呼吸用保護具」、②身体汚染の防止の目的で用いられる「身体防護具」がある。呼吸用保護具の中には全身を被い、身体汚染の防護と吸入防護の機能を兼ね備えたエアラインスーツ等が使用されている。

これらの防護具類は全般的にJIS等で規定されているものの中で高性能に相当するものが使用されており、一般安全衛生で使用されているものと基本的な違いは無いといえる。

(1) 呼吸用保護具

空気汚染の吸入防護には、その空気汚染のレベルと環境条件に応じた呼吸用保護具を選定し、使用されている。

呼吸用保護具の選定にあたっては、その防護性能（防護係数）がポイントとなっている。米国NRC（NUREG-0041）の「浮遊性放射性物質に対する呼吸防護のマニュアル」には呼吸用保護具を選択する場合の参考となる防護係数（PF）が次のように示されている。

呼吸用保護具の種類	防護係数（PF）
半面マスク	10
全面マスク	50
電動ファン式マスク（フード）	1000
エアラインマスク（フード）	2000

*エアラインスーツについての記述はなし。

一方、日本においては、（財）原子力安全技術センター発行の「内部被ばくにおける線量当量の測定・評価マニュアル」に半面マスクと全面マスクの防護係数（P F）が示されており、使用するマスクの防護係数が分からぬ場合は各々防護係数（P F）は 10, 50 となっている。

呼吸用保護具の種類は、

- a. ろ過式呼吸用保護具 (Air-Purifying Respirator)
- b. 空気供給式呼吸保護具 (Atmosphere Supplying Respirator)
- c. 自給式呼吸器 (Self-Contained Breathing Apparatus)

に大別されている。ここでは定常作業で使用されている a, b を対象に、その使用実態と開発動向について調査した。

① ろ過式呼吸用保護具

半面マスク、全面マスクは作業場所の環境の空気を面体に取り付けてあるフィルタでろ過して呼吸するもので、小型軽量であることから簡便な取扱いとなっている。しかし、吸気時は吸気抵抗が大きく、面体内が負圧になるためフィットネスが良好でないと汚染空気の侵入の恐れがあり、低濃度の空気汚染の場合に使用されている。これらの呼吸用保護具は身体汚染を防護具するための身体防護具類（紙服、アノラック等）とともに用いられており、身体負荷の原因となっている。近年バッテリ駆動式のファンユニットが付属する電動ファン付呼吸保護具が普及してきており、面体内を陽圧に保つことによって高いP F が得られている。この中には使用条件に応じてマスク直結タイプのもの、ファンユニットが分離したフードタイプのものがある。

尚、電動ファン付呼吸用保護具はファンによる強制送気のため、呼吸動作も自力呼吸の半面、全面マスクに比べ極めて快適であることから、作業現場における適用が進んでいる。

② 空気供給式呼吸用保護具

エアラインマスク、エアラインスーツは清浄な空気をエアラインを通じて全面マスク面体、フード、スーツ内に給気する呼吸用保護具である。

エアラインマスクは従来より、全面マスクタイプが一般的に使用されており、デマンド型、定流量型およびプレッシャーデマンド型があるが、一般的には面体内を陽圧に保持することにより大きな防護係数が得られる定流量タイプが選定・使用されている。最近、マスク面体着用による圧迫感を低減する目的で、ルーズフィット型のフードタイプも使用され始めている。身体はろ過式呼吸用保護具と同様に身体防護具類の併用によって防護される。

エアラインスーツは、吸入防護の機能と身体汚染の防護と兼ね備えた防護具であり、防護具類の中で最も防護効果の高いものである。スーツ外から清浄な空気を供給し、スーツ内の陽圧を保持する柔軟性の不浸透性素材で製造された防護具である。供給空気はスーツ内全体にいき渡る構造となっており、身体負荷は低く、快適なものとなっている。但し、重装備であるため、作業能率面で問題もあるが、セル内作業、プラスト作業等、高汚染区域での特殊な作業で用いられている。

その他、重水炉ではトリチウム水蒸気対策として、空気供給式のブチルゴム製のスーツが使用されている。

（2）身体防護具

基本的に作業に従事する者は、身体部位には下着として長袖シャツとズボン下を着用し、その上にカバーオールを着用する。さらに汚染の高い作業環境では紙服（不織布製カバーオール）を、被水等の恐れのある作業環境では防水素材のアノラックを着用している。場合によってはこれらの重着により、汚染コントロールを行っている。その他頭部は、布製の帽子をかぶり、手には綿手袋の上にラテックス製のゴム手袋を必要枚数着用し、足部には布製靴下（軍足）を着用し安全靴（短靴、長靴）をはいている。

ここでは、身体負荷軽減の観点から重要となるカバーオール、紙服およびアノラックの使用実態と開発動向について述べる。

① カバーオール（布製）

作業衣としてのカバーオールは、主な素材として綿、綿混紡、ポリエステルが使用されているが、吸汗性、着心地、洗濯性、作業性、コスト等を考慮し、選定されている。当初は、綿100%が主流であったが、使用量の増大等により洗濯による縮みや乾燥時間の短縮、軽量化等の改善要請および新素材の出現により綿素材から綿混紡、ポリエステル100%の素材も使用されてきている。新素材の中空ポリエステルは、吸汗性をはじめ作業衣としての特性を兼ね備えており、多くの事業所で使用されている。また、同時に綿100%からの変更に伴い静電気対策が問題となっており、これらの素材には静電気防止が施されるとともに、作業性向上の観点からデザイン面での改良がなされている。

② 紙服（不織布製）

紙服は、汚染防護用のカバーオールとして布製カバーオールの上に重ねて全面マスクの併用にて着用されている。スタイルは継ぎ服タイプが多い。従来より紙服はタイベックと呼称され、長く使用されている。タイベックはポリエチレン100%の不織布であり、管理面からは強度、汚染の浸透性等防護に関する特性は十分な素材である。但し、身体負荷軽減の観点から、一部の事業所では通気性のある不織布素材を採用している。

③ アノラック

水作業を伴う作業環境では、不浸透性の防水素材のアノラックを着用している。スタイルはツーピースタイプがほとんどである。従来、素材として柔軟性からPVC（塩化ビニール）が使われていた時期もあったが、近年、廃棄物処理の観点から使用後は焼却処理による減量化のための、焼却炉に負担がかからない酢酸ビニール（EVA：エチレン酢酸共重合体）を素材としたアノラックが使用されている。また、アノラック着用作業は全面マスク等との併用着用となることから、極めて身体負荷の高い作業となっている。近年、防水透湿素材等新素材の出現があり、身体負荷低減を目的にその適用化が進んでいる。

2. 放射線作業用防護具の最適化

一般に原子力施設で使用されている防護具類は、作業現場での作業条件、環境条件等考慮した上で適正な防護具が選択、使用されていた。しかし、社会情勢を反映し、「環境と人に優しい」対応が求められていることから、これらの防護具類の改善、改良の要請が高まっている。特に、防護具着用における身体負荷の軽減対策が求められており、作業環境の改善、作業方法の改良を基本に防護具着用作業量の減少化とともに、過剰防護についても検討が加えられ、安全性はもとより防護効果も最適で、より快適な防護具の開発が求められている。

再処理施設においては、暑い夏期にインターチューンペーンが実施されており、作業者は下着の上に布製カバーオールをつけその上に紙服、アノラックの重ね着状態、さらに呼吸用保護具を着用した装備により労働すれば暑くて、汗まみれの熱ストレスの中での作業を強いられている。定期検査を暑熱な環境においても能率的に推進するためには、防護具着用の有無を問わず、作業者を熱ストレスから防護するための対策を講じる必要がある。

対策は次の四つの方向で進めることが肝要となる。

- ① 作業環境の把握にある。特に空調が行き届かない場所での熱ストレスの実態を把握する。
- ② 热ストレスの発生場所を重点とした作業区域全体の状態の改善をはかる。例えば、小型可搬型の冷房装置の活用によって安全かつ能率的な作業が可能となる。
- ③ 管理面からのアプローチだけでなく防護具を実際に着用している現場作業者からの声の聴取等を行い、現在使用している防護具着用に関する要望点を把握し、改良、開発に生かす。
- ④ 他の一般産業界における新技術、新製品あるいは新素材の情報収集に努力し、より快適な機能性の高い防護具の改良・開発に反映させる。

また、熱ストレスの過酷環境下では、医学面、労働生理学面等科学的なアプローチによる熱ストレスの評価も必要と思われる。

放射線作業用防護具の開発動向等
に関する調査・研究
(動力炉・核燃料開発事業団委託調査成果報告書 附属書)

1996年7月

社団法人 日本保安用品協会

「放射線作業用防護具の開発動向等に関する調査・研究」

附属書目次

附属書－1 アンケート調査票Ⅰ

「原子力産業界における防護具の使用実態・開発ニーズに関するアンケート調査」

1. 使用状況に関するアンケート	1
2. 導入に関するアンケート	2
3. 運用に関するアンケート	4
4. 保守管理に関するアンケート	6
5. 開発ニーズに関するアンケート	8

附属書－2 アンケート調査票Ⅱ

「原子力産業界における防護具の開発動向に関するアンケート調査」

1. 供給者の概要	1
2. 呼吸保護具に関するアンケート	2
3. 身体保護具に関するアンケート	10
4. その他の防護具に関するアンケート	15

附属書－3 アンケート集計表Ⅰ

「原子力産業界における防護具の使用実態に関するアンケート調査」

1. 使用状況	1
2. 導入	12
3. 運用	25
4. 保管管理	35

附属書－4 アンケート集計表Ⅱ 「原子力産業界における防護具の開発ニーズに関する調査」 1~10

附属書－5 アンケート集計表Ⅲ 「原子力産業界における防護具の開発動向に関する調査」

1. 供給者の概要	1
(1) 呼吸用保護具	1
(2) 身体保護具	1
2. 改善項目に対するアンケート集計	2
(1) 呼吸用保護具	2
(2) 身体保護具	7
3. その他の防護具	12

アンケート調査票 I

「原子力産業界における防護具の使用実態・開発ニーズに関するアンケート調査」

1. 使用状況に関するアンケート
2. 導入に関するアンケート
3. 運用に関するアンケート
4. 保守管理に関するアンケート
5. 開発ニーズに関するアンケート

I. 原子力産業界における防護具の使用実態に関するアンケート調査

一 回 答 用 紙 一

貴事業所において使用している呼吸用保護具および身体防護具の導入から廃棄までの管理方法等使用実態について下記の質問内容にお答え下さい。

1. 使用状況

(1) 過去3年間の管理区域入域者数

年 度	入 域 総 数
H 4年度 (H 4. 4~H 5. 3)	入日 人回
H 5年度 (H 5. 4~H 6. 3)	入日 人回
H 6年度 (H 6. 4~H 7. 3)	入日 人回

施設名称	
回答所属名	
作成者名	

(2) 管理区域区分と立入者の標準装備

区 域 区 分 (汚 染 レ ベ ル)	呼 吸 保 護 具	身 体 防 護 具			特 記 事 項
		身 体 部	手 部	足 部	
	<input type="checkbox"/> 半面マスク <input type="checkbox"/> 全面マスク <input type="checkbox"/> 電動ファン式呼吸保護具 <input type="checkbox"/> エアラインマスク <input type="checkbox"/> エアラインスーツ	<input type="checkbox"/> カバーオール <input type="checkbox"/> 紙服(タイプック等) <input type="checkbox"/> アノラック <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> その他 ())	<input type="checkbox"/> 綿手袋 <input type="checkbox"/> ゴム手袋(枚) <input type="checkbox"/> 作業用手袋 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 短靴 <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	<input type="checkbox"/> 半面マスク <input type="checkbox"/> 全面マスク <input type="checkbox"/> 電動ファン式呼吸保護具 <input type="checkbox"/> エアラインマスク <input type="checkbox"/> エアラインスーツ	<input type="checkbox"/> カバーオール <input type="checkbox"/> 紙服(タイプック等) <input type="checkbox"/> アノラック <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> その他 ())	<input type="checkbox"/> 綿手袋 <input type="checkbox"/> ゴム手袋(枚) <input type="checkbox"/> 作業用手袋 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 短靴 <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	<input type="checkbox"/> 半面マスク <input type="checkbox"/> 全面マスク <input type="checkbox"/> 電動ファン式呼吸保護具 <input type="checkbox"/> エアラインマスク <input type="checkbox"/> エアラインスーツ	<input type="checkbox"/> カバーオール <input type="checkbox"/> 紙服(タイプック等) <input type="checkbox"/> アノラック <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> その他 ())	<input type="checkbox"/> 綿手袋 <input type="checkbox"/> ゴム手袋(枚) <input type="checkbox"/> 作業用手袋 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 短靴 <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	<input type="checkbox"/> 半面マスク <input type="checkbox"/> 全面マスク <input type="checkbox"/> 電動ファン式呼吸保護具 <input type="checkbox"/> エアラインマスク <input type="checkbox"/> エアラインスーツ	<input type="checkbox"/> カバーオール <input type="checkbox"/> 紙服(タイプック等) <input type="checkbox"/> アノラック <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> その他 ())	<input type="checkbox"/> 綿手袋 <input type="checkbox"/> ゴム手袋(枚) <input type="checkbox"/> 作業用手袋 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 短靴 <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> その他 ()	

2. 導 入

(1) 呼吸用保護具

品 名	選 定 基 準	受 入 檢 査	購 入 年 の 識 別	材 質 指 定	使用フィルターの種類
半面マスク	<input type="checkbox"/> 有 (内 容) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 使用実績 <input type="checkbox"/> J I S等の規格適合品 <input type="checkbox"/> 保守性 <input type="checkbox"/> フィルドテスト <input type="checkbox"/> その他： ()	<input type="checkbox"/> 有 (項 目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 全数検査 <input type="checkbox"/> 抜取検査 <input type="checkbox"/> 記録確認 <input type="checkbox"/> その他 () (内 容) <input type="checkbox"/> 員数 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 (方 法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (理 由) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 耐久性：(年 or 回) <input type="checkbox"/> 廃棄性： <input type="checkbox"/> その他 () (内容：指定材質)	<input type="checkbox"/> ダスト用 <input type="checkbox"/> ガス用 <input type="checkbox"/> その他 ()
全面マスク	<input type="checkbox"/> 有 (内 容) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 使用実績 <input type="checkbox"/> J I S等の規格適合品 <input type="checkbox"/> 保守性 <input type="checkbox"/> フィルドテスト <input type="checkbox"/> その他： ()	<input type="checkbox"/> 有 (項 目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 全数検査 <input type="checkbox"/> 抜取検査 <input type="checkbox"/> 記録確認 <input type="checkbox"/> その他 () (内 容) <input type="checkbox"/> 員数 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 (方 法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (理 由) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 耐久性：(年 or 回) <input type="checkbox"/> 廃棄性： <input type="checkbox"/> その他 () (内容：指定材質)	<input type="checkbox"/> ダスト用 <input type="checkbox"/> ガス用 <input type="checkbox"/> その他 ()
電動ファン式呼吸用保護具	<input type="checkbox"/> 有 (内 容) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 使用実績 <input type="checkbox"/> J I S等の規格適合品 <input type="checkbox"/> 保守性 <input type="checkbox"/> フィルドテスト <input type="checkbox"/> その他： ()	<input type="checkbox"/> 有 (項 目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 全数検査 <input type="checkbox"/> 抜取検査 <input type="checkbox"/> 記録確認 <input type="checkbox"/> その他 () (内 容) <input type="checkbox"/> 員数 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 (方 法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (理 由) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 耐久性：(年 or 回) <input type="checkbox"/> 廃棄性： <input type="checkbox"/> その他 () (内容：指定材質)	<input type="checkbox"/> ダスト用 <input type="checkbox"/> ガス用 <input type="checkbox"/> その他 ()
エアラインマスク	<input type="checkbox"/> 有 (内 容) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 使用実績 <input type="checkbox"/> J I S等の規格適合品 <input type="checkbox"/> 保守性 <input type="checkbox"/> フィルドテスト <input type="checkbox"/> その他： ()	<input type="checkbox"/> 有 (項 目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 全数検査 <input type="checkbox"/> 抜取検査 <input type="checkbox"/> 記録確認 <input type="checkbox"/> その他 () (内 容) <input type="checkbox"/> 員数 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 (方 法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (理 由) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 耐久性：(年 or 回) <input type="checkbox"/> 廃棄性： <input type="checkbox"/> その他 () (内容：指定材質)	
エアラインスーツ	<input type="checkbox"/> 有 (内 容) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 使用実績 <input type="checkbox"/> J I S等の規格適合品 <input type="checkbox"/> 保守性 <input type="checkbox"/> フィルドテスト <input type="checkbox"/> その他： ()	<input type="checkbox"/> 有 (項 目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 全数検査 <input type="checkbox"/> 抜取検査 <input type="checkbox"/> 記録確認 <input type="checkbox"/> その他 () (内 容) <input type="checkbox"/> 員数 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 (方 法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (理 由) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 耐久性：(年 or 回) <input type="checkbox"/> 廃棄性： <input type="checkbox"/> その他 () (内容：指定材質)	

(2) 身体防護具

3. 運用

品名	代表的な作業件名	着用基準(限度)	所有数量	使用(着用)時間	装着時のフィットネス試験	眼鏡使用	通話・通信
半面マスク		総保有数 (個) 配備数量	使用制限: <input type="checkbox"/> 有(時間) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 可 (眼鏡の使用条件) <input type="checkbox"/> 非		
全面マスク		総保有数 (個) 配備数量	使用制限: <input type="checkbox"/> 有(時間) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 可 (眼鏡の使用条件) <input type="checkbox"/> 非		
電動ファン式 呼吸保護具		総保有数 (個) 配備数量	使用制限: <input type="checkbox"/> 有(時間) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 可 (眼鏡の使用条件) <input type="checkbox"/> 非		
エアラインマスク		総保有数 (個) 配備数量	使用制限: <input type="checkbox"/> 有(時間) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 可 (眼鏡の使用条件) <input type="checkbox"/> 非		
エアラインスーツ		総保有数 (個) 配備数量	使用制限: <input type="checkbox"/> 有(時間) <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 可 (眼鏡の使用条件) <input type="checkbox"/> 非		

品名	廃棄基準		廃棄方法		フィルタの交換基準		除染基準		除染方法	
半面マスク	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> その他 ()	(内 容) ()	<input type="checkbox"/> 焼却処理 <input type="checkbox"/> 圧縮処理 <input type="checkbox"/> 粉碎処理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 差圧管理 <input type="checkbox"/> 汚染レベル管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 差圧管理 <input type="checkbox"/> 汚染レベル管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検出限界以上 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	(設備名) (除染剤) ()	
全面マスク	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> その他 ()	(内 容) ()	<input type="checkbox"/> 焼却処理 <input type="checkbox"/> 圧縮処理 <input type="checkbox"/> 粉碎処理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 差圧管理 <input type="checkbox"/> 汚染レベル管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 差圧管理 <input type="checkbox"/> 汚染レベル管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検出限界以上 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	(設備名) (除染剤) ()	
電動ファン式 呼吸保護具	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> その他 ()	(内 容) ()	<input type="checkbox"/> 焼却処理 <input type="checkbox"/> 圧縮処理 <input type="checkbox"/> 粉碎処理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 差圧管理 <input type="checkbox"/> 汚染レベル管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 差圧管理 <input type="checkbox"/> 汚染レベル管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検出限界以上 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	(設備名) (除染剤) ()	
エアラインマスク	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> その他 ()	(内 容) ()	<input type="checkbox"/> 焼却処理 <input type="checkbox"/> 圧縮処理 <input type="checkbox"/> 粉碎処理 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検出限界以上 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	(設備名) (除染剤) ()	
エアラインスーツ	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 性能 <input type="checkbox"/> 外観 <input type="checkbox"/> その他 ()	(内 容) ()	<input type="checkbox"/> 焼却処理 <input type="checkbox"/> 圧縮処理 <input type="checkbox"/> 粉碎処理 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検出限界以上 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	<input type="checkbox"/> 設備有 <input type="checkbox"/> 設備無 ()	(設備名) (除染剤) ()	

4. 保管管理

(1) 呼吸用保護具

品名	洗浄対象	洗淨設備	洗浄サイクル	洗浄後の消毒	洗浄実施体制	点検頻度	点検方法	保管方法	貸与・回収方法
半面マスク	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外	設備: <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 汎用 <input type="checkbox"/> 無 洗浄方式: <input type="checkbox"/> 水洗 <input type="checkbox"/> ドライ <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 使用毎 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない (方法) 消毒剤:	<input type="checkbox"/> 外注委託 (要員数人) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 回収・配備の都度 <input type="checkbox"/> 定期点検 (インタークル: <input type="checkbox"/> その他	(項目)	・保管環境 <input type="checkbox"/> 考慮している <input type="checkbox"/> 特に考慮していない ・保管 <input type="checkbox"/> 分散 <input type="checkbox"/> 集中	<input type="checkbox"/> 使用的都度 <input type="checkbox"/> 特定期間の貸与・回収 <input type="checkbox"/> その他
		洗浄剤: 処理量: 個/日 その他特記事項 ()						・保管状態 <input type="checkbox"/> 包装有 <input type="checkbox"/> 包装無	
全面マスク	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外	設備: <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 汎用 <input type="checkbox"/> 無 洗浄方式: <input type="checkbox"/> 水洗 <input type="checkbox"/> ドライ <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 使用毎 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない (方法) 消毒剤:	<input type="checkbox"/> 外注委託 (要員数人) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 回収・配備の都度 <input type="checkbox"/> 定期点検 (インタークル: <input type="checkbox"/> その他	(項目)	・保管環境 <input type="checkbox"/> 考慮している <input type="checkbox"/> 特に考慮していない ・保管 <input type="checkbox"/> 分散 <input type="checkbox"/> 集中	<input type="checkbox"/> 使用的都度 <input type="checkbox"/> 特定期間の貸与・回収 <input type="checkbox"/> その他
		洗浄剤: 処理量: 個/日 その他特記事項 ()						・保管状態 <input type="checkbox"/> 包装有 <input type="checkbox"/> 包装無	
電動呼吸保護具	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外	設備: <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 汎用 <input type="checkbox"/> 無 洗浄方式: <input type="checkbox"/> 水洗 <input type="checkbox"/> ドライ <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 使用毎 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない (方法) 消毒剤:	<input type="checkbox"/> 外注委託 (要員数人) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 回収・配備の都度 <input type="checkbox"/> 定期点検 (インタークル: <input type="checkbox"/> その他	(項目)	・保管環境 <input type="checkbox"/> 考慮している <input type="checkbox"/> 特に考慮していない ・保管 <input type="checkbox"/> 分散 <input type="checkbox"/> 集中	<input type="checkbox"/> 使用的都度 <input type="checkbox"/> 特定期間の貸与・回収 <input type="checkbox"/> その他
		洗浄剤: 処理量: 個/日 その他特記事項 ()						・保管状態 <input type="checkbox"/> 包装有 <input type="checkbox"/> 包装無	
エマラスリンク	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外	設備: <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 汎用 <input type="checkbox"/> 無 洗浄方式: <input type="checkbox"/> 水洗 <input type="checkbox"/> ドライ <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 使用毎 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない (方法) 消毒剤:	<input type="checkbox"/> 外注委託 (要員数人) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 回収・配備の都度 <input type="checkbox"/> 定期点検 (インタークル: <input type="checkbox"/> その他	(項目)	・保管環境 <input type="checkbox"/> 考慮している <input type="checkbox"/> 特に考慮していない ・保管 <input type="checkbox"/> 分散 <input type="checkbox"/> 集中	<input type="checkbox"/> 使用的都度 <input type="checkbox"/> 特定期間の貸与・回収 <input type="checkbox"/> その他
		洗浄剤: 処理量: 個/日 その他特記事項 ()						・保管状態 <input type="checkbox"/> 包装有 <input type="checkbox"/> 包装無	
エスアラインツ	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外	設備: <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 汎用 <input type="checkbox"/> 無 洗浄方式: <input type="checkbox"/> 水洗 <input type="checkbox"/> ドライ <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 使用毎 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない (方法) 消毒剤:	<input type="checkbox"/> 外注委託 (要員数人) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 回収・配備の都度 <input type="checkbox"/> 定期点検 (インタークル: <input type="checkbox"/> その他	(項目)	・保管環境 <input type="checkbox"/> 考慮している <input type="checkbox"/> 特に考慮していない ・保管 <input type="checkbox"/> 分散 <input type="checkbox"/> 集中	<input type="checkbox"/> 使用的都度 <input type="checkbox"/> 特定期間の貸与・回収 <input type="checkbox"/> その他
		洗浄剤: 処理量: 個/日 その他特記事項 ()						・保管状態 <input type="checkbox"/> 包装有 <input type="checkbox"/> 包装無	

(2) 身体防護具

品名	洗浄対象	洗淨設備	洗浄サイクル	洗浄後の消毒	洗浄実施体制	点検頻度	点検方法	保管方法	貸与・回収方法
カバーオール	□対象 □対象外	設備: □専用 □汎用 □無 洗浄方式: □水洗 □ドライ □清拭 □その他() 洗浄剤: 処理量: kg/日 その他特記事項()	□使用毎 □その他	□している □していない (方法) 消毒剤:	□外注委託 (要員数人) □その他	□回収・配備の都度 □定期点検 (インカーボル:) □点検はしていない □その他	(項目)	・保管環境 □考慮している □特に考慮して いない ・保管 □分散 □集中 ・保管状態 □包装有 □包装無	□使用的都度 □特定期間の貸与・回収 □その他
紙タペック服等	□対象 □対象外	設備: □専用 □汎用 □無 洗浄方式: □水洗 □ドライ □清拭 □その他() 洗浄剤: 処理量: kg/日 その他特記事項()	□使用毎 □その他	□している □していない (方法) 消毒剤:	□外注委託 (要員数人) □その他	□回収・配備の都度 □定期点検 (インカーボル:) □点検はしていない □その他	(項目)	・保管環境 □考慮している □特に考慮して いない ・保管 □分散 □集中 ・保管状態 □包装有 □包装無	□使用的都度 □特定期間の貸与・回収 □その他
アノラック	□対象 □対象外	設備: □専用 □汎用 □無 洗浄方式: □水洗 □ドライ □清拭 □その他() 洗浄剤: 処理量: kg/日 その他特記事項()	□使用毎 □その他	□している □していない (方法) 消毒剤:	□外注委託 (要員数人) □その他	□回収・配備の都度 □定期点検 (インカーボル:) □点検はしていない □その他	(項目)	・保管環境 □考慮している □特に考慮して いない ・保管 □分散 □集中 ・保管状態 □包装有 □包装無	□使用的都度 □特定期間の貸与・回収 □その他
ゴム手袋	□対象 □対象外	設備: □専用 □汎用 □無 洗浄方式: □水洗 □ドライ □清拭 □その他() 洗浄剤: 処理量: kg/日 その他特記事項()	□使用毎 □その他	□している □していない (方法) 消毒剤:	□外注委託 (要員数人) □その他	□回収・配備の都度 □定期点検 (インカーボル:) □点検はしていない □その他	(項目)	・保管環境 □考慮している □特に考慮して いない ・保管 □分散 □集中 ・保管状態 □包装有 □包装無	□使用的都度 □特定期間の貸与・回収 □その他
短靴・長靴	□対象 □対象外	設備: □専用 □汎用 □無 洗浄方式: □水洗 □ドライ □清拭 □その他() 洗浄剤: 処理量: 足/日 その他特記事項()	□使用毎 □その他	□している □していない (方法) 消毒剤:	□外注委託 (要員数人) □その他	□回収・配備の都度 □定期点検 (インカーボル:) □点検はしていない □その他	(項目)	・保管環境 □考慮している □特に考慮して いない ・保管 □分散 □集中 ・保管状態 □包装有 □包装無	□使用的都度 □特定期間の貸与・回収 □その他

II. 原子力産業界における防護具の使用実態に関する開発ニーズのアンケート調査

- 回 答 用 紙 -

貴事業所において現在使用している呼吸用保護具および身体防護具に関して、現状の課題ならびに開発・改良・改善の要望について教えて下さい。

(1) 呼吸用保護具

品名	現状の問題点		開発・改良・改善の要望 *	品名	現状の問題点		開発・改良・改善の要望
	□息苦しい	□重い			□重い	□機動性	
半面マスク	□呼吸感	□重い	□有 □無	□脱着の容易性	□脱着の容易性	□機動性	□有 □無
	□防護性能（PF）	□装着の容易性		□眼鏡使用	□対汚染性	□洗滌性	
	□視野の大きさ			□フィルタ（形状・サイズ）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	
	□現場装着試験	□対汚染性		□対汚染性	□コスト	□コスト	
	□除染性	□対話性					
	□廃棄物低減化（減容・焼却）	□コスト					
全面マスク	□息苦しい	□重い	□有 □無	□有 □無	□脱着の容易性	□脱着の容易性	□有 □無
	□呼吸感	□重い			□眼鏡使用	□対汚染性	
	□防護性能（PF）	□装着の容易性			□フィルタ（形状・サイズ）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	
	□視野の大きさ				□現場装着試験	□コスト	
	□対汚染性						
	□除染性	□対話性					
	□廃棄物低減化（減容・焼却）	□コスト					
電動ファン吸式保護具	□息苦しい	□重い	□有 □無	□有 □無	□脱着の容易性	□脱着の容易性	□有 □無
	□呼吸感	□重い			□眼鏡使用	□対汚染性	
	□防護性能（PF）	□装着の容易性			□フィルタ（形状・サイズ）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	
	□視野の大きさ				□現場使用時間	□コスト	
	□対汚染性						
	□除染性	□対話性					
	□廃棄物低減化（減容・焼却）	□コスト					
エアライマスク	□息苦しい	□重い	□有 □無	□有 □無	□脱着の容易性	□脱着の容易性	□有 □無
	□呼吸感	□重い			□眼鏡使用	□対汚染性	
	□防護性能（PF）	□装着の容易性			□フィルタ（形状・サイズ）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	
	□視野の大きさ				□現場使用時間	□コスト	
	□対汚染性						
	□除染性						
	□廃棄物低減化（減容・焼却）						
	□コスト						
エアラインスクーツ	□息苦しい	□重い	□有 □無	□有 □無	□脱着の容易性	□脱着の容易性	□有 □無
	□呼吸感	□重い			□眼鏡使用	□対汚染性	
	□防護性能（PF）	□装着の容易性			□フィルタ（形状・サイズ）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	
	□視野の大きさ				□現場使用時間	□コスト	
	□対汚染性						
	□除染性						
	□対話性						
	□廃棄物低減化（減容・焼却）						
	□コスト						
短靴・長靴	□蒸れ	□衛生面	□有 □無	□有 □無	□脱着の容易性	□脱着の容易性	□有 □無
	□かぶれ	□重い（疲れ）			□対汚染性	□対汚染性	
	□作業性	□機動性（スベリ、脱げる）			□洗滌性	□洗滌性	
					□廃棄物低減化（減容・焼却）	□廃棄物低減化（減容・焼却）	
					□コスト	□コスト	

* 身体防護具との併用組合せの開発・改良・改善を含みます。

アンケート調査票Ⅱ

「原子力産業界における防護具の開発動向に関するアンケート調査」

1. 供給者の概要
2. 呼吸保護具に関するアンケート
3. 身体保護具に関するアンケート
4. その他の防護具に関するアンケート

原子力産業界における防護具の開発動向に関する アンケート調査、回答用紙

会社名：_____ 住所：_____

所 属：_____ Tel：_____

作成者名：_____ Fax：_____

貴社において設計、製造、加工あるいは販売している防護具について、現状における開発改良の動向について下記の質問にお答えください。

1. 会社の概要

1) 業種

1) 呼吸用保護具	2) 身体防護具
<input type="checkbox"/> 製造メーカー <input type="checkbox"/> 販売代理店 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 素材メーカー <input type="checkbox"/> 加工製造メーカー(アパレル) <input type="checkbox"/> 販売代理店 <input type="checkbox"/> その他

2) 取扱商品

1) 呼吸用保護具	2) 身体防護具
<input type="checkbox"/> 半面マスク <input type="checkbox"/> 全面マスク <input type="checkbox"/> 電動ファン式呼吸保護具 <input type="checkbox"/> エアラインマスク <input type="checkbox"/> エアライнстゥツ <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> カバーオール <input type="checkbox"/> 紙服(タイベック等) <input type="checkbox"/> アノラック <input type="checkbox"/> ゴム手袋 <input type="checkbox"/> 作業靴 <input type="checkbox"/> 短靴 <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> その他

*取扱商品について □ をしてください。

開発支援活動「貢献度」調査アンケート (1/8)
 <呼吸用保護器具>

品目：半面マスク

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
息苦しい		・吸気抵抗の低減	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
圧迫感		・接觸部のソフト化 ・接觸部の材質(皮膚に考慮) ・締めひもの取外しを簡単に ・マスクサイズの多様化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
防護性能		・汗で滑る ・現場でのフィットネス確認	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
フィルタ (形状・サイズ)		・フィルタの小型化 ・フィルタの防水タイプ	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
除染性		・自動除染化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
対話性		・無線通話のシステム化 ・伝声板の性能アップ	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

回答用紙Ⅰ

開発省重力応答調査アンケート(2/8)
<呼吸及用保証器具>

品目：半面マスク

改善項目	改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)
廃棄性	・焼却可能	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ())	
重要度	C		<input type="checkbox"/> 添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄では具体的な案、対策品の現状、品名等を記入ください。

開発実験室重力向調査アンケート (3/8)
 <呼吸用保護器具>

品目：全面マスク

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
息苦しい		<ul style="list-style-type: none"> ・吸気抵抗の低減 ・電動ファン化 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A					
暑い		<ul style="list-style-type: none"> ・電動ファン化 ・汗が溜る 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A					
圧迫感		<ul style="list-style-type: none"> ・軽量化 ・アイピースの曇り ・接觸部の材質(皮膚を考慮) 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A					
視野の広さ			<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A					
眼鏡の使用		<ul style="list-style-type: none"> ・個人の眼鏡の使用 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A					
対話性		<ul style="list-style-type: none"> ・無線通話のシステム化 ・伝声板の性能アップ 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	A					

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発支援活動実績調査アンケート (4/8)
 <呼吸器用保護器具>

品目：全面マスク

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
重い		・軽量化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
装脱着の容易性		・締めひもの取外しを簡単に ・身体防護衣との一体化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
除染性		・自動除染化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
防護性能		・汗が溜る ・現場でのフィットネス確認	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
廃棄性			<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発活動実力向上調査アンケート (5/8)
 <呼吸及用具保護器具>

品目: PAPR

改善項目	改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)
装着の容易性	・バッテリーの軽量化 ・送風機の小型化 ・ヘルメット、防護衣との一体化 ・面体がずれやすい	<input type="checkbox"/> 現状かほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
重要度 C			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
視野の広さ		<input type="checkbox"/> 現状かほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
重要度 B			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
連続使用時間	・使用時間の延長	<input type="checkbox"/> 現状かほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
重要度 B			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
風量	・風量調節を可能 ・目が乾く	<input type="checkbox"/> 現状かほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
重要度 B			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
除染性	・自動除染化	<input type="checkbox"/> 現状かほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
重要度 C			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
廃棄性	・焼却可能	<input type="checkbox"/> 現状かほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
重要度 C			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

回答用紙 I

開発支援活動応募アンケート(6/8)
<呼吸用保護器具>

品目：エアラインマスク

改善項目	改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)
重要度 A	・エアーの吹出し音の低下	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
			<input type="checkbox"/> 添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
重要度 B	・エアホースと通話システムの合体 ・腰部のフィルターをマスクに ・身体防護衣との一体化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
			<input type="checkbox"/> 添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
重要度 A	視野の広さ	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
			<input type="checkbox"/> 添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
重要度 A	眼鏡の使用	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
			<input type="checkbox"/> 添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
重要度 A	・エアホースと通話システムの合体 ・伝声板の性能アップ	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	
			<input type="checkbox"/> 添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発活動実力向上調査アンケート (7/8)
<呼吸及用具保護器具>

品目：エアラインマスク

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
暑い		・身体の冷却	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
息苦しい		・送気に湿気を加える	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
廃棄性			<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発途上国貢献度調査アンケート(8/8)

<呼吸及用具保護装置>

品目：エアラインスーツ

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
対話性		・小型無線化	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B					
装着の容易性		<ul style="list-style-type: none"> ・フード部分の固定 ・脱着時のコンタミ ・装着に時間がかかる ・エアー供給停止時の対応 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C					
暑い		・スーツ内エアーの流れ	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C					
圧迫感		<ul style="list-style-type: none"> ・サイズを豊富（体型別） ・フード部を透明 ・内側が曇る 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C					
視野の大きさ		・フード部を透明	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C					
廃棄性			<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C					

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発途上国向課題調査アンケート(1/5)
<身体防護具>

品目：カバーオール

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
暑い		・蒸れる ・通気性が良いこと	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
機動性 (デザイン面)		・動きにくい ・装着性の向上	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
素材		・除染性が良いこと ・耐洗濯性があること ・耐汚染性が良いこと ・通気性が良いこと ・静電気対応	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
廃棄		・灰分率が低いこと ・燃焼エネルギーが低いこと ・焼却の場合、有害ガスの発生がないこと	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発活動意向調査アンケート(2/5)
<身体防護具>

品目: 紙服

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
暑い		・蒸れる ・通気性が良いこと	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
機動性 (デザイン面)		・動きにくい ・装脱着性の向上	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
素材		・通気性が良いこと ・耐汚染性が良いこと ・防水性が良いこと	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
廃棄		・灰分率が低いこと ・燃焼カロリーが低いこと ・焼却の場合、有害ガスの発生がないこと	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

問券答重要力向調査アンケート(3/5)
 <身体防護具>

品目: アノラック

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
重要度	A		()	添付資料	□有	□無
暑い		・通気性のあるもの ・蒸れにくいもの	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
機動性		・ソフトな素材 ・伸縮性	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
装脱着性	B	・1人で着脱可能 ・着脱の容易性	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	添付資料	□有	□無
重要度	B			添付資料	□有	□無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発活動意向調査アンケート(4/5)
<身体防護具>

品目：ゴム手袋

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)		
蒸れる		・皮膚に対する考慮 (かぶれ防止)	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
作業性		・破れにくい ・サイズの多様化 ・指先のフィット感 ・耐薬品性	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	B			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
焼却性		・可燃材質 ・焼却時、硫黄(S) ガスの発生がない ・混焼せず焼却可能 なもの	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()			
重要度	C			<input type="checkbox"/> 添付資料	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

骨筋筋肉力向調査アンケート(5/5)
<身体防護具>

品目：作業靴

改善項目		改善のポイント	回答	具体的対策(案、品名等)			
重要度	B						
蒸れ		<ul style="list-style-type: none"> ・通気性のあるもの ・吸湿対策 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
作業性				添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
焼却性		<ul style="list-style-type: none"> ・先芯の分離が可能 ・可燃性素材のもの 	<input type="checkbox"/> 現状がほぼ限界 <input type="checkbox"/> 具体的な案がある <input type="checkbox"/> 現在案はない <input type="checkbox"/> 対策品の製品化を進めている <input type="checkbox"/> 既に対策品の販売をしている <input type="checkbox"/> その他 ()	添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
洗濯性				添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
重要度	C			添付資料 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			

*具体的対策の欄には具体的な案、対策品の現状、製品名等を記入ください。

開発動向調査アンケート(ノ)

<その他の防護具>

回答用紙I, IIの調査対象品目以外の防護具(衣)に関する開発動向について下表に記入下さい。

品名	商品化	特徴(改善項目)	概略仕様	添付資料
	<input type="checkbox"/> 商品化済 <input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 数年先			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 商品化済 <input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 数年先			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 商品化済 <input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 数年先			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 商品化済 <input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 数年先			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

*用紙が不足の場合、コピーしてご使用願います。

附属書-3

アンケート集計表Ⅰ

「原子力産業界における防護具の使用実態に関するアンケート調査」

1. 使用状況

2. 導入

3. 運用

4. 保管管理

原子力産業界における防護具の使用実態に関するアンケート調査

1. 使用状況

(1) 過去3年間の管理区域入域者数

施設名称	H4年度		H5年度		H6年度	
	人日	人回	人日	人回	人日	人回
A発電所	-	183,353	-	176,757	-	128,284
B発電所 *1	102,076	-	75,245	-	121,495	206,952
C発電所	-	585,551	-	904,267	-	794,297
D発電所 *2	21,374	32,547	50,766	81,638	72,767	125,750
E発電所	66,688	-	54,835	-	56,334	-
F発電所	128,221	238,264	165,430	303,568	167,983	302,539
G発電所	-	162,813	-	216,507	-	224,259
H発電所	-	3,969	-	66,279	-	106,170
I発電所	-	166,923	-	135,713	-	124,996
J発電所 *3	694,330	1,028,698	821,199	1,221,329	662,031	982,667
K発電所	-	570,181	-	553,200	-	569,680
L発電所	227,342	-	264,131	-	342,283	558,152
M施設	-	120,000	-	140,000	-	130,000
N発電所 *4	65,089	113,450	67,616	116,774	68,858	118,402
O発電所	-	-	17,353	-	38,324	-
P施設	125,572	-	129,325	-	119,309	-
Q施設	268,800	-	326,400	-	307,200	-
R施設	-	210,000	-	217,000	-	216,000
S発電所	-	54,000	-	54,000	-	38,000
T発電所	-	285,000	-	184,000	-	134,000
U発電所	-	197,000	-	182,000	-	98,000
V発電所	-	45,000	-	87,000	-	98,000
W施設	-	53,179	-	54,042	-	52,989
X研究所	17,268	-	16,541	-	17,430	-
Y研究所	12,123	-	11,788	-	12,132	-

B発電所 *1 *H6年度の人回/年に関しては、放射線管理システム切替により4/1~4/10迄集計されていない。
 D発電所 *2 H4.11:全管理区域設定～H5.3,H5.7:営業運転開始、H6.4:第1回定期検査
 J発電所 *3 人日:計算機データ
 N発電所 *4 人回:チェックボントカウントマンのカウント数(参考程度)
 一時立入者を除く

(2) 管理区域区分と立入者の標準装備

施設名称	汚染区分	汚染レベル	呼吸保護具				身体防護具										足部				
			半面	全面	電動ファン	エアラインマスク/スクリーナー	ガバーオーレ	紙服	Tシャツ	下着	その他	綿手	ゴム手	被服	作業用	その他	靴下	枚数	短靴	長靴	その他
B発電所	A	汚染のない区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E発電所	A	汚染の流れのない区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F発電所	A	汚染の流れのない区域、汚染密度(α以外の核種)<4Bq/cm ² 以下、空気中濃度 ⁶⁰ Co<1.2×10 ⁻⁵ Bq/cm ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G発電所	A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H発電所	A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I発電所	A	汚染の流れのない区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J発電所	A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K発電所	A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W施設	A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

施設名称	汚染区分	汚染レベル	呼吸保護具					身体防護具								足部					
			半面	全面	電動ファン	エアライ マスク/スク	カバーオール	紙製	ティッシュ	下着	その他	綿手	ゴム手	枚数	作業用	その他	靴下	枚数	短靴	長靴	その他
A発電所	B	一般及び放射線区域	0	0	0	0	0	管理区域用	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	管理区域用	0	0
B発電所	B	管理区域内に係る値以下であるが超える恐れのある区域	0	0	0	0	0	1	1	0	1	一般作業服	1	0	0	0	0	1	1	1	0
C発電所	B	表面汚染密度(α以外の核種)4Bq/cm ² 以下、空气中放射物質密度0.3(DAC)以下	0	0	0	0	0	1	0	0	1	帽子	1	0	0	0	0	1	1	1	0
C発電所	B	表面汚染密度(α以外の核種)4Bq/cm ² 以下、空气中放射物質密度0.3(DAC)以下	0	0	0	0	0	1	0	0	1	帽子	1	1	1	0	0	1	0	1	0
D発電所	B	M _s , M _a	0	0	0	0	0	ワード無	0	0	1	帽子	1	必要に応じ	0	0	0	1	1	1	0
E発電所	B	M _s , M _a を超える恐れのない区域	0	0	0	0	0	超作業服	0	各自必要に応じ	0	1	0	0	0	青	青	0	0	0	0
F発電所	B	汚染密度(α以外の核種)0.4~4Bq/cm ² 、空气中濃度 ⁵⁵ Co 1.2×10 ⁻⁵ ~1.2×10 ⁻⁴ Bq/cm ³	0	0	0	0	0	B服	0	0	0	0	1	0	0	0	B	B	0	0	0
G発電所	B		0	0	0	0	0	管理区域用	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0
H発電所	B		1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	0	0	1	1	1	汚染区域用靴下
I発電所	B	Mを超える恐れのない区域	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
J発電所	B		0	0	0	0	0	1	0	0	1	チャッキ、Bヘルメット	B2	B2	1	0.81	B1:青、B2:赤	B2:黄	0	0	0
W施設	B	作業内容に応じ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	エプロン	1	1~2	0	0	1	1	1	0~77"ツ	0
K発電所	B1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	一般作業服	0	0	1	0	0	1	1	1	0
K発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0
L発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	1	チャッキ	0	0	1	0	1	1	1	0	0
O発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
S発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
T発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
U発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
V発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
S発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0
T発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
U発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
V発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
W発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0
X発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0
Y発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0
Z発電所	B1		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0

施設名称	汚染 区分	汚染レベル	呼吸保護具				身体防護具						手部				足部				
			半面	全面	電動ファン	エアライク マスク/ストラップ	カバーオール	紙服	7/7ラップ	下着	その他	銚子	ゴム手	枚数	作業用	その他	靴下	枚数	短靴	長靴	その他
A発電所	C	汚染区域(乾燥)	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1		0	0	管理区域用	汚染区域用	0	0
A発電所	C	汚染区域(湿润)	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1		0	0	管理区域用	0	汚染区域用	0
B発電所	C	管理区域に係る値の10倍を超える恐れのない区域	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	2	0	0	1	2	0	1
C発電所	C	4Bq/cm ² ~ 10Bq/cm ² 0.3(DAC) ~ 3(DAC)	1	1	7-7ラップ	0	0	7-7付	1	1	1	帽子	1	1	1	水を吸う場合(前掛け、ゴム長手袋)	1	2	0	1	0
D発電所	C	≤10Ms、≤10Ms	0	応じ	作業環境に応じ	0	0	7-7付	必要に応じ	必要に応じ	1	帽子	1	1	0	0	0	1	1	1	0
E発電所	C	10Ms、10Msを超える恐れのない区域	1	1	1	0	0	綿作業服	1	水作業時必要に応じ	0	1	1	1	0	0	青、黄の2重	黄	1	0	0
F発電所	C	汚染密度(α以外の核種)4 ~40Bq/cm ² 、空気中濃度 ⁶⁰ Co 1.2×10 ⁻⁴ ~ 1.2×10 ⁻³ Bq/cm ³	1	1	1	0	0	C服	1	0	1	0	1	1	1	0	0	C	C	0	0
G発電所	C		1	1	1	0	0	管理区域用	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0	0
H発電所	C		0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	汚染区域用靴下	0
I発電所	C	10Mを超える恐れのない区域	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1
J発電所	C		1	1	1	0	0	1	1	1	1	布帽子、7-7 1-1、ゴム手袋	1	1	1	必要に応じ	0	1	赤	赤	0
K発電所	C		1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	短靴又長靴	短靴又長靴	0	0
L発電所	C		1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0
N発電所	C		1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	2	0	0	1	2	1	1
O発電所	C		1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	半長靴
S発電所	C		1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	短靴又長靴	短靴又長靴	0
T発電所	C		1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	短靴又長靴	短靴又長靴	0
U発電所	C		1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	半長靴	半長靴
V発電所	C		1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	半長靴
W施設	C		0	1	0	0	0	1	1	液体を扱う場合	0	1	1	2	0	0	0	1	1	0	ハーフブーツ

施設名	汚染区分	汚染レベル	呼吸保護具				身体防護具						足部							
			半面	全面	電動ファン	エアライン		身体部			手部			足部						
						マスク/ストラップ	カバーオール	紙服	フリック	下着	その他	綿手	コム手	枚数	作業用	その他	靴下	枚数		
R施設	管理区域		1	0	0	0	0	1	0	0	1帽子	1	1	1	0	0	1	1	0	0
R施設	規制区域設定時		1	1	1	0	0	1	1	1	1帽子	1	1	2	1	0	1	1	1	0
P施設	第1種管理区域		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0
X研究所	第1種管理区域 DAC×<1		1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0
X研究所	第1種管理区域 DAC×1~10		1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0
X研究所	第1種管理区域 DAC×10~100		0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0
X研究所	第1種管理区域 DAC×100~		0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0
Y研究所	第1種管理区域 DAC×<1		1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0
Y研究所	第1種管理区域 DAC×1~10		1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0
Y研究所	第1種管理区域 DAC×10~100		0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	3	0	0	1	1	0	1
Y研究所	第1種管理区域 DAC×100~		0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	0	0	1	0	0	1
P施設	第2種管理区域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	立入制限区域																			
R施設	設定時		0	1	1	1	0	1	1	1	1帽子	1	1	3	1	1	1	1	1	0
M施設	通常立入区域		0	0	0	0	0	1	0	0	0白衣、黄衣	1	0	0	0	0	1	1	1	0
M施設	汚染レベルが立入制限区域の基準を超える場合		1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0
Q施設			1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1~2	0	0	1	1	0	0
Q施設			0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0
Q施設			0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1~2~3	0	0	1	1	1	0

施設名称	汚染区分	特記事項			
		特記事項1	特記事項2	特記事項3	特記事項4
B発電所	A				
E発電所	A	廃棄物庫A～C,S/G保管庫が該当			
F発電所	A	機内服(一般作業服)で入域する。			
G発電所	A				
H発電所	A	なし			
I発電所	A	0			
J発電所	A				
K発電所	A	ヘッド又は一般ハット使用			
W施設	A				

施設名称	汚染区分	特記事項			
		特記事項1	特記事項2	特記事項3	特記事項4
A発電所	B	必要な場合、手部に腕カバー、ゴム手袋	必要な場合、足部に靴カバー、管理区域用長靴	必要な場合、汚染区域用カバーと2重にする	必要な場合、身体部に管理区域用防寒衣
B発電所	B	必要に応じ、長靴、ゴム手、足手を使用			
C発電所	B	該当区域に限り、個人下着を着用可			
D発電所	B	M _a :4Bq/cm ²	M _a :法令に定める放射線業務従事者に係る濃度限度に3/10を乗じた濃度		
E発電所	B	M _a :通産省告示第131号 管理区域設定に係る放射性物質の表面汚染密度	M _a :通産省告示第131号 管理区域設定に係る放射性物質の空气中濃度		
F発電所	B	身体防護具の選用(1.汚染密度が0.1Bq/cm ² (選用値)以下の区域:か'ーオール着用は原則と不要とし、個人の選択により、構内服に綿手袋、靴下、短靴の着用で入域出来る選用としている。	(2.汚染密度が1Bq/cm ² (選用値)以上の区域:身体防護具については区分Cで入域とする。		
G発電所	B	帽子、マントも着用			
H発電所	B	0.1M以上未満:全面又全面、か'ーオール、紙服、ゴム手1枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、短靴	0.1M以上10M未満:動力式マスク、か'ーオール、紙服、ゴム手2枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、長靴		
I発電所	B	・短靴は管理区域用靴			
J発電所	B	B1:検出限界以下(一般作業服入域、個人下着での入域も可)	B2:分解部品:4Bq/cm ² 未満、床:0.4Bq/cm ² 未満、床の維持基準:0.2Bq/cm ² 未満		
W施設	B				
K発電所	B1	Bマスク又は一般マスク使用			
K発電所	B1				
L発電所	B1	個人用作業服で立ち入ることが出来る。この場合は、か'ーオール、ショキ、専用下着の着用は不要とし、個人用下着、個人靴下の着用を可能とする。			
O発電所	B1				
K発電所	B2				
L発電所	B2	専用下着の変わりに、個人用下着の着用を可能とする。			
N発電所	B2	区域境界で此交換実施			
O発電所	B2	呼吸保護具の着用基準は区域区分と基礎と別に以下の通り運用するが、作業状況に応じて選択できる物である。	空気中濃度(全面: $4 \times 10^{-5} \sim 4 \times 10^{-4}$ Bq/cm ³)	空気中濃度(全面: $4 \times 10^{-4} \sim 4 \times 10^{-3}$ Bq/cm ³)	空気中濃度(エアライマスク又はセリエアセット: $\geq 4 \times 10^{-3}$ Bq/cm ³)
S発電所	B1				
T発電所	B1				
U発電所	B1				
V発電所	B1				
S発電所	BII				
T発電所	BII				
U発電所	BII				
V発電所	BII				

施設名称	汚染区分	特記事項			
		特記事項1	特記事項2	特記事項3	特記事項4
A発電所	C	足部に汚染区域用靴下を普通の物と2重着用	カバーオールは管理区域用と汚染区域用を2重着用		
A発電所	C	足部に汚染区域用靴下を普通の物と2重着用	温熱を伴う場合、管理区域用下着を着用	カバーオール	
B発電所	C	必要に応じ、各マスク、EVAスーク(アラック)着用	半面、全面、アームスクリは空気中放射性物質濃度が着用基準を超える又はその恐れがある場合着用	紙服、アラックは表面汚染濃度が着用基準を超える場合、その恐れ又は水を吸う作業で着用	
C発電所	C				
D発電所	C	Ms:4Bq/cm ²		Ms:法令に定める放射線業務従事者に係る濃度限度に3/10を乗じた濃度	
E発電所	C	腕カバー・弁関係・大型ポンプ定検工事	C,D区域について明確な区分ではない く、作業内容に応じて着装		
F発電所	C	呼吸保護具は空気中濃度及び作業内容等により決する。	身体防護具のうち、紙服(タペック等)については作業内容によりカバーオールの上に着用		
G発電所	C	帽子、マントも着用	呼吸保護具は空気中放射性物質濃度により選択		
H発電所	C	0.1M以上10M未満:動力式マスク、カバーオール、紙服、ゴム手2枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、長靴	M以上100M未満:エラインマスク又はライスクート、カバーオール、紙服、ゴム手2枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、長靴		
I発電所	C	・靴下は管理区域用、汚染作業用の2枚着用	・短長靴は作業を考慮し、管理区域用、汚染作業用(短・長靴いずれか)着用	・呼吸保護具は作業を考慮していすれば着用	
J発電所	C				
K発電所	C				
L発電所	C	作業用手袋(C手袋)は必要に応じて着用	空気汚染の可能性がある作業は、電動77ツ式呼吸保護具の着用を原則とし、水を取り扱う作業でアラックを着用する場合は全面マスク着用		
N発電所	C	ダストの浮遊が生じる場合は、全面マスク+アラックを着用させ、密封。	水を伴う作業は、タペックスークの替わりにアラックを着用	電動77ツ付全面マスクを一部で運用	
O発電所	C	呼吸保護具の着用基準は区域区分と基準と別に以下の通り選用するが、作業状況に応じて選択できる物である。	空気中濃度(全面:4×10 ⁻⁵ ~4×10 ⁻⁴ Bq/cm ³)	空気中濃度(全面:4×10 ⁻⁴ ~4×10 ⁻³ Bq/cm ³)	空気中濃度(エラインマスク又はセレクエット:≥4×10 ⁻³ Bq/cm ³)
S発電所	C				
T発電所	C				
U発電所	C				
V発電所	C				
W施設	C				

施設名	汚染区分	特記事項			
		特記事項1	特記事項2	特記事項3	特記事項4
A発電所	D	足部に汚染区域用靴下を普通の物と2重着用	必要な場合は、汚染区域用長靴		
B発電所	D	必要に応じ、各マスク、EVA2-7(7ラック)着用			
C発電所	D	半面、全面、アートマスクは空気中放射性物質濃度が着用基準を超える又はその恐れがある場合着用	紙服、7ラックは表面汚染密度が着用基準を超える場合、その恐れ又は水を吸う作業で着用		
E発電所	D	エフライマー(半面マスク、7ラックと合わせ使用)、エフライマスクと同等として選用。(1次系大型炉、定期点検、蒸気発生器水室隔離工事)			
F発電所	D	呼吸保護具は空気中濃度及び作業内容等により決定する。	身体防護具のうち、紙服(ペバック等)については作業内容によりかごーオークの上に着用		
G発電所	D	帽子、ヘリコットも着用	呼吸保護具は空気中放射能物質濃度により選択		
H発電所	D	0.1m以上10m未満:動力式マスク、かごーオーク、紙手袋、ゴム手2枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、長靴、汚染区域用靴下	M以上100m未満:エフライマスク又エフライマーク、かごーオーク、紙服、ゴム手2枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、長靴、汚染区域用靴下		
I発電所	D	呼吸保護具は作業を考慮していくつか着用	エフライマスク、7ラックは湿润作業のみ着用	靴下は管理区域用、汚染作業用の2枚着用	
J発電所	D				
K発電所	D				
L発電所	D	作業用手袋(C手袋)は必要に応じて着用			
N発電所	D	グローブの浮遊が生じる場合は、全面マスク+ダイベックスを着用させ、密封	水を伴う作業は、ダイベックスの替わりに7ラックを着用	電動ファン付全面マスクを一部で選用	
O発電所	D	呼吸保護具の着用基準は区域区分と基準と別に以下の通り選用するが、作業状況に応じて選択できる物である。	空気中濃度(半面:4×10 ⁻⁵ ~4×10 ⁻⁴ Bq/cm ³)	空気中濃度(全面:4×10 ⁻⁴ ~4×10 ⁻³ Bq/cm ³)	空気中濃度(エフライマスク又はセレコセット:至4×10 ⁻³ Bq/cm ³)
S発電所	D				
T発電所	D				
U発電所	D				
V発電所	D				
W施設	D	当該区域には存在しない(基本的にはC区域基準に準ずる)			

施設名	汚染区分	特記事項			
		特記事項1	特記事項2	特記事項3	特記事項4
R施設	管理区域	工場室内に入室する時は、平面マスク携帯で入室する。			
R施設	規制区域設定時	左側にレ点した装備は一般的である	装備等は設定時に協議して決定する		
P施設	第1種管理区域 シーリング	原科シリカ、軽油、メタノール作業：平面マスク、布帽子、ペリット、綿手、ゴム手、ショーズカバー、エア用シャツ	NaF ⁻ レット入替作業：全面マスク、布帽子、ペリット、ライバーグローブ、綿手、ゴム手、ショーズカバー、エア用シャツ		
X研究所	第1種管理区域	作業内容によって変更			
X研究所	第1種管理区域	作業内容によって変更			
X研究所	第1種管理区域	作業内容によって変更			
X研究所	第1種管理区域				
X研究所	第1種管理区域				
Y研究所	第1種管理区域				
Y研究所	第1種管理区域				
Y研究所	第1種管理区域				
P施設	第2種管理区域				
R施設	立入制限区域 設定時	左側にレ点した装備は一般的である	装備等は設定時に協議して決定する		
M施設		立入制限区域内の装備は当該区域内の作業内容、方法、汚染レベル等に応じてその都度決定			
Q施設	管理区域内の管理目標値を超えた場合に区域を設定する	管理目標値：表面密度（ $\alpha : < 0.04 \text{Bq/cm}^2$ 、 $\beta : < 0.4 \text{Bq/cm}^2$ ）	管理目標値：空気中濃度（ $DAC \times 3/10 \times 1/6$ ）		
Q施設					
Q施設					

2. 導入

(1) 呼吸用保護具

施設名称	品名	選定基準					受入検査					購入年の箇別					材質指定					医療用具の種類							
		有無	使用実績	規格適合品	保守性	フィルタ	その他	有無	全般検査	抜取検査	記録確認	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	麻薬性	その他	指定材質	用	用	その他	
A発電所	エラインスース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	エラインスース	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1本体に表示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D発電所	エラインスース	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
G発電所	エラインスース	使用せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
H発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K発電所	エラインスース	使用せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L発電所	エラインスース	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M施設	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N発電所	エラインスース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O発電所	エラインスース	購入予定無し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P施設	エラインスース	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1管理番号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Q施設	エラインスース	1	1	0	0	1	マスクマスク	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R施設	エラインスース	作業の都度現場側で購入、防護具の購入管理は現場側で行っている	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
S発電所	エラインスース	使用せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T発電所	エラインスース	使用せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
U発電所	エラインスース	使用せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
V発電所	エラインスース	使用せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
W施設	エラインスース	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	エラインスース	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Y研究所	エラインスース	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1本体にマーキング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

施設名称	品名	選定基準					受入検査					購入年の箇別					材質指定					使用方法の種類										
		有無	実績	規格	適合品	保守性	テスト	その他	有無	検査	採取	記録	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	廃棄性	その他	指定材質	用	タスト	ガス	その他		
A発電所	エラインマスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	納入時ノートでテープを貼付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
B発電所	エラインマスク	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	面体に表示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
C発電所	エラインマスク	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	本体にIDを記入し、台帳管理	0												
D発電所	エラインマスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	製造年月を記載したシールを貼付	1	1			除染・消毒	0	0	0	0	0	0		
E発電所	エラインマスク	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	管理番号を本体に刻印し、FDで管理する(ロータ)	1	0			焼却可能な事(面体)	0	合成ゴム	0	0	0	0		
F発電所	エラインマスク	保有無	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
G発電所	エラインマスク	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H発電所	エラインマスク	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
I発電所	エラインマスク	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
J発電所	エラインマスク	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
K発電所	エラインマスク	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
L発電所	エラインマスク	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	本体に刻印	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
M施設	エラインマスク	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
N発電所	エラインマスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	本体に刻印	1	視野	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
O発電所	エラインマスク	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
P施設	エラインマスク	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	管理番号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
Q施設	エラインマスク	1	1	0	0	0	0	0	マスクメント	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	管理番号の貼付	0											
R施設	エラインマスク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S発電所	エラインマスク	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	本体に刻印	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
T発電所	エラインマスク	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	本体に刻印	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
U発電所	エラインマスク	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
V発電所	エラインマスク	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
W施設	エラインマスク	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
X研究所	エラインマスク	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Y研究所	エラインマスク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施設名称	品名	選定基準					受入検査					購入牛の識別					材質指定					使用方法の種類						
		有無	使用 実績	規格 適合品	保守性 テスト	その他	有無	全数 検査	抜取 検査	記録 確認	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	廃棄性	その他	指定材質 用	グローバル ガス	ガス 用	その他	
A発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	貼付	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
B発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	面体に表示	1	1	5	1	1	1	1	1	0	
C発電所	全面マスク	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0		
D発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	製造年月を記載し たシールを貼付	1	1				面体:天然ゴム又 は同等以上の良 質な材料	1	1	1	0
E発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	管理番号を本体に 刻印し、PDで管理 する(ロータス)	1	0			焼却可能な事 (面体)	0	合成ゴム	1	1	0
F発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0		
G発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0		
H発電所	全面マスク	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	
I発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
J発電所	全面マスク	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
K発電所	全面マスク	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	バーコード	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
L発電所	全面マスク	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	本体に刻印	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
M施設	全面マスク	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
N発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	本体に刻印	1	視野	5	0	0	0	0	1	1	0
O発電所	全面マスク	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
P施設	全面マスク	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
Q施設	全面マスク	1	1	0	0	0	1	マスクシナテスト	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	管理番号の貼付	0	0	0	0	0	0	0	1	1
R施設	全面マスク	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
S発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	本体に刻印	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
T発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	本体に刻印	0	0	0	0	0	0	0	1	0
U発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
V発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
W施設	全面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
X研究所	全面マスク	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
Y研究所	全面マスク	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	

施設名称	品名	選定基準						受入検査						購入年の鑑別				材質指定				使用方法の種類								
		有無	実績	適合品	保守性	フィット	その他	全数	抜取	記録	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	複数性	その他	指定材質	用	その他				
A発電所	電動ファン式	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	納入時ノートでテープ 1巻貼付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		
C発電所	電動ファン式	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	本体にIDを記入 し、台帳管理	0									1	1	0		
D発電所	電動ファン式	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	製造年月を記載し 1巻ケーブルを貼付	1	1	1	1	200 以上充電可	200 以上充電可	1	1	1	天然ゴム	1	0		
E発電所	電動ファン式	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	焼却可能な事 (面体)	0	天然ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
F発電所	電動ファン式	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	ダスト用フィルタは既 却可能な事	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0			
G発電所	電動ファン式	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	密着性の良い物 面体:天然ゴム	1	1	1	2	0	0	0	0	0	天然ゴム	1	1	0	
H発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
I発電所	電動ファン式	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		
J発電所	電動ファン式	1	1	0	0	0	性能、コスト	1	0	1	1	0	0	0	0	焼却処理可能か 除染性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
K発電所	電動ファン式	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	電動ファンユニット及び ハブリニットに隠し 年月日を明記した シール貼付	1	0	0	0	0	0	0	0	0	面体:酢酸ビニル 等	1	0	0	
L発電所	電動ファン式	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	本体に刻印	1	0	0	0	0	0	0	0	0	天然ゴム	1	0	0
M施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
N発電所	電動ファン式	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	本体に刻印	1	0	5	0	0	0	0	1	1	0		
O発電所	電動ファン式	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
P施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
Q施設	電動ファン式	0							1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		
R施設	電動ファン式	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
S発電所	電動ファン式	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	本体に表示	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
T発電所	電動ファン式	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	本体に表示	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
U発電所	電動ファン式	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
V発電所	電動ファン式	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
W施設	電動ファン式	0																												
X研究所	電動ファン式	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
Y研究所	電動ファン式	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
Z研究所	電動ファン式 アンドマスク、 ロアマスク、スケーフ タ	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	本体の表示	1	1	2	1	1	1	1	1	0			
B発電所	電動ファン式 アンドマスク、 ロアマスク、スケーフ タ	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0				

施設名称	品名	選定期車					受入検査					購入年の識別					材質指定					使用方法の種類											
		有無	実績	規格	適合品	保守性	フィット	その他	全数	抜取	検査	記録	確認	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	廃棄性	その他	指定材質	用	ガス	その他			
A発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	納入時1枚でテープを貼付	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0			
B発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	面体に表示	1	0	5	1	1	1	1	1	1	0			
C発電所	半面マスク	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0			
D発電所	半面マスク	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
E発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	管理番号を本体に刻印し、RFで管理する(マーク)	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0			
F発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	焼却可能なこと(面体)	0	合成ゴム	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
G発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	ガス用フィルは焼却可能な事	0	天然ゴム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
H発電所	半面マスク	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	2	0	シリコーン	1	1	1	1	1	1	1	1	1
I発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0			
J発電所	半面マスク	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
K発電所	半面マスク	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	焼却処理可能か、燃焼性	0	ゴム製(耐油性材)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
L発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0			
M施設	半面マスク	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0			
N発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	本体に印	1	1	5	0	0	0	0	1	1	0		
O発電所	半面マスク	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
P施設	半面マスク	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0			
Q施設	半面マスク	1	1	0	0	1	マスクマッチ	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0			
R施設	半面マスク	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			
S発電所	半面マスク	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	マスク本体の製造年月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0				
T発電所	半面マスク	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	マスク本体の製造年月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0				
U発電所	半面マスク	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0				
V発電所	半面マスク	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0				
W施設	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0				
X研究所	半面マスク	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0				
Y研究所	半面マスク	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0				

(2) 身体防護具

施設名称	品名	選定基準						受入検査						購入年の統別			材質指定								
		有無	使用実績	規格適合品	保守性	フィットテ스트	その他	有無	検査	抜取	記録確認	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	腐食性	その他	指定材質
A発電所	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	可燃性	0	0
C発電所	アノラック	1	1	0	1	1	燃焼性、耐水性	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0-
D発電所	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0-	
E発電所	アノラック	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	焼却可能な事	-	
F発電所	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	全て焼却可能な事	強度があり除染性が良い	-
G発電所	アノラック	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	-
H発電所	アノラック	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	既設の焼却設備で処理可能	0-	
I発電所	アノラック	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-
J発電所	アノラック	1	0	0	0	1	防水性の材質、構造	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	焼却処理可能か	0-	
K発電所	アノラック	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0-	
L発電所	アノラック	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0-	
M施設	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	
N発電所	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	必要数取扱入	1	0	0	使い捨て	-	
O発電所	アノラック	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	焼却可能な物	0-	
P施設	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
Q施設	アノラック	1	1	0	0	0	可燃性	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	可燃物	0-	
R施設	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	
S発電所	アノラック	1	1	0	0	1	単価	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0-	
T発電所	アノラック	1	1	0	0	1	単価	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0-	
U発電所	アノラック	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	燒却可能な材質	0-		
V発電所	アノラック	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	燒却可能な材質	0-		
W施設	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0-	
X研究所	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	
Y研究所	アノラック	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	
B発電所	アノラック(EVA)	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	燒却可能な材質	0-	

施設名称	品名	選定基準					受入検査					購入年の識別					材質指定									
		有無	使用実績	規格適合品	保守性	フィルタテスト	その他	有無	全数検査	抜取検査	記録確認	その他	員数	外観	性能	その他	有無	方法	有無	耐久性	年	回	廃棄性	その他	指定材質	
A発電所	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	可燃性	0	0
B発電所	紙版	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	包装に記載	1	0			焼却可能な材質	0-	
C発電所	紙版	1	1	0	1	1	燃焼性	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1				1	0-
D発電所	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1			1	0-	
E発電所	紙版	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0			焼却可能な事	-	
F発電所	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0			全て焼却可能な事	-		
G発電所	紙版	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0			防水性(水を弾くか)	-	
H発電所	紙版	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1			既設の焼却設備で処理可能	0-	
I発電所	紙版	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0				-	
J発電所	紙版	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	焼却処理可能か	0-	
K発電所	紙版	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1			購入月日の古い順に試用し、合帳にて数量確認	0-	
L発電所	紙版	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0			1	0-	
M施設	紙版	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0-	
N発電所	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	必要数量購入	1	0			使い捨て	-	
O発電所	紙版	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0				焼却可能な物	0-	
P施設	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0					-	
Q施設	紙版	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0				可燃物	0-	
R施設	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1				1	0-	
S発電所	紙版	1	1	0	0	1	單価	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1				1	0-	
T発電所	紙版	1	1	0	0	1	単価	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1				1	0-	
U発電所	紙版	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0			焼却可能な材質	0-		
V発電所	紙版	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0			焼却可能な材質	0-		
W施設	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0				1	0-	
X研究所	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0			0	0		
Y研究所	紙版	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0			0	0		

施設名	品名	材質指定				形状	その他				種類	短靴		長靴					
		現状材質		現状材質4	静電対策				その他1	その他2	その他3	その他4	刈り波	半ブーツ	その他	種類	ブーツ	その他	
		現状材質1	現状材質2				リビース	ケビース	フード付	フード無									
A発電所	アラック	ポリエチレン 樹脂(10% ~20%)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
C発電所	アラック	高圧ポリエチ レン			-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
D発電所	アラック	EVA			-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
E発電所	アラック	EVA			-		1	0	1	0		2-	-	-	-	-	-		
F発電所	アラック	生地:EVA (ソロモン(スライ グ一部はナイロ ン)			-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
G発電所	アラック	EVA			-		0	1	1	0	0	肩紐付ズボン 足かき付ズボン 上衣	4-	-	-	-	-	-	
H発電所	アラック	EVA			-		0	1	1	0	0		2-	-	-	-	-	-	
I発電所	アラック	EVAシート	0	0	0-		0	1	1	0	0		0-	-	-	-	-	-	
J発電所	アラック	酢酸ビニル、 ポリエチレン共 重合ゴム (荷物10%以 上)			-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
K発電所	アラック	酢酸ビニル、 ポリエチレン共 重合体(酢 酸10%以上)			-		0	1	1	0	0		-	-	-	-	-	-	
L発電所	アラック	酢酸ビニル、 ポリエチレン共 重合体74%			-		1	1	1	0	0		3-	-	-	-	-	-	
M施設	アラック	0			-		0	1	1	0	0		-	-	-	-	-	-	
N発電所	アラック	PVC			-		1	0	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
O施設	アラック	EVA			-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
P施設	アラック				-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
Q施設	アラック	酢酸ビニル 性			-		0	1	1	0	0		1-	-	-	-	-	-	
R施設	アラック	酢酸ビ ニル			-		0	1	1	0	0		-	-	-	-	-	-	
S発電所	アラック	PVA			-		0	1	0	0	0		-	-	-	-	-	-	
T発電所	アラック	PVA			-		0	1	0	0	0		-	-	-	-	-	-	
U発電所	アラック	エチレン/酢酸ビ ニル100%			-		0	1	1	0	0	エフ'ロンタイプ'	3-	-	-	-	-	-	
V発電所	アラック	エチレン/酢酸ビ ニル100%			-		0	1	1	0	0	エフ'ロンタイプ'	3-	-	-	-	-	-	
W施設	アラック	酢酸ビニル			-		0	1	1	0	0		-	-	-	-	-	-	
X研究所	アラック				-		0	1	1	0	0		-	-	-	-	-	-	
Y研究所	アラック				-		0	1	1	0	0		-	-	-	-	-	-	
B発電所	アラック(EVA) シート100%	リビース:可 燃性ポリエチ レン(30%) + 酢酸ビニル (20%)					1	1	1	0	0		2-	-	-	-	-	-	

施設名	品名	材質指定				静電対策	形状				その他				種類	短靴			長靴				
		現状材質					その他				その他					羽根			半ブーツ		その他		
		現状材質1 ポリエステル 100%	現状材質2 0	現状材質3 0	現状材質4 0		1	1	0	0	1	0	社員用1100枚	社員外2800枚	溶接用20枚	3	0	0	0	0	0	0	
A発電所	カバーオール	表:ドット 65%綿35% 混紡					1	1	0	C,B用	B用	0				2-	-	-	-	-	-	-	
C発電所	カバーオール	B,C服:ボディ ストラップ100%(吸 汗加工)					1	1	0	C用	B用	0				0-	-	-	-	-	-	-	
D発電所	カバーオール	綿100%					1	1	0	0	1					1-	-	-	-	-	-	-	
E発電所	カバーオール	生地:ドット 65%綿35% 樹脂					1	1	0	C服	B服	0				2-	-	-	-	-	-	-	
H発電所	カバーオール	ポリエステル 100%					1	1	0	0	1	0				1-	-	-	-	-	-	-	
I発電所	カバーオール	ポリエステル 100%	0	0	0		1	1	0	0	1	0				0-	-	-	-	-	-	-	
J発電所	カバーオール	ポリエステル 100%					1	1	0	1	0	0				3-	-	-	-	-	-	-	
K発電所	カバーオール	ポリエステル 100% 綿100%					1	0	1	0	0					-	-	-	-	-	-	-	
L発電所	カバーオール	ミックス部:ナロ 他、ポリエステル 100%				H7.10以降 購入分有り	1	0	0				7-付から 7-無に移 行中(H7.10 以降)				3-	-	-	-	-	-	-
M施設	カバーオール	0					1	1	0	0	1	0					-	-	-	-	-	-	-
O発電所	カバーオール	ポリエステル 綿					1	1	0	C,D用	1	0				2-	-	-	-	-	-	-	
P施設	カバーオール						1	0	0	0	0					2-	-	-	-	-	-	-	
Q施設	カバーオール	綿					1	1	0	0	6	0				1-	-	-	-	-	-	-	
R施設	カバーオール	綿100%					1	1	0	0	0	0				-	-	-	-	-	-	-	
S発電所	カバーオール	中空糸 ポリエス					1	1	0	C,D用	B用	0				3-	-	-	-	-	-	-	
T発電所	カバーオール	中空糸 ポリエス 100%					1	1	0	C,D用	B用	0				3-	-	-	-	-	-	-	
U発電所	カバーオール	ポリエステル 100%					1	1	0	C,D用	B用	0				3-	-	-	-	-	-	-	
V発電所	カバーオール	ポリエステル 100%					1	1	0	C,D用	B用	0				3-	-	-	-	-	-	-	
W施設	カバーオール	ポリエステル+綿					1	1	0	0	1	0				-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	カバーオール						1	0	0	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-	
Y研究所	カバーオール						1	0	0	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-	
B発電所	カバーオール(ジ トフリード)	綿100%					0	1	0	1	1	0				4-	-	-	-	-	-	-	
B発電所	カバーオール(ジ トリード)	10%綿60%					1	1	0	1	1	0				0-	-	-	-	-	-	-	
G発電所	カバーオール(ジ トリード)	ポリエステル 65%綿35%					1	1	0	0	1	0				1-	-	-	-	-	-	-	
N発電所	カバーオール(ジ ト人型)	ポリエステル 100% (ケム カバーオール(標準 人型)					0	1	0	0	0	1				1-	-	-	-	-	-	-	

施設名称	品名	材質指定				形状	その他				種類	短靴		長靴								
		現状材質					その他					短靴		長靴								
		現状材質1	現状材質2	現状材質3	現状材質4		筋電計策	ラバーストーブ	カービーストーブ	フード付	フード無	その他1	その他2	その他3	その他4	ゴム	スチール	半ゴム	その他	種類	アーチ	その他
A発電所	靴	天然ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	靴	短靴:合成皮革(ヘビーベルト)	長靴:合成ゴム(天然ゴム又は合成ゴム)			-	-	-	-	-	0				-	1	0	0	1	1	0	2
C発電所	靴	短靴:表:人工皮革	短靴:裏:合成ゴム(鋼製先芯)			-	-	-	-	-					-	0	0	0	1	0	0	1
D発電所	靴	天然ゴム又は同等以上の材質	先芯(鋼製又は同等以上)			-	-	-	-	-					-	0	1	0	1	1	0	1
E発電所	靴	ゴム(焼却無灰通過仕様)	青靴:合成皮革			-	-	-	-	-					-	1	0	0	ゴム、合成皮革	1半長靴	2	
F発電所	靴	天然ゴムを主成分とした加硫ゴム	先芯:銅製(JIST8108に合格する物)			-	-	-	-	-					-	0	1	0	3	1	0	2
G発電所	靴	天然ゴム、合成ゴム				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	色10	1	0	1
H発電所	靴	短靴:布	長靴:天然ゴム			-	-	-	-	-					-	1	0	重量物用安全靴(検査官用)	3	17	17	2
I発電所	靴	ゴム	ビニール	オブレコム(長靴)	オブレコム(短靴)	-	-	-	-	-					-	1	1	オブレコム	0	1	0	0
J発電所	靴																	スリップオン、半ブーツ	07:2	1	0	2
K発電所	靴	天然ゴムを主成分とした加硫ゴム				-	-	-	-	-					-	0	1	0	3	1	0	2
L発電所	靴	短靴:(全体:合成皮革)	短靴:(先芯:合成樹脂)	半長靴、長靴(全体:天然ゴムを主成分とした加硫ゴム)	半長靴、長靴(先芯:合成樹脂又は銅製)										-	1	1	0	2	1	0	1
M施設	靴	0				-	-	-	-	-					-	1	0	0	2	1	0	1
N発電所	靴	合成ゴム製				-	-	-	-	-					-	1	0	0	0	1	0	2
O発電所	靴	短靴(着脱:合成皮革)	短靴(先芯:合成皮革)	短靴(表底:発泡ポリウレタン)	短靴(甲:合成ゴム)										-	1	0	0	1	1	1	2
P施設	靴					-	-	-	-	-					-	1	0	0	2	1	0	1
Q施設	靴	ゴムソリューションズ:ゴム				-	-	-	-	-					-	0	0	0	0	0	0	0
R施設	靴	上地:ビニール	下地:生ゴム	爪先:スチール、		-	-	-	-	-					-	1	0	0	0	ゴム靴	1	
S発電所	靴	合成ゴム				-	-	-	-	-					-	1	0	0	1	0	2	
T発電所	靴	合成ゴム				-	-	-	-	-					-	1	0	0	1	0	2	
U発電所	靴	混合ゴム				-	-	-	-	-					-	1	1	0	2	1	0	3
V発電所	靴	混合ゴム				-	-	-	-	-					-	1	1	0	2	1	0	3
W施設	靴	JST8101				-	-	-	-	-					-	1	1	0	2	1	0	1
X研究所	靴					-	-	-	-	-					-	1	0	0	2	1	0	1
Y研究所	靴					-	-	-	-	-					-	1	0	0	2	1	0	1

施設名称	品名	材質指定 現状材質				形状					その他				種類	短紙					長紙	
		現状材質1	現状材質2	現状材質3	現状材質4	静電対策	タシピース	タヒース	フート付	フート無	その他1	その他2	その他3	その他4		両ボン	半ワーグ	その他	種類	フーリーク	その他	種類
		ボリューム	100%	0	0	0	0	1	0	1	0	0	白600枚	黒2000枚		2	0	0	0	0	0	0
A発電所	紙版	ボリューム	100%	0	0	0	0	1	0	1	0	0	白600枚	黒2000枚		2	0	0	0	0	0	0
B発電所	紙版	ボリューム	100%			-		1	0	1	1	0				2-	-	-	-	-	-	-
C発電所	紙版	ボリューム	100%			-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
D発電所	紙版					-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
E発電所	紙版	タペ・ラッ				-		1	0	1	0					1-	-	-	-	-	-	-
F発電所	紙版	1/224/47				-		1	0	1	0					1-	-	-	-	-	-	-
G発電所	紙版	デュポン製特殊	ボリューム	100%		-		1	0	1	0	エコロジ				4-	-	-	-	-	-	-
H発電所	紙版	ボリューム	不織布			-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
I発電所	紙版	ボリューム	100%	0	0	0-		1	0	1	0	0				0-	-	-	-	-	-	-
J発電所	紙版	タペ・ラッ	100%			-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
K発電所	紙版	タペ・ラッ	100%			-		1	0	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-
L発電所	紙版	タペ・ラッ				-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
M施設	紙版		0			-		1	1	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-
N発電所	紙版	タペ・ラッ				-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
O発電所	紙版					-		1	0	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
P施設	紙版					-		0	1	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
Q施設	紙版	タペ・ラッ				-		0	1	1	0	0				1-	-	-	-	-	-	-
R施設	紙版	紙100%				-		0	1	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-
S発電所	紙版	タペ・ラッ				-		1	0	1	0	0				2-	-	-	-	-	-	-
T発電所	紙版	タペ・ラッ				-		1	0	1	0	0				2-	-	-	-	-	-	-
U発電所	紙版	ボリューム	100%			-		1	0	1	0	0				2-	-	-	-	-	-	-
V発電所	紙版	ボリューム	100%			-		1	0	1	0	0				2-	-	-	-	-	-	-
W施設	紙版	不織布				-		1	0	0	0	0				-	-	-	-	-	-	-
X研究所	紙版					-		1	0	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-
Y研究所	紙版					-		1	0	1	0	0				-	-	-	-	-	-	-

3. 運用（呼吸用保護具）

施設名称	品名	代表的な作業	着用基準(限度)		防護係数	所有数値				使用(着用)時間		着用時のタイプ別状況		通話・音響			
			着用基準1	着用基準2		純保有数1	純保有数2	純保有数3	純保有数4	(個)	有無	時間	有無	方法	可否	即興の使用条件	方法1
A施設所	ゴフライマーク	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B施設所	ゴフライマーク	4×10 ⁻³ 超過(Bq/cm ³)	-	-	6	-	-	-	-	6-	-	-	-	1	-	-	-
C施設所	ゴフライマーク	使用実績無し	-	-	5	-	-	-	-	5-	0	-	-	-	-	伝声器使用	-
D施設所	ゴフライマーク	使用実績無し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E施設所	ゴフライマーク	1次系大型炉心定検、蒸気発生器水	空気汚染(Bq/cm ³): $\beta \leq 10^{-4}$	表面汚染(Bq/cm ³): >40	200(管理上の防護係数)	450	450	-	-	450	0	-	-	なし	なし	-	-
F施設所	ゴフライマーク	汚染水を伴う機器等の分解点検作業	空気中濃度:>1.0×10 ⁻³ Bq/cm ³	(適用箇)	10000	16	-	-	-	5	0	-	-	個人の即興	なし	-	-
G施設所	ゴフライマーク	使用せす	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H施設所	ゴフライマーク	S/G水槽内点検、トリップ点検	0.1M以上10M未満:動力式ツリッピングスイッチ、手・足2枚、靴下、綿手、汚染区域用靴下、皮靴	以上1000未満:ゴフライマーク	なし	-	-	-	-	0	0	-	-	1本人の即興使用	扯声器	-	-
I施設所	ゴフライマーク	CH-SIP-HURP分解点検、トリップ点検	・Mn以上	200	-	-	-	-	-	0	0	0	0	1	0	0	0
J施設所	ゴフライマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K施設所	ゴフライマーク	使用せす	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L施設所	ゴフライマーク	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M施設所	ゴフライマーク	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N施設所	ゴフライマーク	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O施設所	ゴフライマーク	保管していない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P施設	ゴフライマーク	緊急用	技術府告示第20号別表第1及び第2に示す濃度限度の8000倍	1000以上	25	-	-	-	-	25(緊急用:31)	1	-	-	1	緊急無線装置	-	-
Q施設	ゴフライマーク	トリップボックスの解体除去	DAC×8000	1000以上	16	-	-	-	-	0(作業の濃度配分)	1	1	-	なし	-	無線電話装置を使用	-
R施設	ゴフライマーク	解体作業時	6.4×10 ⁻⁵	1000以上	0	-	-	-	-	0	1袋(原則)	-	-	1専用服装	専用服装	暗黙	
S施設所	ゴフライマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T施設所	ゴフライマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U施設所	ゴフライマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V施設所	ゴフライマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W施設	ゴフライマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X研究所	ゴフライマーク	セル内高圧作業	DAC:>100, $\alpha:10$, $\beta:2400$	2000	4	-	-	-	-	4	1	1.5-	-	1	無線通信装置	-	-
Y研究所	ゴフライマーク	セル内作業	DAC:1~10, $\alpha:0.1$ ~480/cm ² , $\beta:4$ ~40Bq/cm ²	10000	10	-	-	-	-	10-	2-	-	-	1銀鏡バンド使用	同時通話方式の無線式	-	-

施設名	品名	代表的な作業	着用基準(例)		防護基準	所有数				使用(専用)時間		装着時の7項目		器具使用	通話・通信			
			着用基準1	着用基準2		持保有数1	持保有数2	持保有数3	持保有数4	(道)	着用	時間	有無	方法	可否	器具の使用条件	方法1	方法2
A発電所	全面7.1	1次系制御・電動弁点検 JST開連作業、MSIV点検、PLRアダプタ点検	空気汚染 (Bq/cm^3) : 1×10^{-5} ~ 1×10^{-4} 表面汚染 (Bq/cm^2) : $1 \sim 40$			750	0	0	0	0	0	0	1	7.1を両手で握り息を吸い込み、空気の吸入がいい事を確認	0	0	0	0
B発電所	全面7.1		4×10^{-4} ~ 4×10^{-3} (Bq/cm^3)	-		1400				100	1		1	1.陰圧試験法	1.リードピース、専用空脱	伝声板内蔵		
C発電所	全面7.1	RPV開放作業	運用基準、空気汚染 > 8×10^{-6} (Bq/cm^3)		50	1200				1300	0		1	7.1が装置により定期的に気密性を確認。7.1は着用時、各自が7.1をしていることを確認するよう指導	1		伝声器使用	
D発電所	全面7.1		$2 \times 4 \times 10^{-5}$										1	7.1は状況に応じて使用	1		専用脚錠可	なし
E発電所	全面7.1	原子炉本体7.1除染、原子炉容器-1次清大廻り-1次系大型ソリ定期	空気汚染 (Bq/cm^3) : 7×10^{-5} ~ 10^{-4} 、 7×10^{-5} ~ 10^{-4} 表面汚染 (Bq/cm^2) : $4 \sim 40$	200(管理上の防護係数)	390(運転中)	100(運転中)							0	7.1は入所時にマスク等装置着用訓練と実施。着用時はマスクによる陰圧試験。頭部用時は着用マスクにて陰圧試験	1		なし	
F発電所	全面7.1	大型ポンプ等の分解点検作業	空気中濃度: 1.0×10^{-4} ~ 1.0×10^{-3} (Bq/cm^3)(適用範)		1000~3000	450				50	0		1	陰圧試験法	0		マスク本体の伝声板で通話	
G発電所	全面7.1	キビテ除染他	空気中濃度: 1×10^{-6} (Bq/cm^3) ~ 1×10^{-5} (Bq/cm^3)		500					300	0		1	陰圧試験	1.7.1専用頭部を貸与	伝声器付	無線付	
H発電所	全面7.1	S/C/M/H開放・復旧作業	0.1M以上耐火構造:半面又全面、ドア、ドアノック、紙膜、ゴム手袋、靴下、綿手、汚染区域用靴下、綿手、専用工具用靴下、頭部	なし	800					300	0		1	吸気口を手で塞ぎ、空気漏れの確認	1.専用マスク使用(30個)、1.本人の服装使用	伝声板付	伝声板付	
I発電所	全面7.1	全面7.1除染	0.1M以上耐火構造:半面又全面、ドア、ドアノック、紙膜、ゴム手袋、靴下、綿手、汚染区域用靴下、綿手、専用工具用靴下、頭部	なし	500					160	0.1~4		1	マスク等の着用確認	0	0	0.1.伝声板付(5箇)・伝声板付(全設)	
J発電所	全面7.1	CRD取り外し、ネオカル清掃、原子炉開放	7×10^{-5} ~ 4×10^{-4} (Bq/cm^3)、 7×10^{-4} ~ $40\text{Bq}/\text{cm}^2$		50	2,600				400	0		1	各着用者が7.1を押された状態で息を吸い込みができないか確認する	各協力企業において準備するよう指導		伝声板付マスク	
K発電所	全面7.1		7×10^{-5} ~ 4×10^{-4} (Bq/cm^3)、 7×10^{-4} ~ $40\text{Bq}/\text{cm}^2$			1,100				17.1相当	1		1	陰圧試験	0		伝声板	
L発電所	全面7.1	ポンプタンク点検、D/S7.1除染	7×10^{-5} ~ 4×10^{-4} (Bq/cm^3)、 7×10^{-4} ~ $40\text{Bq}/\text{cm}^2$ 水漏れ	補助効率98%以上	3,000					200	0		1	特になし	伝声板付			
M施設	全面7.1	塗装7.1除染作業	$\alpha: 6.4 \times 10^{-6}$ (Bq/cm^3) ~ 6.4×10^{-5} (Bq/cm^3)、 $\beta: 4.0 \times 10^{-3}$ ~ 4.0×10^{-2} (Bq/cm^3)		100	200				150	0		1	陰圧試験法	1.作業専用の頭部貸与	必要に応じ会話装置付マスク又は無線機		
N発電所	全面7.1	燃料交換換点検、蒸気送し安全弁分離点検、RCP分解点検	4×10^{-4} (Bq/cm^3) ~ 4×10^{-3} (Bq/cm^3)		100	450				0	0		1	全て伝声板付マスクを使用				
O発電所	全面7.1	なし	4×10^{-4} (Bq/cm^3) ~ 4×10^{-3} (Bq/cm^3)		1000以上	200				100	0		1	マスクに取付る専用頭部を貸す(専用のもののみ)	伝声板付マスク使用			
P施設	全面7.1	NaFヘッド入替、遮光機操作体、ハンドルレバ分解	科技術省告示第30号別表第1及び別表第2に示す濃度限度の80倍		100	117				92(緊急用172)	1		1	使用時:陰圧法	伝声板付マスクを各員で用意	伝声板付マスクを使用		
Q施設	全面7.1	工事設備、機器のリフティング等の搬入を監督して荷役コントロールが必要な作業	DAC×80		100	300				100(作業の都度貸す)	1		1	使用時:陰圧法で確認	1.専用マスクを貸す	必要に応じて無線機の使用	必要に応じて無線機の使用	
R施設	全面7.1	特別な作業のみ使用(解体、撤去作業等)	6.4×10^{-6}		100	17				0			1	陰圧法	専用頭部使用可、但し放題で仕事行けなし	両端付け	電静板等	
S発電所	全面7.1	燃料取り替え機点検	$> 4 \times 10^{-4}$ (Bq/cm^3)		50	1,000				300	0		1	着用時に7.1吸気口を手で塞ぎ、漏れがないことを確認	1.外寸が大きくなりが着用できない時は、マスク用頭部を貸す	伝声板付マスク		
T発電所	全面7.1	制御駆動機構取外し、受け付け分解点検	$> 4 \times 10^{-4}$ (Bq/cm^3)		50	1,000				300	0		1	着用時に7.1吸気口を手で塞ぎ、漏れがないことを確認	1.外寸が大きくなりが着用できない時は、マスク用頭部を貸す	伝声板付マスク		
U発電所	全面7.1	原子炉圧力容器超定検	4×10^{-4} (Bq/cm^3) 以上 ~ 4×10^{-3} (Bq/cm^3)水漏れ		50	1,600				50	0		1	7.1部給気口を手で押さえ、空気が入らないことを確認	1.広角レンズマスクのみ使用可	通常の会話と同じ特殊な機器等の使用はない		
V発電所	全面7.1	原子炉圧力容器超定検	4×10^{-4} (Bq/cm^3) 以上 ~ 4×10^{-3} (Bq/cm^3)水漏れ		50	1,600				50	0		1	7.1部給気口を手で押さえ、空気が入らないことを確認	1.広角レンズマスクのみ使用可	通常の会話と同じ特殊な機器等の使用はない		
W施設	全面7.1	隔山第2段コンフレイド保守点検	$\alpha: 1 \times 10^{-5}$ (Bq/cm^3)、 $\beta: 1 \times 10^{-4}$ (Bq/cm^3)		100	50				使用の都度貸し出し			1	マスク着用者自身が7.1着用後、空気の流れ込みを確認	1.マスク等を用いた通話・通信なし			
X研究所	全面7.1	土壌調査作業	DAC : $1 \sim 10$ 、 $\alpha : 0.4 \sim 1\text{Bq}/\text{cm}^2$ $\beta : 1 \sim 10\text{Bq}/\text{cm}^2$		50	70				30	1	1.6	0	陰圧法	0	無効通話装設		
Y研究所	全面7.1	非活性FR等の取扱、排気7.1交換、内部作業者の防護、直着脱、除染後の内作業	DAC : $1 \sim 10$ 、 $\alpha : 0.4 \sim 1\text{Bq}/\text{cm}^2$ $\beta : 1 \sim 10\text{Bq}/\text{cm}^2$		50	20				20	1	2	1	マスクランチ等	作業者の視力に合わせて内声	専用社声アン		

施設名	品名	代表的な作業	着用基準(限度)		防護手数	所有数				使用(着用)時間		被着時の2つ)は試験		個別使用 可否	個別の使用条件	通常・着信		
			着用基準1			能保有数1	能保有数2	能保有数3	能保有数4 (個)	着用時間 有無	時間	方法						
			能保有数1	能保有数2		能保有数3	能保有数4	能保有数4	能保有数4			7つ	6	1	3	0	0	
A発電所	電動ファン式 キビテ除染	空気汚染(Bq/cm ³) : 1×10 ⁻⁵ ~ 1×10 ⁻⁴ 表面汚染(Bq/cm ²) : 4 ~ 40				1~71160	7~1~200			0	6	1	3	1	0	0	0	
B発電所	電動ファン式 PRVヘッド取付け作業、CUEボンブ分解点検	4×10 ⁻⁵ ~ 4×10 ⁻⁴ (Bq/cm ³) 適用基準、空気汚染>8×10 ⁻⁶ (Bq/cm ³)			150						1	2	0		1			
C発電所	電動ファン式 原子炉系弁点検、CRD起動作業				1000	270				270	1	3	0	2	0			
D発電所	電動ファン式	≥4×10 ⁵								作業状況に 応じて使用	0			1	専用服装可	なし		
E発電所	電動ファン式 原子炉内ビニル除染、原子炉容器定期検査	空気汚染(Bq/cm ³) : 7~110 ⁻⁵ ~10 ⁻⁴ 表面汚染(Bq/cm ²) : 4~40	200(管理上の 防護最低値)	40	40				40	1~2(1~7) 容量で限 度)	1	1	1	なし	なし			
F発電所	電動ファン式 大型タンク等の分解点検作業	空気中濃度: 1.0×10 ⁻⁴ ~ 1.0× 10 ⁻³ Bq/cm ³ (適用値)	3000	90					0	1	5		1	陰圧試験法	0	アラート本体の伝声板で 通過		
G発電所	電動ファン式 キビテ除染他	空気中濃度: 4×10 ⁻⁶ Bq/cm ³ ~ 4 ×10 ⁻⁵ Bq/cm ³		60					60	1	1	1	1	防圧試験	1	アラート式は無線で 1式使用可能		
H発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I発電所	電動ファン式 防護具除染作業	0.1m以上10m未満		30					0	1	0	0	0		0	0	0	
J発電所	電動ファン式 CRD分解点検、弁點検接手入、MSIV点 接手入(弁内部を除く)	7~1~4×10 ³ Bq/cm ² 7~1~4×10 ² Bq/cm ²	60	1,200					300	0	0	0	1	個人の物を使用		特になし		
K発電所	電動ファン式			900					898	1	3	1	1	ANN機能付	1			
L発電所	電動ファン式 弁点検、シップ分解点検	空気汚染: 4×10 ⁻³ ~ 4×10 ⁻⁴ Bq/cm ³ 未満、表面汚染: 4~ 10Bq/cm ² 未満	精粧効率98% 以上	1,200						1	3	0	1	竹になし				
M施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O施設	電動ファン式 なし	必要に応じて	1000以上	10					10	1	3	0	1	アラート式なので使用条 件満足				
P施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Q施設	電動ファン式	DAC×800		1000	0					1	1	0	1	なし				
W施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	電動ファン式 セル内除染作業	「加圧7~1~7」PAC: l~10, α: 0.4 ~4Bq/cm ² , β: 4~10Bq/cm ² DAC: l~10, α: 0.4~4Bq/cm ² , β: ~40Bq/cm ²	1目終式7~1~7PAC: 10~ 加圧7~1~7: 50, 自始式→7~1~ 2: 1000	50					49	1	1.5	0	1	無線通話装置				
Y研究所	電動ファン式 セル内作業			1000	12				12	0	3	0	1	防熱バンド* 使用		同時通話方式の無線 式		
R施設	電動ファン式 特に作業での使用はない。異常時の 取扱い時時に使用する時有り	6.4×10 ⁻⁵		1000	7				6				1	1.使用時間 は作業効 率、作業状 況により協 議(原則)	電源検証、7つ等の確認、空気漏れ等 確認	1	特になし アリ	3ビード
S発電所	電動ファン式	24×10 ⁻⁴ Bq/cm ³		50	100				20	1	3	0	1					
T発電所	電動ファン式 原子炉圧力容器、開故閉鎖作業	24×10 ⁻⁴ Bq/cm ³		50	100				20	1	3	0	1			通常の会話と同じ特 殊な機器等の使用は ない		
U発電所	電動ファン式	4×10 ⁻⁴ Bq/cm ³ 以上~4×10 ⁻³ Bq/cm ³ 未満		50	90					通常配備 せず	1	3	0	1			通常の会話と同じ特 殊な機器等の使用は ない	
V発電所	電動ファン式	4×10 ⁻⁴ Bq/cm ³ 以上~4×10 ⁻³ Bq/cm ³ 未満		50	90					通常配備 せず	1	3	0	1			通常の会話と同じ特 殊な機器等の使用は ない	

施設名称	品名	代表的な作業	着用基準(当面)		防護係数	着用基材				使用(耐用)時間		着用時のマスク状態		限界使用	通話・通信		
			着用基準1	着用基準2		純保有量1	純保有量2	純保有量3	純保有量4	有効	時間	方法	可否	認知の使用条件	方法1	方法2	
A発電所	半面 ²³³	R/V上蓋開放・復旧	空気汚染(Bq/cm ³) : 1×10^{-5} ~ 1×10^{-4}	表面汚染(Bq/cm ²) : $4 \sim 40$	-	2500	0	0	0	0	0	マスクを手元で蒸き息を吸い込み、空気の吸入がない事を確認	0	0	0	0	
B発電所	半面 ²³³	原子燃料搬送工事、CRD脱着開連工事	$4 \times 10^{-5} \sim 4 \times 10^{-4}$ (Bq/cm ³)	-	-	100	-	-	100	1	-	マスク着用時、各自がマスクしていることを確認する上う指導	1	-	伝声板内蔵	-	
C発電所	半面 ²³³	CRD分解点検、復水器落灰點点検	-	-	10	250	-	-	250	0	-	-	-	-	-	-	
D発電所	半面 ²³³	使用実績なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E発電所	半面 ²³³	原半炉外 ²³³ 作業、RCF ²³³ 内部・燃料取扱作業、炉内中性子重聯設置 ²³³ 、1次系大型 ²³³ 、2次機、一般炉分解点検、燃料移送工事	空気汚染(Bq/cm ³) : 7×10^{-5} ~ 10^{-4} 、表面汚染(Bq/cm ²) : $4 \sim 40$	200(管理上の許容値)	1040	-	-	-	-	-	-	発電所入所時にマスク ²³³ 装着確認 ²³³ 手洗い実施。装着時はマスクによる隠匿 ²³³ 実施	1なし	なし	なし	-	
F発電所	半面 ²³³	弁等の分解点検作業	空気中濃度: $4 \times 10^{-5} \sim 1.0 \times 10^{-3}$ Bq/cm ³ (適用値)	-	100~300	1100	-	-	150	0	-	マスク性能試験法	1個人の認知	マスク本体の伝声板で通話	-	-	
G発電所	半面 ²³³	RCF点検他	空気中濃度: 4×10^{-5} Bq/cm ³ ~ 1×10^{-6} Bq/cm ³	-	-	2700	-	-	1100	0	-	防圧試験	1	伝声器付	無線付	-	
H発電所	半面 ²³³	ボンプ分解点検	0.1MBq以上未満: 半面又全面、 α : 4×10^{-5} Bq/cm ³ 、紙団、 β : 手1枚、靴下、靴、手袋、汚染区域用靴下、換氣	-	なし	2000	-	-	1200	0	-	換気口を手で塞ぎ、空気漏れの確認	1本人の認知使用	伝声板付	-	-	
I発電所	半面 ²³³	一般的な汚染作業	-0.1MBq未満(必要に応じ)-0.1MBq以上未満(必要に応じ)	-	-	1,900	-	-	600	0	0	マスク性能試験	1	0	0	0	
J発電所	半面 ²³³	作業性により全面 ²³³ 等の着用が困難な場合に選用(燃料移動等で双眼鏡を使用する物等)	γ : $1 \times 10^{-5} \sim 4 \times 10^{-4}$ Bq/cm ³ 、 α : $4 \times 10^{-5} \sim 10$ Bq/cm ²	-	10	100	-	-	-	-	-	各装置者がマスクを押された状態で危険を察しないか確認する	1個人の物を使用	伝声板付マスク	-	-	
K発電所	半面 ²³³	-	γ : $4 \times 10^{-5} \sim 4 \times 10^{-4}$ Bq/cm ³ 、 α : 4×10^{-4} Bq/cm ²	-	-	1,500	-	-	17シート当たり50	1	-	防圧試験	1	伝声板	-	-	
L発電所	半面 ²³³	使用していない	空気汚染: $4 \times 10^{-5} \sim 4 \times 10^{-4}$ Bq/cm ³ 未満、表面汚染: α : 4×10^{-5} Bq/cm ² 未満	-	-	100	-	-	常備配備せず(0)	0	0	-	特になし	-	-	-	-
M施設	半面 ²³³	魔晄設備計測機器	α : $< 6.5 \times 10^{-5}$ Bq/cm ³ 、 β : $< 4.0 \times 10^{-3}$ Bq/cm ² 未満	-	10	500	-	-	300	0	-	防圧試験法	1	必要に応じ無線機	-	-	
N発電所	半面 ²³³	タービン分解点検、その他弁類等分解点検	α : 4×10^{-5} Bq/cm ³ ~ 4×10^{-4} Bq/cm ³	-	10	850	-	-	0	0	-	伝声板付マスクを一部採用	1	-	-	-	
O発電所	半面 ²³³	中性子筋取り出し作業	α : 4×10^{-5} Bq/cm ³ ~ 4×10^{-4} Bq/cm ³	-	100	400	-	-	300	0	0	-	なし	伝声板付マスク使用	-	-	
P施設	半面 ²³³	半面 ²³³	科科庁告示第20号別表第11及び別紙に示す濃度限度の8倍	-	10	470	-	-	440(緊急用)76	1	-	貸出時:マスク付、使用時:防圧法	なし	なし	-	-	
Q施設	半面 ²³³	ダーピー交換作業(ダーピー ²³³ ダーピー交換)	DAC×8	-	10	2000	-	-	1,200	0	-	個人配布時マスク付、装着時:防圧法	なし	-	-	-	
R施設	半面 ²³³	ハーフシールド作業、 γ 射交換	6.4×10^{-7}	-	10	1,300	-	-	1,100	0	-	空気中濃度の閾値で使用時間制限すること有り	1防圧法	1特になし	特になし	-	
S発電所	半面 ²³³	弁分解点検	$> 4 \times 10^{-5}$ Bq/cm ³	-	10	1,300	-	-	400	0	-	着用時にマスク吸込口を手で塞ぎ、漏れの有無について確認	1	伝声板付	-	-	
T発電所	半面 ²³³	弁分解点検	$> 4 \times 10^{-5}$ Bq/cm ³	-	10	1,300	-	-	400	0	-	着用時にマスク吸込口を手で塞ぎ、漏れの有無について確認	1	伝声板付	-	-	
U発電所	半面 ²³³	原子炉圧力容器定検	4×10^{-5} Bq/cm ³ 以上 ~ 4×10^{-4} Bq/cm ³ 未満	-	10	3,200	-	-	50	0	-	マスク吸込口を手で押さえ、空気が入らないことを確認	1なし	-	操作の全括と同じ特種な機器等の使用はない。	-	
V発電所	半面 ²³³	原子炉圧力容器定検	4×10^{-5} Bq/cm ³ 以上 ~ 4×10^{-4} Bq/cm ³ 未満	-	10	3,200	-	-	50	0	-	マスク吸込口を手で押さえ、空気が入らないことを確認	1なし	-	通常の会話と同じ特種な機器等の使用はない。	-	
W施設	半面 ²³³	魔蟲第1戻シアリヤ保守点検	α : 1×10^{-6} Bq/cm ³ 、 β : 1×10^{-5} Bq/cm ³	-	10	250	-	-	使用の密度算出し	0	-	マスク着用者自身がマスク着用後、空気の流れ込みを確認	1なし	マスク等を用いた通話・通信なし	-	-	
X研究所	半面 ²³³	照射試料搬出入作業	DAC: c_1 、 α : < 0.4 Bq/cm ² 、 β : < 48 Bq/cm ²	-	10	60	-	-	40	1	1.5	0防圧法	1	-	-	-	
Y研究所	半面 ²³³	非密封RJ等の取扱、排気 ²³³ 交換、セイ内住基者の防護、重石版	DAC: c_1 、 α : < 0.4 Bq/cm ² 、 β : < 48 Bq/cm ²	-	10	20	-	-	20	1	-	1防圧法	1	山内	-	-	

施設名	品名	発生基材				磨耗方法				リサイクルの実施基準				除染基準				除染方法				
		有無	性能	外観	その他	焼却処理	圧縮処理	粉碎処理	その他	有無	期日管理	差圧管理	汚染レベル管理	その他	有無	排出限界以上	その他	設備有無	設備名1	設備名2	除染用	
A発生所	エチレン樹脂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
B発生所	エチレン樹脂	1	1	1	0	0	1	0	0	-	-	-	-	1	1	0	1	1	0	0	0	
C発生所	エチレン樹脂	使用実績無															0	1	0	0	97%	
D発生所	エチレン樹脂	使用実績無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E発生所	エチレン樹脂	1	0	1	0	1	0	0	0	-	-	-	-	1	0.4Bq/cm ² 以下(目標値)	0	0	0	0	0	0	
F発生所	エチレン樹脂	1	1	1	内 0M: >1Bq/cm ² , 外 1M: >4Bq/cm ²					不燃物処理	-	-	-	-	1	面体: 使用した物は全て除染, 汚染部位固定を行なう, その結果、発癌基準以上なら再処理, 開封を実施, 更に基準値以上は隔離	0	0	0	0	0	0
G施設	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
H発生所	エチレン樹脂	1	1	1	0	1	1	0	0	-	-	-	-	1	0 使用の都度: 4 × 10 ⁻³ Bq/cm ² 以上	0	0	0	0	0	0	
I発生所	エチレン樹脂	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
J発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L発生所	エチレン樹脂	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M施設	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P施設	エチレン樹脂	1	1	1	0	1	0	0	不燃ドライ缶	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
Q施設	エチレン樹脂	1	0	1	汚染廃棄	0	1	0	0	-	-	-	-	1	1	0	0	0	0	0	0	中性洗剤
R施設	エチレン樹脂	1	1	1	0	0	0	0	全作業終了後に廃棄して いる	-	-	-	-	1	1	0	0	0	0	0	0	
S発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	
U発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
V発生所	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
W施設	エチレン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	エチレン樹脂	1	1	1	汚染	0	1	0	0	-	-	-	-	1	1	0	0	0	0	0	0	
Y研究所	エチレン樹脂	1	1	1	材料の劣化	0	1	0	0	-	-	-	-	1	0 使用の都度	0	0	0	0	0	0	

施設名	品名	所持基準				汚染方法				ワイルの交換基準				除染基準				除染方法				設備名1	設備名2	除染剤		
		有無	性能	外観	その他	拭却処理	圧縮処理	粉碎処理	その他	有無	期間管理	蒸圧管理	汚染レベル管理	その他	有無	横出限界以上	汚染レベル	その他	設備有無	設備名1	設備名2	除染剤				
A発電所	全面マスク	1	1	1	除染基準を組えた場合	0	0	0	不燃物としてドライ保管	1	0	0	1	汚染がある場合 自殺による汚れ	1	1			0	0	0	0	ケミクリーン(除染室内)			
B発電所	全面マスク	1	1	1		0	0	1	0	0	1	1	1	1	1			0	1	除染シート	17'					
C発電所	全面マスク	1	1	1	汚染密度	1	0	0		0	1	0	1	1	外観	1	内面吸け	外面1000cpm		0			エターネル			
D発電所	全面マスク	1	1	1	汚染レベル	1	0	0		0	1	0	1	1	0	1	1		0	1	シント					
E発電所	全面マスク	1	機能検査	菌度	1	0	1	不燃部分	0		0	1	1	0	1	0	1	0.4Bq/cm ² 以下(目標値)		0		エターネル				
F発電所	全面マスク	1			汚染密度(内側>1Bq/cm ² 、外側>4Bq/cm ²)	1	ダスト用ツイ		不燃物処理	1	0	0	1	1	1	0	1	面体:使用した物は全て除染、汚染密度測定を行う。その結果、標準基準以上なら再除染、測定を実施。更に基準値以上は廃棄		0		エターネル				
G発電所	全面マスク	1	1	1	汚染	0	0	1		0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	マスク除染装置					
H発電所	全面マスク	1	1	1		0	1	1	0		0	1	-	0	1	16回使用で貯物	0	0	使用の頻度:4×10 ⁻¹ Bq/cm ² 以上	1	防護マスク除染装置	エターネル				
I発電所	全面マスク	1	1	1		0	1	0	0		0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	6	-741トーブリーチ				
J発電所	全面マスク	1	1	1	汚染レベル	1	0	0		0	0	0	0	1	1	0	0	0.37~37Bq/cm ² (即汚染レベルによる直接測定)		0		エターネル				
K発電所	全面マスク	1	1	1		0	1	0	0		1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	マスク除染シート	乾燥器	トナーピー			
L発電所	全面マスク	1	1	1		0	1	0	0		0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0					
M施設	全面マスク	1	1	1		0	0	1	0		0	1	0	0	1	0	1	1		0						
N発電所	全面マスク	1	0	1	1点検1回/年実施	0	0	0	1マスク、BOXパケット詰	1	ダスト用ツイ	0	ダスト用	0	1	0	汚染の有無									
O発電所	全面マスク	1	0	0	汚染	0	0	0	そのままドミ詰	1	0	1	1	0	1	1		0	0	0	0					
P施設	全面マスク	1	0	1		1	1	0	不燃ドライ缶	1	1	1	1	1	0	0		0	0	0	0					
Q施設	全面マスク	1	0	1	汚染廃棄	0	1	0		0	1	1	0	1	0	1	1		0	0	0	手洗設備を利用	中性洗剤			
R施設	全面マスク	1	0	1		0	0	0	放射性懸念物として処分	1	0	0	1	1	現場間で使用した物は全て廃棄	0	0		0	0	0					
S発電所	全面マスク	1	1	1		0	0	0	現在は不燃物放射性廃棄物として保管	1	0	1	1	0	1		0	0	0	0	0					
T発電所	全面マスク	1	1	1		0	0	0	現在は不燃物放射性廃棄物として保管	1	0	1	1	0	1		0	0	0	0	0					
U発電所	全面マスク	1	0	1	除染後GHE-1メータ3kcpm以上の汚染がある物	0	0	0	不燃物処理	1	0	0	1	0	1	0	GHE-1メータで内側:100cpm以下、外側:500cpm	0			エターネル					
V発電所	全面マスク	1	0	1	除染後GHE-1メータ3kcpm以上の汚染がある物	0	0	0	不燃物処理	1	0	0	1	0	1	0	GHE-1メータで内側:100cpm以下、外側:500cpm	0			エターネル					
W施設	全面マスク	1	0	1		0	0	0	放射性固体廃棄物として保管廃棄	1	1	0	1	0	1	0	社内基準<0.4Bq/cm ²	0			Jカート					
X研究所	全面マスク	1	1	1	汚染	0	1	0		0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0					
Y研究所	全面マスク	1	0	1	ゴムの劣化、吸排気弁の劣化	0	1	0		0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0					

施設名称	品名	廃棄基準				廃棄方法				ワードの交換基準				除染基準				処理方法				設備名1	設備名2	除染剤
		有無	性能	外観	その他	焼却処理	圧縮処理	粉砕処理	その他	有無	期間管理	荷重管理	汚染レベル管理	その他	有無	積出限界以内	その他	設備有無	設備名1	設備名2				
A発電所	電動ファン式	1	1	1	放射基準を超えた場合ワードのみ	0	0	不燃物としてドム缶保管	1	0	0	1	汚染がある場合は目視による汚染	1	1	1	但し、ワードは燃焼で	0	0	0	0	0	0	カエトワバー(除染室内)
B発電所	電動ファン式	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
C発電所	電動ファン式	1	0	1	汚染密度	1	0	0	0	0	1	0	0	1	外観	内面及び	外面1000cpm	0	0	0	0	0	0	エターナル
D発電所	電動ファン式	1	1	1	汚染レベル	ワード、ホース	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	シート	水洗脱水機(ワード面体)			
E発電所	電動ファン式	1	1	1	不燃定検	0	1	不燃部分	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0.4Bq/cm ² 以下(目標値)	0	0	0	0	0	エターナル
F発電所	電動ファン式	1	1	1	汚染密度(内側:10Bq/cm ² 、外側:4Bq/cm ²)																			エターナル
G発電所	電動ファン式	1	1	1	汚染	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	無水ストリーム
H発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I発電所	電動ファン式	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	・ライダーブルート
J発電所	電動ファン式	1	1	1	汚染レベル	送気ネット部除く	0	0	送気ネット部ドム缶詰め	0	0	1	0	1	0	1	0.37~37Bq/cm ² (GM汚染レベル)による直接測定(変形、破損)	0	0	0	0	0	エチゲンホールム	
K発電所	電動ファン式	1	1	1	0	面体	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	ラジオゾーン
L発電所	電動ファン式	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
M施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O発電所	電動ファン式	1	0	0	汚染	0	0	0	そのままで保管	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	
P施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Q施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
W施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	電動ファン式	1	1	1	汚染	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
Y研究所	電動ファン式	1	1	1	素材の劣化、ゴミの不良	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
Z施設	電動ファン式(ハウジング)	1	1	1	一般として焼却	0	0	0	現場で使用し、汚染が付着した場合は放射性で貯蔵	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0		
S発電所	電動ファン式(ハウジング)	1	1	1	0	0	0	0	現在は不燃物放射性廃棄物として保管	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
T発電所	電動ファン式(ハウジング)	1	1	1	0	0	0	0	現在は不燃物放射性廃棄物として保管	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
U発電所	電動ファン式(ハウジング)	1	0	1	1	1	0	0	ワードについては使用の部度削減	0	0	0	0	0	1	0	1	0	GMペーパーノートで内側:100cpm以下、外側:500cpm	0	0	0		
V発電所	電動ファン式(ハウジング)	1	0	1	1	1	0	0	ワードについては使用の部度削減	0	0	0	0	0	1	0	1	0	GMペーパーノートで内側:100cpm以下、外側:500cpm	0	0	0		

施設名	品名	汚染基準			廃棄方法			7/16の交換基準			汚染基準			汚染方法			設備名1	設備名2	除染剤			
		有無	性能	外観	その他	焼却処理	圧縮処理	粉砕処理	その他	有無	期間管理	在庫管理	汚染レベル管理	その他	有無	除出履歴以降	汚染レベル	その他				
A発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	0	0	0	不燃物としてドリム保管	1	0	0	1	汚染がある場合	1	1	0	0	0	ウエットバー(除染室内)
B発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	汚染による汚れ確認	1	1	0	1	1	マグ*
C発電所	半面マスク	1	0	0	汚染密度	1	0	0	0	0	1	0	0	1	外観	1	内面だけ	外面1000cpm	0	-	マグネット	
D発電所	半面マスク	-	-	-	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
E発電所	半面マスク	1	機能検査	1	表面	0	1	1	不燃部分	0	0	1	1	0	1	0	0.1Bq/cm ² 以下(目標値)	0	-	マグネット		
F発電所	半面マスク	1	汚染密度(内側>1Bq/cm ² 、外側>1Bq/cm ²)	1	3M社用7442	0	1	1	不燃部分	0	1	1	0	1	1	1	面体:使用した物は全て除染、汚染密度測定を行う。その結果、汚染基準以上なら再除染、測定を実施。更に基準以上は隔離	0	-	マグネット		
G発電所	半面マスク	1	1	1	汚染	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	マグネット除染装置	-	-		
H発電所	半面マスク	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	15回使用で取替	1	0	使用の密度:4×10 ⁻¹ Bq/cm ² 以上	1	防護マスク除菌装置	
I発電所	半面マスク	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	マグネットクリーナー	
J発電所	半面マスク	1	1	1	汚染レベル	1	0	0	0	0	0	0	0	1	通気抵抗、織糸効率、目視(変形、破損)による直感測定	1	0.37~37Bq/cm ² (G1汚染マスク)による直感測定	0	-	マグネットクリーナー		
K発電所	半面マスク	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	マグネットクリーナー	乾燥器	マグネット		
L発電所	半面マスク	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0		
M施設	半面マスク	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0		
N発電所	半面マスク	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0		
O施設	半面マスク	1	0	0	汚染	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0		
P施設	半面マスク	1	0	1	1	1	1	0	不燃ドリム缶	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
Q施設	半面マスク	1	0	1	汚染度測定	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
R施設	半面マスク	1	0	1	0	0	0	0	放射性難燃物として区分	1	0	0	1	現場側で使用した物は全て難燃	0	0	0	0	0	0		
S発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	物として保管	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0		
T発電所	半面マスク	1	1	1	0	0	0	0	物として保管	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0		
U発電所	半面マスク	1	0	1	1	1	1	1	既設在GM-1ノード3kcpm以上の汚染がある物	0	0	0	1	0	1	0	GM-1ノード内側:100cpm以下、外側:500cpm	0	-	マグネット		
V発電所	半面マスク	1	0	1	1	1	1	0	既設在GM-1ノード3kcpm以上の汚染がある物	0	0	0	1	0	1	0	GM-1ノード内側:100cpm以下、外側:500cpm	0	-	マグネット		
W施設	半面マスク	1	0	1	0	0	0	0	放射性固体亮葉物として保管	1	1	0	1	0	1	0	柱内基準<0.4Bq/cm ²	0	-	マグネット		
X研究所	半面マスク	1	0	1	汚染	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
Y研究所	半面マスク	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0		

4. 保管管理

(1) 呼吸用保護具

施設名称	品名	洗浄対象	洗淨設備								洗浄サイクル		洗浄後の消毒方法		洗浄実施体制				
			専用	汎用	無	水洗	トライ	清拭	その他	洗浄剤	処理量(個/日)	その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	(人)	その他
A発電所	エアラインスーグ		0	0	0	1	0	0	1		0		0	0	0	0	0	0	0
B発電所	エアラインスーグ		1	1	0	0	0	0	1	手洗い サーフ		使用実績無し	1	0	1	消毒用エタノール	1		0
C発電所	エアラインスーグ	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D発電所	エアラインスーグ	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F発電所	エアラインスーグ		1	0	0	1	0	0	1	0	最大40		1	0	1	清拭:7ムコール	1	最大6	0
G発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
H発電所	エアラインスーグ		1	0	0	1	0	0	1	0	エタノール		0	1	0	0	1	10	0
I発電所	エアラインスーグ		1	0	1	0	0	0	1	0	アルコール		0	0	1	アルコール	1	28	0
J発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L発電所	エアラインスーグ	保有せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M施設	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O発電所	エアラインスーグ	保有せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P施設	エアラインスーグ		0	0	0	0	0	0	0	0	0								
Q施設	エアラインスーグ		1	0	1	0	1	0	0	0		使用の都度作業担当 課で水洗浄	1	0	0	0	0	0	
R施設	エアラインスーグ		0	0	0	1	0	0	0	0			1	0	0	0	0	0	
S発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
U発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
V発電所	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
W施設	エアラインスーグ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	エアラインスーグ		1	0	0	0	0	0	1	0			1	0	1	7ムコール	0	使用者	
Y研究所	エアラインスーグ		1	0	0	1	0	0	1	0	洗剤、水			1	0	0	0	0	使用者
E発電所	エアライント		1	0	0	1	0	0	1	0	水、エタノール		40	0	1	1	エタノール	1	最大2: 平面、エア ライン合せ て

施設名称	品名	洗浄対象	洗浄設備								洗浄サイクル			洗浄後の消毒方法		洗浄実施体制				
			設備		洗浄方式						その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	(人)	要員数		
			専用	汎用	無	水洗	トライ	清拭	その他	洗浄剤										
A発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1	0	カットリバーアルコール	全面に含む	7-トドは使捨て	1	0	0	0	1	3	
B発電所	エラインマスク		1	1	0	0	0	0	1	手洗い	ナノ			1	0	1	消毒用エタノール	1	0	
C発電所	エラインマスク		1	0	0	1	1	0	1	0	エタノール	面体洗浄は全面に含む		1	0	1		定検:6、通常2		
D発電所	エラインマスク		1	0	1	0	1	0	1	0				1	0	1	エタノール	1	0	
E発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1	0	水、エタノール		30	0	1	0	1	エタノール	1で	
F発電所	エラインマスク	保有せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
G発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1	0				1	0	0		1	5	
H発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1	0	エタノール	184/Y:1		1	0	0		1	10	
I発電所	エラインマスク		1	0	1	0	1	0	1	0	・ソーラークリーナー		50	0	1	汚染していないものは使用毎に消毒のみ実施	1・アルコール	1	25	
J発電所	エラインマスク		0	0	0	0	0	0	1	0		返却時、借用者が除染して返却								
L発電所	エラインマスク		0	0	0	0	0	0	0	0		作業方にて使用後除染実施								
M施設	エラインマスク		1	0	1	0	1	0	0	0		10		1	0	0	75%アルコール	0	着用者実施	
N発電所	エラインマスク		1	1	0	0	1	0	0	0	未使用	全面マスクに準じる			1	0	1	市販の消毒用アルコール	1	2
O発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1	0			実績無し	1	0	0	エタノール	1	5	
P施設	エラインマスク		0	0	0	1	0	0	1	0				1	0	0	エタノール:水(1:1)	0	0	
Q施設	エラインマスク		1	0	1	0	1	0	0	0				1	0	0	使用の都度作業担当1課で水洗浄	0	0	
R施設	エラインマスク		1	0	0	1	1	0	0	0	75%アルコール+水		使用の都度	1	0	0		0	使用の都度	
S発電所	エラインマスク		1	0	1	0	1	0	1	0	中性洗剤	～100		1	0	1	エタノール	0	シングル作業の一部として実施している。専従の要員はない	
T発電所	エラインマスク		1	0	1	0	1	0	1	0	中性洗剤	～100		1	0	1	エタノール	0	シングル作業の一部として実施している。専従の要員はない	
U発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1					1	0	1	エタノール	1	2	
V発電所	エラインマスク		1	0	0	1	0	0	1					1	0	1	エタノール	1	2	
W施設	エラインマスク		0																	
X研究所	エラインマスク		1	0	0	0	1	0	1	0	75%アルコール			1	0	1	アルコール	0	使用者	
Y研究所	エラインマスク		-																	
Z発電所	エラインマスク(全面マスクに含む)		1	1	0	0	1	0	0	0	ストアーバー	100		1	面体:使用毎洗浄	1	アルコール	1	2	

施設名称	品名	洗浄対象	洗浄設備									洗浄サイクル		洗浄後の消毒方法		洗浄実施体制					
			設備			洗浄方式						その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	要員数(人)	その他		
A発電所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0	0	ウェットライバー	10	0	1	0	0	1	3	0	
B発電所	全面マスク		1	1	0	0	0	0	0	0	手洗い	タブ		1	0	1	消毒用エタノール	1		0	
C発電所	全面マスク		1	0	0	1	1	0	1	0	エタノール	定検月:200、通常50		1	0	1	エタノール	1	定検:6、 通常2		
D発電所	全面マスク		1	0	1	0	1	0	1	0				1	0	1	エタノール	1		0	
E発電所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0	水、エタノール	最大50	0	1	0	1	エタノール	1	最大2	0	
F発電所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0	エタノール	最大450	1	0	0	1	消毒用アルコール	1	最大6	0	
G発電所	全面マスク		1	1	0	0	1	0	0	0				1	0	1	消毒用アルコール	1	5	0	
H発電所	全面マスク		1	1	0	0	1	0	0	0	なし	1286/Y:4		1	0	1	消毒用エタノール	1	10	0	
I発電所	全面マスク		1	0	1	0	1	0	1	0	・アイソープ・クリーナ		100	0	1		1・アルコール	1	25	0	
J発電所	全面マスク		1	0	0	0	0	0	1	0		アルコール		1	0	1	アルコール	1	4	0	
K発電所	全面マスク		1	1	0	0	1	0	0	0	トスナーソープ		200	1	0	0	1	アルコール	1	2	
L発電所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0	エタノール			1	0	0		1		要員数は全体委託 の中で作業量に応じ その都度変動	
M施設	全面マスク		1	0	1	0	1	0	0	0			60	1	0	0	1	アルコール	0	着用者実態	
N発電所	全面マスク		1	1	0	0	1	0	0	0	未使用	最大100		1	0	1	市販の消毒用 アルコール	1	2	0	
O発電所	全面マスク		1	0	0	1	1	0	0	0	エタノール	実績無し		1	0	0	1	アルコール	1	5	0
P施設	全面マスク		1	0	1	0	1	0	1	0	ホワイト-NL		10	1	回収後	1	エタノール:水 (1:1)	0		0	
Q施設	全面マスク		1	0	1	0	1	0	0	0		使用の都度作業担当 課で水洗浄		1	0	0	1	アルコール	0	使用の都度、作業相 当課で洗浄	
R施設	全面マスク		1	0	0	1	1	0	0	0	アルコール+水	使用の都度		1	0	0	0	0	0	使用の都度各自	
S発電所	全面マスク		1	0	1	0	1	0	1	0	中性洗剤	～100		1	0	1	エタノール	0		シドリ作業の一部と して実施している。 専従の要員はなし	
T発電所	全面マスク		1	0	1	0	1	0	1	0	中性洗剤	～100		1	0	1	エタノール	0		シドリ作業の一部と して実施している。 専従の要員はなし	
U発電所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0				1	0	1	エタノール	1	2		
V発電所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0				1	0	1	エタノール	1	2		
W施設	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0				1	0	1	アルコール	1	3	0	
X研究所	全面マスク		1	0	0	1	1	0	1	0	アルコール			1	0	1	アルコール	0	使用者		
Y研究所	全面マスク		1	0	0	1	0	0	1	0	アルコール			1	0	1	アルコール	0	使用者		

施設名称	品名	洗浄対象	洗浄設備									洗浄サイクル		洗浄後の消毒方法		洗浄実施体制				
			設備			洗浄方式						その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	(人)	要員数	
			専用	汎用	無	水洗	ドライ	消拭	その他	洗浄剤	処理量(個/日)									
A発電所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	全面に含む	コードは便洁て	1	0	0	1	3	0
B発電所	電動ファン式		1	1	0	0	0	0	0	手洗い	#ア*				1	1	0	1	0	
C発電所	電動ファン式		1	0	0	1	1	0	0	0	エタノール	定検月:100、通常0			1	0	1	1	6、 通常2	
D発電所	電動ファン式		1	0	1	0	1	0	1	0					1	0	1	1	0	
E発電所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0	水、エタノール	40		0	1	1	1	2、 最大2		
F発電所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0	最大240				1	0	1	1	6、 最大6	
G発電所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0					1	0	1	1	5	
H発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
I発電所	電動ファン式		1	0	1	0	1	0	1	0	アイソトープクリーナ	50		0	1	1	1	25	0	
J発電所	電動ファン式		1	0	0	0	0	0	1	0					1	0	1	1	4	
K発電所	電動ファン式		1	1	0	0	1	0	0	0	ストアーソーブ	200			1	0	1	1	2	
L発電所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0	ヒビテイン液				1	0	0	1	要員数は全体委託 の中で作業量に応じその都度変動	
M施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
N発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
O発電所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0		保有数10個のため処理考慮せ	10		1	0	1	1	5	
P施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
Q施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
R施設	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	0	キムコール	7%アルコール+水	使用の都度		1	0	0	0	0	使用の都度	
S発電所	電動ファン式		1	0	0	0	0	0	1	0	7%アルコール	~100			1	0	1	0	ラドリ作業の一部として実施している。専従の要員はなし	
T発電所	電動ファン式		1	0	0	0	0	0	1	0	7%アルコール	~100			1	0	1	0	ラドリ作業の一部として実施している。専従の要員はなし	
U発電所	電動ファン式	0																		
V発電所	電動ファン式	0																		
W施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
X研究所	電動ファン式		1	0	0	1	1	0	1	0	7%アルコール	加圧コード:水洗、 消拭、自給式バーフ スク:消拭			1	0	1	0	使用者	
Y研究所	電動ファン式		1	0	0	1	0	0	1	0	7%アルコール				1	0	0	0	使用者	

施設名称	品名	洗浄対象	洗浄設備							その他特記事項	使用毎	洗浄サイクル		洗浄後の消毒		洗浄実施体制			
			専用	汎用	無	水洗	トライ	清拭	その他			その他	有無	方法	消毒剤	外注委託	要員数	(人)	その他
A発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	カエットライバー	70	0	1	0	0	0	1	3	0
B発電所	半面マスク	1	1	0	0	0	0	0	手洗い	ザブ			1	0	1	消毒用エタノール	1		0
C発電所	半面マスク	1	0	0	1	1	0	1	0	エタノール	定検月:20、通常0		1	0	1	エタノール	マスク関係一括	定検:6、通常2	
D発電所	半面マスク	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	水、エタノール	最大200	0	1	0	1	エタノール	1	最大2	0
F発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	エクリン	最大450		1	0	1	消毒用アルコール	1	最大6	0
G発電所	半面マスク	1	1	0	0	1	0	0	0	-			1	0	1	消毒用アルコール	1	5	0
H発電所	半面マスク	1	1	0	0	1	0	0	0	なし	10809/Y:30		1	0	1	消毒用エタノール	1	10	0
I発電所	半面マスク	1	0	1	0	1	0	1	0	・アイソーブクリーナ	100	0	1	0	1	アルコール	1	25	0
J発電所	半面マスク	1	0	0	0	0	0	1	0	-	アルコール拭き	1	0	1	1	アルコール	1	4	0
K発電所	半面マスク	1	1	0	0	1	0	0	0	トスオーブル	100		1	0	1	アルコール	1	2	0
L発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	エタノール			1	0	0	1		要員数は全体委託の中で作業量に応じその都度変動	
M施設	半面マスク	1	0	1	0	1	0	0	0	-	50		1	0	1	アルコール	0	看用者実施	
N発電所	半面マスク	1	1	0	0	1	0	0	0	未使用	最大100		1	0	1	市販の消毒用	1	2	0
O発電所	半面マスク	1	0	0	1	1	0	0	0	使用していない	120	処理量は1日当りの処理可能量	1	0	1	エタノール	1	5	0
P施設	半面マスク	1	0	1	0	1	0	1	0	初付7-NL	60		1	回収後	1	エタノール:水(1:1)	0	0	0
Q施設	半面マスク	0	0	1	0	1	0	0	0	50%アルコール		個人管理	0	個人管理	1	50%アルコール	0	個人管理	
R施設	半面マスク	1	0	0	1	0	0	0	1	アルコール+水		各自で清掃	1	0	0		0	各自個人	
S発電所	半面マスク	1	0	1	0	1	0	1	0	中性洗剤	~200		1	0	1	エタノール	0	シドリ作業の一部として実施している。専従の要員はなし	
T発電所	半面マスク	1	0	1	0	1	0	1	0	中性洗剤	~200		1	0	1	エタノール	0	シドリ作業の一部として実施している。専従の要員はなし	
U発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	-			1	0	1	エタノール	1	2	全面、エアラインの洗浄を含め2人
V発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	-			1	0	1	エタノール	1	2	全面、エアラインの洗浄を含め2人
W施設	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	-			1	0	1	アルコール	1	3	0
X研究所	半面マスク	1	0	0	1	1	0	1	0	アルコール			1	0	1	アルコール	0	使用者	
Y研究所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	1	0	アルコール			1	0	1	アルコール	0	使用者	

施設名称	品名	点検頻度					点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法		
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4		保管環境 考慮有無	保管 分散	保管 集中	包装有無	使用の都度	貸与・回収
A発電所	エラインストーブ	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	エラインストーブ	1	1	6ヶ月	-	0	目視	気密空気流点検	-	-	-	1	0	1	0	0	放射線管理上必要な場合(申請も含む)
C発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D発電所	エラインストーブ	使川火種無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E発電所	エラインストーブ	1	0		0	0	性能試験	汚染検査	外観	10	0	0	1	1	1	1	0
G発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H発電所	エラインストーブ	1	1	6ヶ月	0	外観	性能	汚染検査	-	0	1	0	1	1	1	0	0
I発電所	エラインストーブ	1	0		0	0	外観	-	0	0	0	0	1	1	1	0	0
J発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M施設	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P施設	エラインストーブ	0	1	月1回、年1回	0	目視	気密試験	-	-	8	1	1	0	0	0	0	1
Q施設	エラインストーブ	1	1	-	2	0	外観	-	-	0	1	0	1	0	1	0	0
R施設	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	持參
S発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V発電所	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W施設	エラインストーブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X研究所	エラインストーブ	0	1	-	使用の都度 (外観)	外観	性能	-	-	-	0	0	1	0	1	0	0
Y研究所	エラインストーブ	0	0	-	使用の都度	目視	-	-	-	-	1	0	1	1	1	0	0
Z発電所	エラインストーブ	1	0		0	外観	-	-	-	60	1	0	1	0	1	0	0

施設名称	品名	点検頻度				点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法			
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4	保管環境	保管	保管状態	特定期間の 貸与・回収	その他		
A発電所	エライスマスク	1	1		6ヶ月～委託、年～トータル		0外観	性能	0		0	0	1	0	1	1	0
B発電所	エライスマスク	1	1		6ヶ月		0目視	気密空気流 点検				1	0	1	0	0	放射線管理上必要な場合 (申請も含む)
C発電所	エライスマスク	1	1		1回/年トータル点検	3ヶ月点検	外観	作動テスト			1	1	0	1	1	1	0
D発電所	エライスマスク	1	1			2	0外観	性能	汚染		0	0	0	1マスク	1	0	0
E発電所	エライスマスク	1	1		6ヶ月		0外観		気密・機能検 査(圧縮空気 による検査)		0	1	0	1	0	1	0
F発電所	エライスマスク	-	-		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
G発電所	エライスマスク	1	1			1	0外観				-	0	0	1	1	0	0
H発電所	エライスマスク	1	1		6ヶ月		0外観	性能	汚染検査		0	1	0	1	1	1	0
I発電所	エライスマスク	1	1			2	0外観	0	0			0	0	0	1	1	0
J発電所	エライスマスク	0	1		6ヶ月	ホース類は 12ヶ月	外観点検	補集効率	漏洩検査	直接法によ る汚染検査	0	0	0	1	0	0	1
L発電所	エライスマスク	1	1			2	0外観	使用後の返却				0	1	0	1	1	0
M施設	エライスマスク	0	1			1	0外観	時外観検査			10	0	0	1	1	0	1
N発電所	エライスマスク	1	1			2	0外観	目視	性能	汚染の有無	5	0	1	0	1	1	0
O発電所	エライスマスク	0	1		6ヶ月		0老化	形状変化	汚れ		0	1	0	1	1	1	0
P施設	エライスマスク	0	1		月1回、年1回		使用前	目視	気密試験		6	1	1	0	1	0	1
Q施設	エライスマスク	1	1	-		2	0外観	3'ハンド等 の健全性		<1		1	0	1	0	1	0
R施設	エライスマスク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	他課より貸りる
S発電所	エライスマスク	1	0	-	6ヶ月		0外観				0	0	1	1	1	1	0
T発電所	エライスマスク	1	0	-	6ヶ月		0外観				0	0	1	1	1	1	0
U発電所	エライスマスク	1	0	-		定検前	目視	汚染検査	リーケテスト(定検 前)		0	0		0	1	0	0
V発電所	エライスマスク	1	0	-		定検前	目視	汚染検査	リーケテスト(定検 前)		0	0		0	1	0	0
W施設	エライスマスク	0	1	-	3ヶ月		0外観				0	0	1	0	1	0	0
X研究所	エライスマスク	0	1	-		使用の都度 (外観)	外観	性能			0	0	1	0	1	1	0
Y研究所	エライスマスク		-														0
K発電所	エライスマスク (全面マスク に含む)	1	1				0漏洩	性能			0	0	1	1	1	1	0

施設名称	品名	点検頻度					点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法			
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4		保管環境 考慮有無	保管 分散	保管 集中	保管状態 包装有無	使用の都度 貸与・回収	特定期間の 貸与・回収	その他
A発電所	全面マスク	1	1		6ヶ月～委託、年～マーク		0外観	性能	0		0	0	1	0	1	1	0	放射線管理上必要な場合
B発電所	全面マスク	1	1		6ヶ月		0目視	マスククリーニング				1	1	0	1	0	0(申請も含む)	
C発電所	全面マスク	1	1		1回/年～マーク点検		0外観	性能(メーカ点検)			10	1	0	1	1	1	0	
D発電所	全面マスク	1	1			2	0外観	性能	汚染		1.09	0	0	1	1	1	0	
E発電所	全面マスク	1	1		6ヶ月		0外観	フィルタ差圧、リーケット+フィルタ性能			0.2	1	0	1	1	1	0	
F発電所	全面マスク	1	0				0性能試験	汚染検査	外観		15	0	0	1	1	1	0	
G発電所	全面マスク	1	1			1	0回	捕集効率(年1回)	通気抵抗(年1回)	外観		1	0	0	1	1	0	
H発電所	全面マスク	1	1		6ヶ月		0外観	汚染検査	捕集効率	吸気抵抗	0	1	0	1	1	1	0	
I発電所	全面マスク	1	1			2	0外観(都度)	性能試験(木洗都度、定期点検)			0	0	1	0	1	1	0	
J発電所	全面マスク	1	0				0外観点検	捕集効率	吸気抵抗	直接法による汚染検査	30	0	0	0	1	1	0	
K発電所	全面マスク	1	0				0性能	捕集効率	フィルタ抵抗		2.2	0	0	1	1	1	0	
L発電所	全面マスク	1	0				0外観	捕集効率	通気抵抗		20	1	0	1	1	1	0	
M施設	全面マスク	0	1			1	0外観	性能			10	0	0	1	1	0	1	
N発電所	全面マスク	1	1			2	0外観	目視	性能	フィルタ汚染の有無	20	0	1	0	1	1	0	
O発電所	全面マスク	0	1		6ヶ月		0老化	形状変化	汚れ		0	1	0	1	1	1	0	
P施設	全面マスク	1	1		月1回、年1回	使用前	目視	フィルタ通気抵抗			10	1	1	0	1	1	0	
Q施設	全面マスク	1	1	-		2	0外観	ゴムバンド等の健全性			10	1	0	1	0	1	0	
R施設	全面マスク	0	1	-	1、メーカ点検		0外観				10	1	0	1	1	1	0	
S発電所	全面マスク	1	1	-	6ヶ月		0外観	差圧	性能(NaCl)			0	0	1	1	1	0	
T発電所	全面マスク	1	1	-	6ヶ月		0外観	差圧	性能(NaCl)		0	0	1	1	1	0		
U発電所	全面マスク	1	0	-		定検前	目視	汚染検査		4～6	0	0	1	1	1	0		
V発電所	全面マスク	1	0	-		定検前	目視	汚染検査		4～6	0	0	1	1	1	0		
W施設	全面マスク	1	0	-			0外観				0.5	0	0	1	0	0	1	
X研究所	全面マスク	0	1	-		使用の都度 (外観)	外観	性能				0	0	1	0	1	0	
Y研究所	全面マスク	0	0	-		使用の都度	目視	陰圧法				1	0	1	0	1	0	

施設名称	品名	点検頻度				点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法			
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4	保管環境	保管	保管状態	使用の都度	貸与・回収	特定期間の その他	
A発電所	電動ファン式	1	1		6ヶ月～委託、年～メーカー	0外観	性能	0			0	0	1	0	1	1	0
B発電所	電動ファン式	1	1		6ヶ月	0目視	マスク一ヶ検査					1	1	0	1	0	放射線管理上必要な場合(申請も含む)
C発電所	電動ファン式	1	1		1回/年～点検	0外観	作動テスト	電源		(フード)20		1	0	1	1	1	0
D発電所	電動ファン式	1	1		2	0外観	性能	汚染	フード面体	19.35	0	0	1	1	1	0	
E発電所	電動ファン式	1	1		12ヶ月	0外観	送風量	充電動作	充電電圧	0	1	0	1	1	1	0	
F発電所	電動ファン式	1	0			0性能試験	汚染検査	外観		10	0	0	1	0	1	0	
G発電所	電動ファン式	1	1		1	0外観				5	0	0	1	まとめて包装	1	0	
H発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I発電所	電動ファン式	1	1		2	0外観	0	0			0	0	0	1	1	1	0
J発電所	電動ファン式	1	0			0外観点検	捕集効率	直接法による 汚染検査		200	0	0	0	1	1	1	0
K発電所	電動ファン式	1	0			0性能	捕集効率	フード抵抗		11.9	1	0	1	1	1	1	0
L発電所	電動ファン式	1	0			0.7m/s:外観	フード:捕集効率	フード:通気抵抗	エット本体:貨出時に風量、電圧、アーム鳴動確認		1	0	1	1	1	0	
M施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O発電所	電動ファン式	0	1		6ヶ月	0老化	形状変化	汚れ		0	1	0	1	1	1	0	
P施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Q施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R施設	電動ファン式	0	0	-	1メートル点検	各部持ち回りで点検	外観	作動		不明	1	0	1	0	1	1	0
S発電所	電動ファン式	1	1	-	1回/年～点検	0バッテリ機能	ファン他機能				0	0	1	1	1	1	0
T発電所	電動ファン式	1	1	-	1回/年～点検	0バッテリ機能	ファン他機能				0	0	1	1	1	1	0
U発電所	電動ファン式	1	0	-		定検前	目視	汚染検査		0	0	0	1	1	1	0	
V発電所	電動ファン式	1	0	-		定検前	目視	汚染検査		0	0	0	1	1	1	0	
W施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
X研究所	電動ファン式	0	1	-		使用の都度 (外観)	外観	性能			0	0	1	0	1	1	0
Y研究所	電動ファン式	0	0	-		使用の都度	目視	バッテリ電圧			1	0	1	1	1	1	0

施設名称	品名	点検頻度					点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法			
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4		保管環境 考慮有無	保管 分散	保管状態 集中	包装有無	使用の都度	貸与・回収	特定期間の (申請も含む)
A発電所	半面マスク	1	1		6ヶ月～委託、年～メーカ		0外観	性能	0		0	0	1	0	1	1	0	0
B発電所	半面マスク	1	1		6ヶ月		0目視	マスクリー検査				1	1	0	1	1	1	放射線管理上必要な場合 0(申請も含む)
C発電所	半面マスク	1	0				0外観				5	1	0	1	1	1	0	0
D発電所	半面マスク	使用実績無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
E発電所	半面マスク	1	1		6ヶ月		0外観	7ヶ月交換(必 要な物のみ) による検査	機能検査装置		0.1	1	0	1	1	1	0	0
F発電所	半面マスク	1	0				0性能試験	汚染検査	外観		15	0	0	1	1	1	0	0
G発電所	半面マスク	1	1			1 (回)	補集効率(年1 回)	通気抵抗(年1 回)			5	0	0	1	1	1	0	0
H発電所	半面マスク	1	1		6ヶ月		0外観	汚染検査	補集効率	吸気抵抗	0	0	1	0	1	1	1	0
I発電所	半面マスク	1	1			2	0外観(都度)	性能試験(水 洗都度、定期 点検)			0	0	1	0	1	1	1	0
J発電所	半面マスク	1	0				0外観点検	補集効率	吸気抵抗	直接法による 汚染検査	0	0	0	1	1	1	0	0
K発電所	半面マスク	1	0				0性能	補集効率	7ヶ月抵抗		0.1	0	0	1	1	1	0	0
L発電所	半面マスク	1	0				0外観	補集効率	通気抵抗	ほとんど使用せ ず	1	0	1	1	1	1	0	0
M施設	半面マスク	0	1			1	0外観	性能			10	0	1	0	0	0	1	0
N発電所	半面マスク	1	1			2	0外観	目視	性能	7ヶ月汚染の有 無	10	0	1	0	1	1	1	0
O発電所	半面マスク	0	1		6ヶ月		0老化	形状変化	汚れ		0	1	0	1	1	1	1	0
P施設	半面マスク	1	1	月1回、年1回		使用前	目視	7ヶ月通気抵抗 ゴムバンド等の 健全性	マスクシット		10	1	1	0	1	1	1	1
Q市販T	半面マスク	1	1-		2	0外観	半年毎の個 人点検				12	1	1	0	0	0	1	0
R施設	半面マスク	0	1-	1、メーカ点検			外観				10	1	0	1	0	1	1	0
S発電所	半面マスク	1	1-	6ヶ月		0外観	差圧	性能(NaCl)			0	0	1	1	1	1	0	0
T発電所	半面マスク	1	1-	6ヶ月		0外観	差圧	性能(NaCl)			0	0	1	1	1	1	0	0
U発電所	半面マスク	1	0-		定検前	目視	汚染検査	リーテスト(定検 前)		0.7～10	0	0	1	1	1	1	0	0
V発電所	半面マスク	1	0-		定検前	目視	汚染検査	リーテスト(定検 前)		0.7～10	0	0	1	1	1	1	0	0
W施設	半面マスク	1	0-		0外観						1	0	0	1	0	0	1	0
X研究所	半面マスク	0	0-		使用的都度	外観	陰圧				0	0	1	0	1	1	0	0
Y研究所	半面マスク	0	0-		使用的都度	目視	陰圧法				1	0	1	0	0	1	0	0

(2) 身体防護具

施設名称	品名	洗浄対象	洗浄設備								洗浄サイクル		洗浄後の消毒方法		洗浄実施体制			
			設 備		洗浄方式						その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	(人)	その他
			専用	汎用	無	水洗	ドライ	清拭	その他	洗浄剤								
A発電所	7ノック		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D発電所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E発電所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F発電所	7ノック		1	0	0	1	0	0	1	0	ニクリン	-	1	0	1	清拭:7ノック	1	最大6
G発電所	7ノック		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	-	-	0
H発電所	7ノック		0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
I発電所	7ノック		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J発電所	7ノック		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-
K発電所	7ノック		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	1回	1回	使用後廃棄	-	-
L発電所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M施設	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N施設	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O施設	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P施設	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q施設	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R施設	7ノック		0	0	0	1	0	0	0	-	-	0	使い捨て	-	-	-	-	-
S発電所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T発電所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V発電所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W施設	7ノック		0	0	0	0	0	0	0	0	-	使い捨て	-	-	-	-	-	-
X研究所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Y研究所	7ノック		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U発電所	7ノック(PVA)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B発電所	7ノック(使 捨て)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-
C発電所	7ノック(使 捨て)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施設名称	品名	洗浄対象	洗浄設備									洗浄サイクル		洗浄後の消毒方法			洗浄実施体制		
			設備			洗浄方式													
			専用	汎用	無	水洗	ドライ	溶拭	その他	洗浄剤	処理量(個/日)	その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	(人)	要員数
A 業者所	ゴム手袋		0	0	0	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0
D 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F 業者所	ゴム手袋		0	0	0	0	0	0	0	0	-	使い捨て	-	-	-	-	-	-	-
G 業者所	ゴム手袋		1	1	0	0	1	0	0	0	-	-	!	0	0	-	1	5	0
H 業者所	ゴム手袋		0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 業者所	ゴム手袋		0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0
J 業者所	ゴム手袋		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-
K 業者所	ゴム手袋		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	1回使用後廃棄	-	-	-	-	-
L 発電所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	要員数は全体委託の中で作業に応じその都度変動、他被洗物と合わせた選択作業のみなら1~2名/設備
M 施設	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P 施設	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q 施設	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R 施設	ゴム手袋		0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	0	使い捨て	-	-	-	-	-
S 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 業者所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W 施設	ゴム手袋		0	0	0	0	0	0	0	0	-	使い捨て	-	-	-	-	-	-	-
X 研究所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Y 研究所	ゴム手袋		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B 業者所 (使捨て)	ゴム手袋 (使捨て)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0-	-	-	-	-	-
C 業者所 (使捨て)	ゴム手袋 (使捨て)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施設名称	品名	洗浄対象	洗淨設備									洗淨サイクル			洗淨後の消毒方法		洗淨実施体制				
			設備			洗淨方式						その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託	(人)	その他		
			専用	汎用	無	水洗	ドライ	清拭	その他	洗浄剤	処理量(kg/日)										
A発電所	靴	靴	1	0	1	0	0	1	0	R1クリーナ	-	30	0	1	0	0	0	1	3	0	
B発電所	靴	靴	1	1	0	0	0	0	0	除菌シックギアブ	-	-	0	1	0	1	0	1	3	0	
C発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	1	0	0	-	短靴:700足/年、長靴:400足/月	-	長靴	短靴	短靴	1回/週市販の靴消毒スプレー	マスク要員に含まれる	1	0	
D発電所	靴	靴	1	0	1	0	0	0	1	0	ショットソルト無リンホワイト	-	-	0	1	1	除菌スプレー	1	0	0	
E発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	0	1	0	水、エタノール	-	最大130	-	0	週/1回	除菌スプレー(ハイグレード)	1	最大2	0	
F発電所	靴	靴	1	0	0	1	0	0	1	0	エクリン	-	最大200	-	0	交換・回収の都度	スプレー:消臭、除菌	1	最大6	0	
G発電所	靴	靴	1	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	0	汚れが目立つ場合	0	1	6	0		
H発電所	靴	靴	1	0	0	1	0	0	1	0	エタノール、DKクリーン	-	2500足/V:7	-	1	0	1足元クリーン	1	10	0	
I発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	0	0	0	-	0	0	1	長靴は手洗	0	0	0	1	25	
J発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	0	0	0	トスナーソーブH	-	100	-	0	定検にて不良となった物を洗浄する。貸与期間終了時	0	1	3	0	
K発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	0	0	0	トスナーソーブ	-	約150	-	0	汚れ、汚染がある場合	1スプレー	1	16	0	
L発電所	靴	靴	1	0	1	0	0	1	0	0	AK-225G, VF-225G	-	200	-	0	汚染区域で使用した靴は回収の都度実施。非汚染区域用靴は外見的な汚れのある物を抜き取って実	1	1	2名/設備	要員数は全体委託の中で作業に応じその都度変動、他被洗物と合わせた選択作業のみなら	
M施設	靴	靴	1	0	1	0	1	0	0	0	-	-	20	1	0	0	0	0	使用者実施		
N発電所	靴	靴	1	1	0	0	0	0	0	0	コンクリンL	最大1600着	最大400	1	0	0	1	1	2担当	かべーおも、洗濯員が	
O発電所	靴	靴	1	1	0	0	0	1	0	0	0	オーリス	-	50	0	1	1	1	5	0	
P施設	靴	靴	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
Q施設	靴	靴	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
R施設	靴	靴	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	0	洗浄せず、だめになったら交換	0	-	-	-		
S発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	0	0	0	粉末洗剤	-	~200	-	1	銀靴は1回/週	0	1	0	0	
T発電所	靴	靴	1	1	0	0	1	0	0	0	粉末洗剤	-	~200	-	1	短靴は1回/週	0	1	0	0	
U発電所	靴	靴	1	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
V発電所	靴	靴	1	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
W施設	靴	靴	1	0	0	0	0	0	1	0	アルコール	-	-	-	0	定期的に実施	1	消臭スプレー	1	3	0
X研究所	靴	靴	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
Y研究所	靴	靴	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

施設名称	品名	洗浄対象	洗淨設備								洗淨サイクル		洗浄後の消毒方法		洗浄実施体制			
			設備		洗浄方式						その他特記事項	使用毎	その他	有無	消毒剤	外注委託(人)	要員数	その他
			専用	汎用	無	水洗	ドライ	清拭	その他	洗浄剤								
A発電所	紙服		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E発電所	紙服		1	1	0	0	1	0	0	0	-	-	1	0	0	1	2	0
F発電所	紙服		1	1	0	0	1	0	0	0	-	-	1	0	0	1	6	0
G発電所	紙服		1	1	0	0	1	0	0	0	-	-	1	0	0	1	5	0
H発電所	紙服		1	0	1	0	1	0	0	なし	-	-	1	0	0	1	9	0
I発電所	紙服		1	1	0	0	1	0	0	0	0-	-	0	1	0	0	1	25
J発電所	紙服		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	-	-	-	-
K発電所	紙服		0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	1回使用後廃棄	-	-	-	-
L発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M施設	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
O発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P施設	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q施設	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R施設	紙服		0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	0	使い捨て	-	-	-	-
S発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V発電所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W施設	紙服		0	0	0	0	0	0	0	0	-	使い捨て	-	-	-	-	-	-
X研究所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Y研究所	紙服		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B発電所	紙服(使捨て)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0-	-	-	-	-
C発電所	紙服(使捨て)		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施設名称	品名	点検頻度					点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法		
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	イングーポル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4		保管環境	保管	保管状態	特定期間の 使用の都度	貸与・回収	その他
A発電所	アノラック	0	0			0	0	0	0	0	100	0	1	0	0	1	0
D発電所	アノラック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	0	0	0
E発電所	アノラック	0	0			0	-	-	-	-	47	0	0	1	0	1	0
F発電所	アノラック	1	0			0	汚染検査	外観			90	0	0	1	1	1	0
G発電所	アノラック										100				1	0	0
H発電所	アノラック	0	0				配備の都 度、納入時	外観			100	0	0	1	1	1	0
I発電所	アノラック	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J発電所	アノラック										0	0	1	1	1	0	0
K発電所	アノラック										0	0	1	0	1	0	0
L発電所	アノラック	-	-	1-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M施設	アノラック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N発電所	アノラック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O発電所	アノラック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P施設	アノラック	0	0	0			使用前	目視			100	1	1	0	1	1	0
Q施設	アノラック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	1	1	0	0
R施設	アノラック	0	0	1		0					0	0	1	段ボール	1	0	使い捨て
S発電所	アノラック																
T発電所	アノラック																
V発電所	アノラック										100	0	0	1	1	1	0
W施設	アノラック										100	0	0	1	0		0
X研究所	アノラック										100						
Y研究所	アノラック																
U発電所 (PVA)	アノラック										100	0	0	1	1	1	0
B発電所 (使 捨て)	アノラック(使 捨て)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	1	0	0
C発電所 (使 捨て)	アノラック(使 捨て)										100	1	0	1	1	1	0

施設名称	品名	点検頻度			点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法				
		回収・配備の都度	定期点検	点検してない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4	保管環境 考慮有無	分散	集中	包装有無	使用の都度	貸与・回収	特定期間の その他
A発電所	ゴム手袋	0	0	-	-	0	0	0	0	100	0	1	0	0	1	0	自由
D発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	0	0	貸与	0	0	
E発電所	ゴム手袋	0	0	-	-	0	-	-	-	95	0	0	1	0	1	0	
F発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	
G発電所	ゴム手袋	1	0	-	-	0	外観	汚染検査	-	100	0	0	1	0	1	0	
H発電所	ゴム手袋	0	0	-	-	納入時	外観	-	-	100	0	0	1	1	1	0	
I発電所	ゴム手袋	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
J発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	1	1	0	
K発電所	ゴム手袋	-	-	1	-	0	-	-	-	0	0	1	0	0	1	0	
L発電所	ゴム手袋	-	-	-	1-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M施設	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P施設	ゴム手袋	0	0	0	使用前	目視	ビンホール	-	-	100	1	1	0	0	1	0	0
Q施設	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	
R施設	ゴム手袋	0	0	1	-	0-	-	-	-	1	0	1	段ボール	1	0	使い捨て	
S発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T発電所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
U発電所	ゴム手袋	-	1	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	1	0	0
V発電所	ゴム手袋	-	1	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	1	0	0
W施設	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	1	0	0
X研究所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	-	-	-
Y研究所	ゴム手袋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B発電所	ゴム手袋 (使い捨て)	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	1	1	0	0
C発電所	ゴム手袋 (使い捨て)	-	-	-	-	-	-	-	-	100	1	0	1	0	1	0	0

施設名	品名	点検頻度				点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法				
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4	保管環境	保管	保管状態	使用の都度	特定期間の 貸与・回収	その他		
A発電所	靴	1	0	0	0	0	外観	0	0	0	5	0	1	0	0	1	0	
B発電所	靴	0	0	0	週1回	目視					5	0	0	1	1	1	0	
C発電所	靴	1	0	0	0	外観	汚染検査				50	1	0	1	0	1	0	
D発電所	靴	1	1	2回/月	0	外観	汚染				0	0	1	1	1	0	0	
E発電所	靴	1	0	0	0	外観(破損の 程度)					16	0	0	1	0	青	貨、長靴	
F発電所	靴	1	0	0	0	汚染検査	外観				30	0	0	1	0	1	0	
G発電所	靴	1	1	0	0	外観	汚染検査				靴:15	0	0	1	0	0	1	
H発電所	靴	1	0	0	0	外観	汚染検査				24	0	0	1	1	1	0	
I発電所	靴	1	0	0	0	外観	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	短靴:2回/年程度で取替	
J発電所	靴	0	週2回	0.125月	0	目視による外 観点検	直接法による 汚染検査				14	0	0	1	1	0	1	定期点検にて不良になった物
K発電所	靴	1	0	0	0	外観	汚染				5.1	0	0	1	0	1	0	0
L発電所	靴	1	1	0	定検時1回/月	外観					20	0	0	1	1	1	0	0
M施設	靴	0	0	1	0						5	0	1	0	1	0	1	0
N発電所	靴	1	0	0	0	目視					0	0	1	0	0	1	0	
O発電所	靴	0	0	1	0						0	0	0	1	0	0	0	
P施設	靴	0	0	0	0	使用前	目視				10	1	1	0	0	0	1	0
Q施設	靴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R施設	靴	0	0	1	0	-					-	1	0	1	段ボール	0	0	交換時期
S発電所	靴	1	0	0	0	外観	汚染検査				3	0	0	1	0	1	0	0
T発電所	靴	1	0	0	0	外観	汚染検査				3	0	0	1	0	1	0	0
U発電所	靴	1	0	0	0	目視	汚染検査				4~13	0	1	0	0	青靴	その他の靴	0
V発電所	靴	1	0	0	0	目視	汚染検査				4~13	0	1	0	0	青靴	その他の靴	0
W施設	靴	0	1	0	2回/月	外観					2	0	0	1	0	1	0	0
X研究所	靴										-							
Y研究所	靴																	

施設名称	品名	点検頻度					点検項目				廃棄割合 (約 %/年)	保管方法			貸与・回収方法			
		回収・配備 の都度	定期 点検	点検して いない	インターバル (回/年)	その他	項目1	項目2	項目3	項目4		保管環境	保管	保管状態	特定期間の 使用の都度	貸与・回収	その他	
A発電所	紙服	0	0	-	0	0	0	0	0	0	100	0	1	0	0	1	0	
D発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	貸与	0	0	
E発電所	紙服	1	0	-	-	-	-	-	-	-	16	0	0	1	0	1	0	
F発電所	紙服	1	0	-	-	-	外観(破損の 程度)	外観	-	-	90	0	0	1	0	1	0	
G発電所	紙服	1	0	-	-	-	外観	汚染検査	-	-	100	0	0	1	まとめて包装	1	0	
H発電所	紙服	1	0	-	-	-	外観	汚染検査	-	-	36	0	0	1	1	1	0	
I発電所	紙服	1	0	-	0	0	外観	-	0	0	0	0	1	0	1	1	0	
J発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	1	1	0	
K発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	1	0	0	
L発電所	紙服	-	-	1-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
M施設	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N施設	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O施設	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
P施設	紙服	0	0	0	使用前	目視	-	-	-	-	100	1	1	0	1	1	0	0
Q施設	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	1	-	使い捨て	-	
R施設	紙服	0	0	1	-	0-	-	-	-	-	1	0	1	段ボール	1	0	-	
S発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
U発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	1	0	0
V発電所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	1	0	0
W施設	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	0	0	1	0	-	-	-
X研究所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-
Y研究所	紙服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-
B発電所	紙服(使捨て)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	1	0	0	0
C発電所	紙服(使捨て)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	1	0	1	1	1	0	0

附録書-4

アンケート集計表Ⅱ

「原子力産業界における防護具の開発ニーズに関する調査」

原子力産業界における防護具の開発ニーズに関するアンケート調査

施設名称	品名	現状の問題点														開発・改良・改善の要望					
		息苦しい	暑い	圧迫感	重い	防護性能 (PF)	装脱着の 容易性	視野の 大きさ	眼鏡 使用	フィルタ (形状・タイプ)	現場装着 試験	連続使用 時間	風量	対汚染性	除染性	対話性 (減容・焼却) コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4
A発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D発電所	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	1	0	0	1	無線		
G発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0
I発電所	エラインスーツ	0	1	1	0	0	1	1	0	-	-	-	0	0	1	0	0	1	全周透明フード	フードの小型化	ヘルメットがズレ易いため、しっかりと被れる物
J発電所	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L発電所	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M施設	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N発電所	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O発電所	エラインスーツ	保有せず	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
P施設	エラインスーツ	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	1	0	0	1	スーツ内部の暴り防止		
Q施設	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	1	1	0	1	1	作業者の体に合ったサイズの製作	脱着時の汚染コントロール性の検討	供給停止時の人命確保検討
R施設	エラインスーツ	0	0	0	0	0	1	1	1	-	-	-	0	0	0	0	0	1	ホースが背中から来てるので動きづらい		
S発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0			
T発電所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0			
U発電所	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V発電所	エラインスーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W施設	エラインスーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0			
X研究所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	1	0	0	-	-	-	0	1	0	0	1	1	装備に時間がかかる	動きにくい	継い目が除染出来ない
Y研究所	エラインスーツ	0	0	0	0	0	1	0	0	-	-	-	0	0	0	0	1	1	サイズの対応性(特大サイズ)		
E発電所	エラインフード	多少	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	1	1	エラーの流れを改良、(焼却可能)	耐久性があり何回でも使用できる物	

施設名称	品名	現状の問題点															開発・改良・改善の要望					
		息苦しい	暑い	圧迫感	重い	防護性能 (PF)	装脱着の 容易性	視野の 大きさ	眼鏡 使用	フィルタ (形状・サイズ*)	現場装着 試験	連続使用 時間	風量	対汚染性	除染性	対話性 (減容・焼却)	廃棄物低減化 コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4
A発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E発電所	エアラインマスク	0	0	1	1	0	0	1	0-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
F発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	1	0-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
H発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	1	0-	-	-	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1
I発電所	エアラインマスク	1	1	1	1	0	1	1	1	1-	-	-	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0
J発電所	エアラインマスク	0	0	1	0	0	1	1	1	1-	-	-	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1
K発電所	エアラインマスク	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
L発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
M施設	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
N発電所	エアラインマスク	0	0	1	1	0	0	1	1	1-	-	-	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1
O発電所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P施設	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	-	-	0	0	1	0	0	1	1	1	1
Q施設	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	-	-	0	0	1	0	0	1	1	1	1
R施設	エアラインマスク	0	0	1	0	0	1	1	1	1	-	-	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1
S発電所	エアラインマスク	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
T発電所	エアラインマスク	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
U発電所	エアラインマスク	1	0	1	1	0	1	1	1	1	-	-	-	0	0	1	0	1	1	1	1	1
V発電所	エアラインマスク	1	0	1	1	0	1	1	1	1	-	-	-	0	0	1	0	1	1	1	1	1
W施設	エアラインマスク	0	0	1	0	0	0	0	1	1	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0
X研究所	エアラインマスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Y研究所	エアラインマスク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-

施設名称	品名	現状の問題点														開発・改良・改善の要望										
		息苦しい	暑い	圧迫感	重い	防護性能(PF)	装脱着の容易性	視野の大きさ	眼鏡使用	フィルタ(形状・サイズ)	現場装着試験	連続使用時間	風量	対汚染性	除染性	対話性(減容・焼却)コスト	廃棄物低減化	有無	内容		内容		内容			
A発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
B発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
C発電所	全面マスク	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0-	-	0	1	0	0	0	1	自動除染装置の開発	専用眼鏡の開発						
D発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	0	0	0	0	0	0	1	眼鏡使用者より幅広マスク導入の要望							
E発電所	全面マスク	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0-	-	0	0	1	0	0	1	呼吸、リード(眼鏡使用可能)タイプに全数入れ替る。→約15%このタイプを運用	対話が可能な事(無線通信システム導入)						
F発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	-	0	0	0	0	1	0	1	面体も焼却可能	個人の眼鏡使用可能					
G発電所	全面マスク	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0-	-	0	1	0	0	0	1	自分の眼鏡を使用でき、全面マスクを試用している							
H発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	1	0	0	0	1	スピーカー全面は拡声器を取り付けず使用すると、取付部が汚染し除染出来なくなるため、専用キャップの開発							
I発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0-	-	1	0	1	0	0	1	汗が溜まらない	顔に接する部分を柔らかく	ワントッチで外せる					
J発電所	全面マスク	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0-	-	0	0	0	0	1	1	アピース部の拡大による視野向上	フィルタ部の規格統一による互換性の確保、コスパ良	個人の眼鏡着用可能な治具開発-採用					
K発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	-	0	0	0	0	0	0								
L発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0								
M施設	全面マスク	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	-	0	0	0	0	0	1	吸気抵抗の少ない開発	個人用眼鏡の使用可能な全面マスクの開発						
N発電所	全面マスク	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0-	-	0	1	1	0	1	1	視野拡大	眼鏡使用者への対応	フィルタ抵抗の低減					
O発電所	全面マスク	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	-	0	0	0	0	0	1	普段使っている眼鏡がそのまま使用できる物	対話がより正確に出来る物						
P施設	全面マスク	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0-	-	0	0	0	0	0	1	視野を大きくしてマスク内の疊り防止処理	マスク内に疊り防止処理	眼鏡を掛けたまま作業できるように					
Q施設	全面マスク	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1-	-	0	0	1	0	0	1	呼気抵抗の軽減(小型電動ファン付にする)	身体防護衣との規材質の軽量化(新素材の開発)	身体防護衣との規和性を考慮する(着脱の容易性を検討)					
R施設	全面マスク	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0-	-	0	0	1	0	0	1	視野、対話性の向上							
S発電所	全面マスク	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0-	-	0	0	0	0	0	0								
T発電所	全面マスク	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0-	-	0	0	0	0	0	0								
U発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0-	-	0	1	1	0	1	1	取り外しが簡単になる用べる部をボタン式にツッくにする。ゴム部分をツットにする。	眼鏡が顔に食い込む	フィルタの小型化、防水タイプ	皮膚の弱い人のため、扱りにくい素材を使用				
V発電所	全面マスク	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0-	-	0	1	1	0	1	1	取り外しが簡単になる用べる部をボタン式にツッくにする。ゴム部分をツットにする。	眼鏡が顔に食い込む	フィルタの小型化、防水タイプ	皮膚の弱い人のため、扱りにくい素材を使用				
W施設	全面マスク	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1-	-	0	0	1	0	0	0	1	フィルタの値段が高い	疊りの低減					
X研究所	全面マスク	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	1	1	0	1	1	社アレンから別の材質に変更(接触部のフィット性の向上、皮膚への影響)							
Y研究所	全面マスク	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0-	-	0	1	0	0	0	1								

施設名称	品名	現状の問題点															開発・改良・改善の要望					
		息苦しい	暑い	圧迫感	重い	防護性能 (PF)	装脱着の 容易性	視野の 大きさ	眼鏡 使用	フィル (形状・サイズ)	現場装着 試験	連続使用 時間	風量	対汚染性	除染性	対話性	廃棄物低減化 (減容・焼却)コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4
A発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
B発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
F発電所	電動ファン式	0	0	0	1	0	0	0	1	0-	0	0	0	0	0	0	1	0	1	面体も焼却可能	個人の眼鏡使用可 能	アソニットの軽量小 型化
G発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0-	1	0	0	1	0	0	0	1	延長	バッテリーの使用時間	-
H発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I発電所	電動ファン式	0	0	1	1	0	1	1	1	1-	1	1	0	0	1	0	0	1	バッテリーの長寿命化	バッテリ充電時間の 短縮	0	0
J発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	1	1	0	0-	1	1	0	0	0	0	0	1	1	バッテリ能力向上によ る使用時間向上	小型軽量化	軽量小型化
K発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	1	0	0	0-	0	0	0	0	0	0	0	1	1	バッテリーの軽量化	-	-
L発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	-	-
M施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N発電所	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	1	0	0	0	0	0	0	0	1	ハーメット一体型で半面 マスクと同等の防護性 能を有する物	長寿命・軽量のバッテ リ	-
P施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q施設	電動ファン式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R施設	電動ファン式	0	0	1	1	0	1	1	0	0-	1	0	0	0	1	0	0	1	視野	相手からの声が聞 きづらい(対話性)	-	-
S発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	0	0	0	1	0	0	1	0	1	-	-	-
T発電所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	0	0	0	1	0	0	1	0	1	-	-	-
U発電所	電動ファン式	1	0	0	0	0	0	0	0	0-	1	1	0	0	0	0	0	1	1	風量調整出来るよ うに	-	-
V発電所	電動ファン式	1	0	0	0	0	0	0	0	0-	1	1	0	0	0	0	0	1	1	風量調整出来るよ うに	-	-
W施設	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	面体のずれに対す る対応	難い目が除葉出来 ない	-
X研究所	電動ファン式	0	0	0	0	0	0	1	0	0-	0	0	0	1	0	0	1	0	1	長時間かつ軽量バッ テリーの開発	-	-
Y研究所	電動ファン式	0	0	0	1	0	0	0	0	1-	1	0	0	0	1	0	0	1	1	自動除染装置の開 発	電動の小型化	-
C発電所	電動ファン式 (フードマスク)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-	-	-

施設名称	品名	現状の問題点															開発・改良・改善の要望				
		息苦しい	暑い	圧迫感	重い	防護性能(PF)	装脱着の容易性	視野の大きさ	眼鏡使用(形状・サイズ)	フィルタ	現場装着試験	連続使用時間	風量	対汚染性	除染性	対話性(減容・焼却)コスト	廃棄物低減化有無	内容1	内容2	内容3	内容4
A発電所	半面マスク	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
B発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D発電所	半面マスク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0
F発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	1	0	1	0	0
G発電所	半面マスク	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	1	1	0	0	1	0	0	0
H発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0
I発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0-	-	1	0	1	0	0	1	汗で滑らない	汗が溜まらない	顔に接する部分を柔らかく
J発電所	半面マスク	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
M施設	半面マスク	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	1	フィルタの開発	0	0
N発電所	半面マスク	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0-	-	0	1	1	0	1	1	フィルタ抵抗の低減	0	0
O発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P施設	半面マスク	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	1	フィルタ:ダストアンドガス用フィルタの内部活性炭が漏れないよう	0	0
Q施設	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	1	0	0	1	対話性:マスクを着用しての対話が困難なので拡声器、伝声板等が必要	0	0
R施設	半面マスク	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0-	-	0	0	1	0	0	1	フィルタ表面が難燃物(ポリフッ化ビニル)のため自然放射線が付着しやすい	0	0
S発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
T発電所	半面マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
U発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0-	-	0	1	1	0	1	取り外しが簡単になる用べ外部をボタン式にフックにする。ゴム部分をソフトにする。	機密性が悪い。鼻の金具を改善してはどうか。フィルタの小型化	0
V発電所	半面マスク	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0-	-	0	1	1	0	1	1	取り外しが簡単になる用べ外部をボタン式にフックにする。ゴム部分をソフトにする。	機密性が悪い。鼻の金具を改善してはどうか。フィルタの小型化	0
W施設	半面マスク	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0
X研究所	半面マスク	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	1	0	1	1	フィルタの値段が高い。材フレンから別の材質に変更(接触部のフィット性の向上、皮膚への影響)	マスクの形状の種類を増やして欲しい	0
Y研究所	半面マスク	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0-	-	0	0	1	0	0	1	マスクの形状の種類を増やして欲しい	0	0

施設名称	品名	現状の問題点												開発・改良・改善の要望 内容				
		暑い	重い	機動性	蒸れ	かぶれ	作業性	衛生面	重い (疲れ)	装脱着の 容易性	対汚染性	洗濯性(減容・焼却)	コスト		内容1	内容2	内容3	内容4
U発電所	PVA	1	0	1-	-	-	-	-	1	0	0	0	1	1	暑く、蒸れるため、排気口を設けて欲しい			
A発電所	アノラック	1	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	アノラック	1	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0			
C発電所	アノラック	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
D発電所	アノラック	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
E発電所	アノラック	1	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	通気性の良い物			
F発電所	アノラック	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
G発電所	アノラック	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
H発電所	アノラック	0	0	0	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0				
I発電所	アノラック	1	1	1	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	1	・ソフトな生地 ・1人で着脱可能な物	0	0
J発電所	アノラック	1	0	1	-	-	-	-	1	0	0	0	0	1	蒸れにくい材質、構造の検討			
K発電所	アノラック	1	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
L発電所	アノラック	1	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
M施設	アノラック	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	伸縮性の向上	アノラクスツ内での熱のこもり防止		
N発電所	アノラック	1	0	0	-	0	-	-	0	0	0	0	0	0				
O発電所	アノラック	1	0	0	-	0	-	-	0	0	0	0	0	0				
P施設	アノラック	1	0	1	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
Q施設	アノラック	1	0	0	-	-	-	-	1	1	0	0	0	1	脱着の容易性			
R施設	アノラック	1	0	1	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1				
S発電所	アノラック	1	0	1	-	-	-	-	1	0	0	0	0	1				
T発電所	アノラック	1	0	1	-	-	-	-	1	0	0	0	0	1				
V発電所	アノラック	1	0	1	-	-	-	-	1	0	0	0	1	1	暑く、蒸れるため、排気口を設けて欲しい			
W施設	アノラック	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	1	0				
X研究所	アノラック	1	1	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	材質変更			
Y研究所	アノラック	1	1	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	伸縮するもの			

施設名称	品名	現状の問題点												開発・改良・改善の要望					
		暑い	重い	機動性	蒸れ	かぶれ	作業性	衛生面	重い (疲れ)	装脱着の 容易性	対汚染性	廃棄物低減化	洗濯性(減容・焼却)	コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4
A発電所	カバーオール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	焼却性を考慮して 購入、溶接(切断)作 業者から難燃性の 物を配備して欲し いとの要望あり			
C発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
D発電所	カバーオール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	1	綿、ポリエチルと混合			
F発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
G発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	選択排水の低減		
H発電所	カバーオール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I発電所	カバーオール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J発電所	カバーオール	1	0	1	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	APD、FB収納ポケットの 取付(当社は別途 チョッキに収納してい る)	素材、形状、サイズの 見直し		
K発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0				
L発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	0				
M施設	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0				
N発電所	カバーオール	0	0	0	-	0	-	-	0	0	0	1	0	0	0				
O発電所	カバーオール	0	0	0	-	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0				
P施設	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0				
Q施設	カバーオール	0	1	0	-	-	-	-	0	0	0	1	0	1	1	廃棄物低減化:カバ ーオール着業の際、アメ タが不燃であるため 可燃にして欲しい			
R施設	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	1	カバーオールの綿維中に 汚染物の浸透又は 通り抜けてしまう 点	着脱時に肩付近が きつい		
S発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1					
T発電所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1					
U発電所	カバーオール	1	0	1	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	1	収縮性のある素材 にし、破れにくいも のにしてほしい			
V発電所	カバーオール	1	0	1	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	1	収縮性のある素材 にし、破れにくいも のにしてほしい			
W施設	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0				
X研究所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0				
Y研究所	カバーオール	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0				

施設名称	品名	現状の問題点												開発・改良・改善の要望						
		暑い	重い	機動性	蒸れ	かぶれ	作業性	衛生面	重い (疲れ)	装脱着の 容易性	対汚染性	洗濯性(減容・焼却)	コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4		
A発電所	ゴム手袋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
B発電所	ゴム手袋	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0						
C発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	-	-	0	0	0	0	1	0	1	焼却容易な手袋の開発(現状:布、衣類に対し5%混焼)				
D発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0						
E発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	0	-	1	0	0	0	0	0	1	サイズの種類を増やす				
F発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
G発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0					
H発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0	1	焼却時に硫黄分を出さない物への改良				
I発電所	ゴム手袋	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	破れにくい物	指先にフィットする物	0	0	
J発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	1	-	0	0	0	0	0	1	0					
K発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
L発電所	ゴム手袋	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
M施設	ゴム手袋	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
N発電所	ゴム手袋	-	-	-	1	0	-	-	0	0	0	0	1	0	0					
O発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	順応出来る物	指先の細かさが要求される作業にも			
P施設	ゴム手袋	-	-	-	1	0	0	1	-	0	0	0	0	0	0					
Q施設	ゴム手袋	-	-	-	1	0	1	-	-	1	1	0	1	0	1	色付きゴム手の製作	サイズの多様化	可燃材質	汚染しにくい材質	
R施設	ゴム手袋	-	-	-	1	1	0	0	-	0	0	0	1	0	1	耐久性がない	ガムテープ等を使用するとゴム手に粘着部がくっつく	対薬品性の向上		
S発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	1	0	-	0	0	0	0	1	0					
T発電所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	1	0	-	0	0	0	0	0	1					
U発電所	ゴム手袋	-	-	-	1	0	1	-	-	0	0	0	0	1	1	精密作業に対応できる物にして欲しい	テープ等の粘着材が引つき作業性が悪いため、表面仕上げに考慮有り。	薄くて破れにくいものにして欲しい		
V発電所	ゴム手袋	-	-	-	1	0	1	-	-	0	0	0	0	1	1	いい	精密作業に対応できる物にして欲しい	テープ等の粘着材が引つき作業性が悪いため、表面仕上げに考慮有り。	薄くて破れにくいものにして欲しい	
W施設	ゴム手袋	-	-	-	1	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0					
X研究所	ゴム手袋	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	破れやすい				
Y研究所	ゴム手袋	-	-	-	0	1	0	0	-	0	0	0	0	0	0	1	皮膚に対する考慮			

施設名称	品名	現状の問題点												開発・改良・改善の要望				
		暑い	重い	機動性	蒸れ	かぶれ	作業性	衛生面	重い (疲れ)	装脱着の 容易性	対汚染性	廃棄物低減化 (減容・焼却)コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4	
A発電所	靴	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
B発電所	靴	0	0	スペリ、股	0	-			0	0	0	0	0	1				
C発電所	靴	-	-	0	0	-		0	長靴	0	0	1	1	0	1			
D発電所	靴	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E発電所	靴	-	-	-	0	-		-	0	0	0	1	0	0	1	短靴:内敷の滑り防 止	長靴:靴底の滑り防 止	
F発電所	靴	-	-	-	0	-		-	0	0	0	0	0	0	0			
G発電所	靴	-	-	-	0	-		-	1	1	0	0	燒却	0	0	材質をゴムから人工 皮、底にウレタンを採用 し、履き心地改善を 行っている		
H発電所	靴	-	-	-	0	-		-	0	1	0	0	0	0	0			
I発電所	靴	0	0	スペリ、股	1	0		1	1	1	0	0	0	1	マジックテープ式	靴底を厚く	型くずれしない物	
J発電所	靴	-	-	-	0	-		-	0	1	0	1	0	0	0	新型B靴の運用拡大 に向けた改良	きつい、履きづらい のでかかとを踏む	
K発電所	靴	-	-	-	0	-		-	0	0	0	0	0	0	0			
L発電所	靴	-	-	-	1	-		-	0	0	0	0	0	0	1	0		
M施設	靴	-	-	-	0	-		-	0	0	0	0	0	0	0			
N発電所	靴	-	-	1	1	-	0	1	0	0	0	1	1	0	0			
O発電所	靴	-	-	-	0	-	0	-	0	0	0	1	0	1	0			
P施設	靴	-	-	-	1	-	-	-	1	0	0	0	1	0	1	せないか	廃棄物低減化:小さ な釘の使用をなく す	
Q施設	靴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R施設	靴	-	-	-	0	-	-	-	0	0	0	0	1	0	1	スール等を使用して いるので廃棄性の 良い物がいい	靴内部の改良(長時 間着用すると破れ る) ゴム部分と金属部分 の分離がやっかい	
S発電所	靴	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0			
T発電所	靴	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0			
U発電所	靴	-	-	-	1	-	-	1	1	0	0	0	0	0	1	通気性の良い物に する	長靴の多くに曲が り癖が付いている ため、形状記憶素材 の使用 吸湿シートを付けて欲 しい	
V発電所	靴	-	-	-	1	-	-	1	1	0	0	0	0	0	1	通気性の良い物に する	長靴の多くに曲が り癖が付いている ため、形状記憶素材 の使用 吸湿シートを付けて欲 しい	
W施設	靴	-	-	-	1	-	-	-	1	0	0	0	0	0	1	靴のゴムが硬い		
X研究所	靴	-	-	-	0	-	-	-	0	0	0	0	1	0	0			
Y研究所	靴	-	-	-	1	-	-	0	1	0	0	0	0	0	1	軽量化		

施設名称	品名	現状の問題点												開発・改良・改善の要望				
		暑い	重い	機動性	蒸れ	かぶれ	作業性	衛生面	重い (疲れ)	装脱着の 容易性	対汚染性	洗濯性 (吸容・焼却)	コスト	有無	内容1	内容2	内容3	内容4
A発電所	紙服	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	紙服の前部ファスナーが 壊れ易い			
C発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
D発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
E発電所	紙服	1	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	通気性の良い物			
F発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
G発電所	紙服	1	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	通気性と防水性の 両立			
H発電所	紙服	1	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
I発電所	紙服	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	・ファスナーのつまみを 大きく	・通気性を良く	0
J発電所	紙服	1	0	1-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	1	アノラックとの機能共有 化による簡素化		
K発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
L発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
M施設	紙服	0	0	1-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	伸縮性の向上			
N発電所	紙服	0	0	0-	-	0-	-	-	0	0	0	0	0	0				
O発電所	紙服	0	0	0-	-	0-	-	-	0	0	0	0	0	0				
P施設	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
Q施設	紙服	0	0	1-	-	-	-	-	0	1	0	0	1	1	防菌性能向上と通 気性の向上	粗除染の容易性	汚染しにくい素材 の開発	
R施設	紙服	1	0	1-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	1	すぐ破ける			
S発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1				
T発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1				
U発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	汗を吸い取るよう 脇の縫い目から破 れやすい	破れにくい素材に して欲しい	熱に強い素材にし て欲しい	
V発電所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	1	1	汗を吸い取るよう 脇の縫い目から破 れやすい	破れにくい素材に して欲しい	熱に強い素材にし て欲しい	
W施設	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	1	0				
X研究所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				
Y研究所	紙服	0	0	0-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0				

アンケート集計表Ⅲ

「原子力産業界における防護具の開発動向に関する調査」

1. 供給者の概要

(1) 呼吸用保護具

(2) 身体防護具

2. 改善項目に対するアンケート集計

(1) 呼吸用保護具

(2) 身体防護具

3. その他の防護具

1. 供給者の概要

(1) 呼吸用保護具

企業名	業種			取扱商品					
	メーカー	販売店	他	半面マスク	全面マスク	電動ファン式	エアラインマスク	エアラインスーツ	他
(株) 重松製作所	1			1	1	1	1	1	1
興研(株)	1			1	1	1	1	1	1
エム・エス・エイジ・ヤパン(株)	1			1	1		1	1	1
産業科学(株)		1		1	1		1		
(株) シモン		1		1	1	1	1	1	1
住友スリーエム(株)	1			1	1	1	1	1	1
(株) 千代田テクノル		1		1	1	1	1	1	
合計	4	3	0	7	7	6	7	5	4

(2) 身体防護具

企業名	業種				取扱商品					
	素材メーカー	製造メーカー	販売店	他	カバーオール	紙服	アノラック	ゴム手袋	作業靴	他
(株) 千代田テクノル				1		1	1	1	1	1
産業科学(株)				1	1	1	1	1	1	1
ニオン産業(株)		1	1		1	1	1	1	1	1
蝶理(株)		1			1	1	1	1		
(株) 千代田屋		1				1				1
東洋物産(株)		1			1	1	1	1		
日新実業(株)		1				1				1
旭化成工業(株)		1				1				1
旭デュポンフランシュスパンブロダクト(株)	1					1				
敷島紡績(株)	1	1				1				
帝人(株)	1					1				
住友スリーエム(株)		1				1	1	1		
トリリ安全(株)		1	1							1
(株) シモン		1								1
ハト印販売(株)		1	1			1	1	1	1	1
(株) コクヨ										1
不二ラテックス(株)			1							1
(株) 東和コーポレーション		1								1
東レ・メディカル(株)				1						1
合計	3	13	5	3	12	8	6	8	5	6

2. 改善項目に対するアンケート集計

(1) 呼吸保護具 ①半面マスク

企業名	息苦しい						圧迫感						防護性能						フィルタ(形状・サイズ)						除染性						対話性						廃棄性								
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F									
A社					1							1											1																						
B社					1							1											1																						
C社				1								1											1																						
D社	1						1					1											1																						
F社		1					1					1											1																						
G社	1											1											1																						
合計	2	1	0	1	1	1	2	0	0	0	4	0	2	2	0	0	2	0	1	2	0	1	2	0	1	5	0	0	0	0	1	2	0	1	2	0	2	2	0	0	2	0			

企業名	息苦しい	圧迫感	防護性能	フィルタ(形状・サイズ)	対話性	廃棄性
A社	適正な捕集性能で吸気抵抗もやや低いろ過材を使用するのが良い。	接顔部のみを柔らかめのゴムで成形したマスクあり。DM-28KD等	ろ過材の吸入口を掌で塞ぎ、フィットテストができるマスクあり。	フィルタ厚が従来の1/2のCA-L4等を販売。防水タイプのフィルタは約10年前より販売。	頭骨マイクでの無線通話システム。伝声板の大形化(DM-28KD等)	PP、PE等の焼却可能な材質使用
B社	吸気抵抗が当社製品比半分以下のもの販売中(半面マスク7095DK型)	面体素材のシリコンゴム化				焼却可能なフィルタ使用(7095DK型)
C社	フィルタの抵抗低減	カムホクラシック面体。ラバーリフト化、シリコンラバー使用。サイズ大、中、小	カムホクラシック面体。簡易装着テスキット等	小型化、防水タイプの製品化	伝声板付の製品化	
D社		シリコーン面体使用				
F社	原子力産業界の要求、ニーズ調査中					プラスチックゴムのみを材料として使用
G社		接顔部の材質を変更		薄形フィルタ。ろ紙のはつ水処理	頭骨マイクの採用。伝声板の大型化。	

*「除染性」については回答がなかったため、項目を削除した。

②全面マスク

企業名	息苦しい		暑い		圧迫感		視野の広さ		眼鏡の使用		対話性		重い		装脱着の容易性														
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E
A社				1					1				1				1						1					1	1
B社			1			1				1			1						1			1						1	
C社	1				1					1				1						1			1				1	1	
D社				1				1			1		1						1		1	1						1	
F社	1				1				1				1				1				1		1					1	
G社				1				1			1			1			1				1		1				1		
合計	0	2	1	0	3	0	2	1	0	0	3	0	1	0	1	0	4	0	3	0	0	0	3	0	1	1	1	0	5

企業名	除染性						防護性能						廃棄性					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
A社	1											1						1
B社		1						1										1
C社	1										1		1					
D社	1						1											1
F社	1							1						1				
G社		1							1							1		
合計	0	6	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	2	2	1	0	1	0

60

企業名	息苦しい	暑い	圧迫感	視野の広さ	眼鏡の使用	対話性	重い	装脱着の容易性	防護性能	廃棄性
A社	AP-03は小型ファンを面体に直接装着できる	AP-03は小型ファンを面体に直接装着できる	接顔部にはシリコン使用のマスク販売	AD-11N(CS)		頭骨マイクでの無線通話システム	ポリエチレン等の樹脂の利用による軽量化			
B社			面体のシリコン化		製品化できるかは未定					焼却可能なフィルムの製品化
C社	フィルムの抵抗低減		アト・パンテージ 1000丁 面体。ラバーのソフト化	アト・パンテージ 1000丁 面体+眼鏡用シリコンベース	無線システム、拡声装置、伝声板改良	アト・パンテージ 1000丁 面体。	アト・パンテージ 1000丁 面体。簡易装置キット等			
D社	ゴロ付全面マスク		シリコーンゴム製面体		専用眼鏡					
F社	原子力産業界の要求・ニーズを調査中									
G社	小型電動ファン使用(AP-03"エスカルゴ")	小型電動ファン使用(AP-03"エスカルゴ")	接顔部の材質を変更	広視野型全面マスクの販売(CS面体)		頭骨マイク採用。伝声板の大型化		アラウク等との一体化を検討中		

* 「除染性」については回答がなかったため、項目を削除した。

③電動ファン式呼吸保護具

企業名	装着の容易性						視野の広さ						連続使用時間						風量						除染性						廃棄性								
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F			
A社		1						1						1							1																		
B社		1							1						1						1																		1
D社	1								1					1							1																		1
F社		1							1					1							1																		1
G社			1							1					1						1																		1
合計	1	2	2	0	0	0	1	2	0	2	0	0	2	1	2	0	0	0	1	3	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0			

企業名	装着の容易性	視野の広さ	連続使用時間	風量
A社	リチウム電池によるバッテリー軽量化（高価）	コートの場合はアピース極力大。	リチウム電池で使用時間を長くする。	一般産業向け風量調整付ファンユニット
B社			リチウムイオン電池を利用した製品開発	
G社	高性能プロアの開発。リチウムイオン電池の採用	アピースの大型化		

* 「除染性」、「廃棄性」については回答がなかったため、項目を削除した。

④エアラインマスク

企業名	圧迫感		重い		装脱着の容易性		視野の広さ		眼鏡の使用		対話性		暑い		息苦しい		廃棄性								
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	
A社					1	1				1			1				1			1		1			1
B社	1						1			1				1		1			1		1				1
C社			1		1			1				1			1			1		1		1			1
D社	1					1			1					1		1				1		1			1
F社	1				1				1			1			1			1			1				1
G社		1		1		1			1				1		1			1			1		1		1
合計	3	1	0	0	3	0	3	2	1	0	0	0	6	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	1	0

企業名	圧迫感	視野の広さ	眼鏡の使用	対話性	暑い
A社	送気管にサイレンサー付製品あり	CS-1		頭骨マイク	クーレット
B社			常用眼鏡と同様の感触の専用眼鏡を販売		
C社	コンスタンツフローエアラインマスク、 プレムエアカセットレスピレータ	面体の改良	面体の改良	無線システム、拡声装置	ポルテックチューブ等
D社			専用眼鏡		冷却コンバータ
F社					ポルテックスクーラーによる冷風
G社	送気管にサイレンサーを付加	広視野型マスクの販売 (CS面体)		エアホースと通話システムを合体(テレエア3型)	クールスーツ。クーレット

*「重い」、「装脱着の容易性」、「息苦しい」、「廃棄性」については回答がなかったため、項目を削除した。

⑤エアインスーツ

企業名	対話性						装脱着の容易性						暑い						圧迫感						視野の大きさ						廃棄性					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F						
A社				1						1					1								1			1										
B社	1						1				1										1											1				
D社	1						1				1						1					1										1				
G社				1			1						1						1					1						1						
合計	0	2	0	0	2	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	2	0	1	3	0	0	0	0

企業名	対話性	装脱着の容易性	暑い	圧迫感	視野の大きさ
A社	頭骨マイク等	エア供給停止時に非常用ボンベからエアが供給され、アラームで知らせるバックアップシステム販売	供給する空気を冷却するポリテックスチューブ	フード部全周透明のスリーブ	フード部全周透明のスリーブ
B社				サイズの品揃え可能。アイピースにエアを流す構造	フードの透明化は可能である
G社	頭骨マイクの採用		供給する空気を冷却する。(ポリテックスチューブ)	フード部は全面透明型(AL-10RI)	フード部は全面透明型(AL-10RI)

* 「廃棄性」については回答がなかったため、項目を削除した。

(2) 身体防護具

①カバーオール

企業名	暑い						機動性(デザイン面)						素材						廃棄					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
D社	1						1						1						1					
F社			1	1					1										1					1
G社		1						1											1	1				
H社			1	1	1					1				1	1					1	1			
I社		1						1							1		1							
K社				1					1							1			1					
L社				1					1							1			1					
M社	1							1				1							1					
N社		1					1					1							1					
O社		1						1							1				1					
P社			1	1					1						1	1								
合計	2	0	6	2	5	0	2	0	4	1	3	1	2	1	2	2	6	0	7	1	0	1	2	0

企業名	暑い	機動性(デザイン面)	素材	廃棄
F社	3Mフロボア	3Mフロボア	3Mフロボア	3Mフロボア
G社	吸汗速乾素材の使用	ストレッチ素材の使用	導電糸(サンターロン)の使用	
H社	東レ(シャミラン)、シキボウ(E/Cバーバリ)素材。製品見本有、電力実績有	東レ(シャミラン)、シキボウ(E/Cバーバリ)素材。		
I社	吸汗・速乾素材使用(デュアルプロテクス)、メッシュの使用	ストレッチ素材の使用	サンターロン系(導電糸)入り生地の使用	
L社	帝人・ウェルキー素材使用		帝人・ウェルキー素材使用。セルガード(導電糸)入り。	
M社		フリータSCXシリーズ(ワンピース):装脱着に優れる。		
P社		ストレッチ素材の検討		

②紙服(タイプック)

企業名	暑い						機動性(デザイン面)						素材						廃棄					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
D社	1					1						1							1					
F社				1					1										1					1
G社			1	1		1									1	1	1							
H社				1						1				1	1	1						1	1	
I社		1				1								1				1						
J社			1	1		1								1	1	1	1							
K社				1		1							1					1						
合計	1	0	1	2	5	0	4	1	0	0	1	1	1	1	2	3	4	0	5	0	1	1	2	0

企業名	暑い	機動性(デザイン面)	素材	廃棄
F社	3Mプロボア	3Mプロボア	3Mプロボア	3Mプロボア
G社	PP不織布、透湿、耐久性フィルム複合。新素材(ハイドロスパン)の使用		PP不織布、透湿、耐久性フィルム複合。新素材(ハイドロスパン)の使用	
H社	プロボア、PPスパンボンド素材(見本有)、脇下空気孔付ける	規格寸法の再検討	プロボア素材、ポリプロピレン三層構造素材	
I社	SMS素材の使用		SMS素材の使用	
J社	プロシールドII保護服:バリア製、透湿性に優れる。 ハイドロスパン保護服:通気性に優れる。	現商品が最良と思われるが、改良点を確認し、再検討する。	プロシールドII保護服:耐水性200cm、透湿性6500g/m ² /24hで現状素材以上。 ハイドロスパン保護服:通気性良いが耐汚染性劣る。	現状タイプックは燃焼加熱若干高い。ハイドロスパン保護服は優れている。

③アノラック

企業名	暑い						機動性						装脱着性						
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	
D社	1						1						1						
F社					1							1						1	
G社			1						1				1						
H社			1	1	1				1	1	1						1		
K社					1						1							1	
合計	1	0	2	1	3	0	1	0	2	1	3	0	1	1	1	0	1	2	0

企業名	暑い	機動性	装脱着性
F社	3M [®] ポ [®] ア	3M [®] ポ [®] ア	3M [®] ポ [®] ア
G社	透湿、耐水性素材の使用	柔軟性の高い樹脂素材使用	
H社	ポ [®] ア素材(製品有)	ポ [®] ア素材	
K社		伸縮性はなし	

④ゴム手袋

企業名	蒸れる						作業性						焼却性					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
D社	1							1					1					
G社			1					1									1	
H社		1		1					1	1							1	
T社		1						1					1					
U社			1						1								1	
V社				1						1								1
W社	1				1								1	1				
合計	2	1	1	2	1	1	3	1	1	2	0	1	3	1	0	3	0	1

企業名	蒸れる	作業性	焼却性
G社	放射線加硫ゴム使用		放射線加硫ゴム使用 で硫黄(S)ガス発生がない
H社	合成ゴム手袋有(アルギン対策品)	サイズ規格、厚手袋	カモト対応品
U社	放射線照射によるかぶれ対策。	放射線架橋により、従来品よりソフトでフィット感がある。	Sox, Noxが不検出で灰分も従来の約1/2のゴム手袋
V社	下履き手袋の吸汗性の優れたものを使用。素材検討	サイズ多様化。型による指先フィット(ロット数)。耐薬品性(種類による)	天然ゴム以外の素材検討。硫黄配合少ないもの。

⑤作業靴

企業名	蒸れ						作業性						焼却性						洗濯性						
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	
D社	1						1						1						1						
E社					1						1								1					1	
G社		1								1				1						1					
Q社			1						1					1											
R社		1							1					1	1	1	1		1						
合計	1	2	0	1	0	1	1	0	0	2	2	0	1	0	2	2	2	0	2	1	0	0	1	0	

企業名	蒸れる	作業性	焼却性	洗濯性
E社	研究を進めている	耐滑性でフラットソールと かかと付ソール。軽量化のため特殊合成皮革。	JIS L, S級適合の先芯(樹脂)。	合成皮革を採用し、 洗濯性のある物を商品化
G社		素材、形状について 履き心地を改善	プラスチック先芯使用で 焼却性向上	
Q社	鋭意努力中	鋭意努力中	先芯の樹脂化(可燃性)。	
R社		伊方原発向けに対応	樹脂製先芯で対応	

3. その他の防護具

会社名	品名	商品化済	1年以内	数年先	特徴（改善項目）	概略仕様	添付資料有
D社	マスクカバー		1			・EVA製、タペック製	
H社	シールレス綿手袋		1		・ゴム手袋の下履き、汗とり、かぶれ防止 ・安価で使い捨て ・指先の縫いしろなく、フィット感出る。	・綿100%(未晒)30/g糸使用（見本） ・綿100%(未晒)20/g糸使用（見本）	
J社	クールガード		1		・ジャケット内に冷水をポンプで循環させるクリングシステムで上半身(首から下)全体をカバーしている。 ・高温環境、夏場での作業で保護服の下に着用する。	・T/C混紡ジャケット、循環ポンプユニット付、プラスチックボトル付	1
	タイパックポリエチレンコート統服		1		・タイパックにポリエチレンコートした素材で水、硫酸、水酸化ナトリウム等も透過させない。縫製は超音波	・フード付統服(前ジッパー、袖・裾口ゴム)。エアラインスツも有り	1
	サラネックスラミタイパック統服		1		・タイパックにサラネックスをラミネートした素材で、耐薬品性はPEコートより広範囲でフツ(50%)、PCB、トリレゾンシアネートにも対応(480分不透過)。H ₃ 汚染にも対応できる。	・フード付統服(前ジッパー・比翼付、袖口ゴム、インナーポーツ付)。呼吸器内装型のフルカバースーツもあります。	1
	バリケード統服		1		・PP不織布に数層のフィルムを貼り合わせた素材で、サラネックスラミより対応薬品が拡がったもの。	・フード付統服(仕様はサラネックスラミと同じ)。上下服、呼吸器内装型フルカバースーツ有り。	1
	レスポンダースーツ		1		・10種類以上のフィルムを貼り合わせた多層体素材。ほとんどの科学薬品の透過を防ぐ。	・完全気密型排気弁付スーツ(呼吸器内装、PVCフェイシーシールド、前面気密ジッパー・比翼付、アーチルクロープ、ソックブーツフック)	1
K社	綿手袋		1		・シールレス編み ・伸縮性有り ・縫い目なし		
	下着		1		・三層構造糸 ・吸汗性良い ・縮みにくい		
M社	インナーウェア(中間着):テクノmidt'ラー		1		・低発塵性 ・吸放湿性 ・吸汗速乾性 ・制電性	・ポリエチレン型断面糸(テクノファイン)に天然蛋白質(ゼラチン)を後加工にて付与した(フレール加工)を施したニットの上下服	
P社	カバーオール		1		・低発塵 ・ドライ感(吸汗性) ・発汗時の着用、快適性	・セルロース長纖維を使用	
			1		・薄くて丈夫な素材	・高協力ポリエステル使用	
			1		・耐久性のある抗菌防臭素材	・纖維の中に抗菌防臭剤を練り込み耐久性up	